



東洋大学

2022

TOYO UNIVERSITY

国際教育センター年報



東洋大学国際教育センター

『2022 年度国際教育センター年報』の発刊にあたって

国際教育センター長

高橋一男 (国際担当副学長・国際学部教授)

国際教育センターは、東洋大学の国際教育・交流を促進するために、「国際教育プログラム」、「国際交流プログラム」、「グローバル化推進プログラムの研究・開発」の構築と充実を目指して活動しています。

2014 年に「スーパーグローバル大学創成支援 (Top Global University Project) 事業」に採択されて以来 2023 年度末までの 10 年間、本学は全学規模の国際化に取り組んでいます。2024 年度以降は東洋大学らしい新たな国際化を目指して全学的な取り組みを推進していきます。

この間にも 2017 年に東日本の私立大学で唯一採択された「留学生就職促進プログラム事業」では、外国人留学生の日本での就職を支援すべく地方都市でのインターンシップの実施や、就職にあたって必要とされるビジネス日本語教育を推進しました (同プログラムは 2021 年度に終了)。

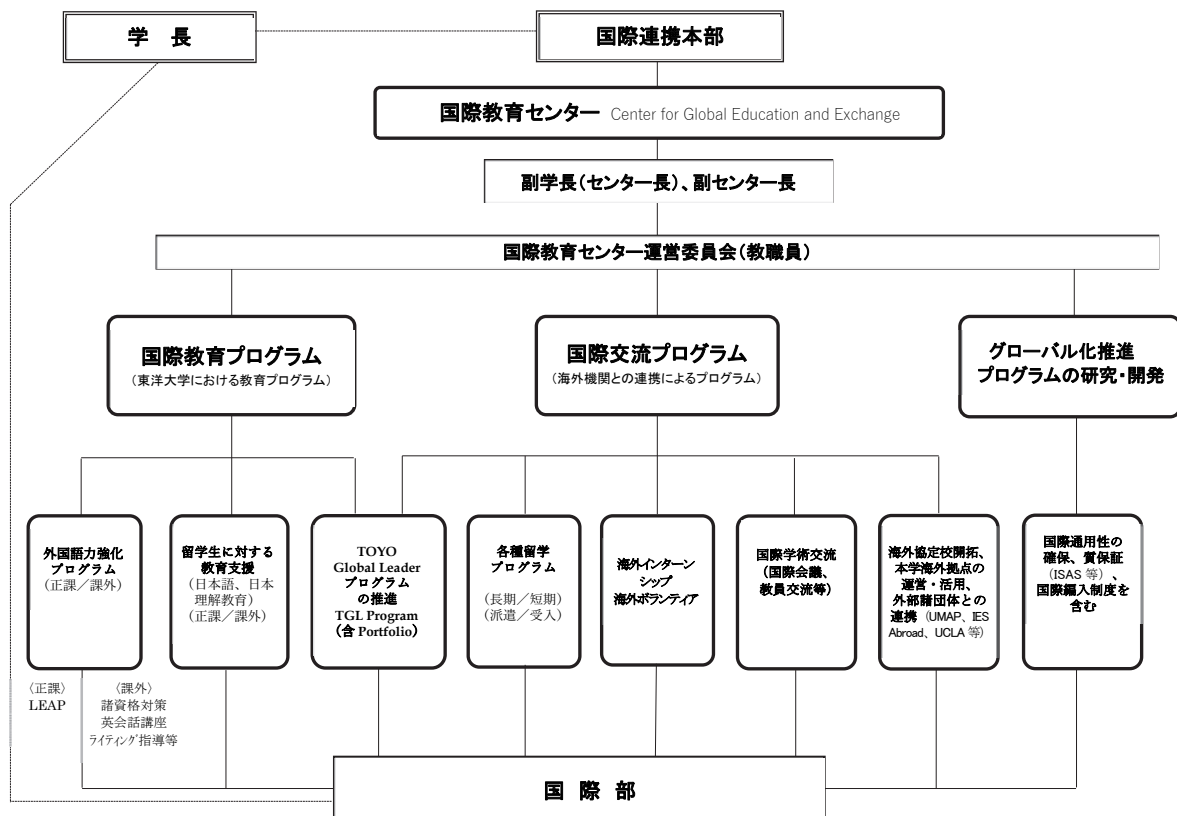
2022 年度には「大学の世界展開力強化事業」に採択され、ビジネス日本語教育をさらに強化し留学生の高度日本語人材育成を目指すとともに、すべての東洋大生の多文化共生グローバル人材への育成を総合目標に海外連携大学とプログラムを推進しています。

学生交流の面では、2022 年度に入ってからインバウンド、アウトバウンドともに学生数が増え、交流プログラムがコロナ禍以前の状態に戻り始めました。

コロナ禍においては、実渡航に代わりオンラインによる国際教育・交流が進み、ポストコロナの留学のカタチが模索されています。その成果としてオンライン協働学修「Online Exchange Program」、SDGs をテーマとする模擬国連、ビジネス日本語ポイント講座、国際学生ミーティングなど DX を視野に入れて各種プログラムに取り組んでいます。

本報告書は、年度ごとの活動成果をまとめて「年報」として報告するものです。2022 年度の活動を詳しく報告する本冊子を各方面で活用していただくことを願っています。加えて国際教育センターの推進事業に対するご助言を賜ることができましたら幸甚に存じます。

〔国際教育センター組織図〕



2023 年 3 月 31 日現在

目次

●『2022 年度国際教育センター年報』の発刊にあたって

トピックス

- 1 実渡航を伴った国際交流活動の完全な再開と SGU 事業を踏まえた国際化3
- 2 大学の世界展開力強化事業に採択5
- 3 ウクライナ学生及び研究員の受入と支援7
- 4 異文化適応力測定 BEVI の活用9

国際教育プログラム

- 1-1 LEAP プログラム10
- 1-2 外国語力強化プログラム:課外語学講座・語学試験11
- 2 英語スピーチコンテスト/日本語プレゼンテーションコンテスト14

国際交流プログラム

- 1 海外協定校ネットワークの拡大・海外拠点の運営と活用15
- 2 各種受入プログラムの実施状況17
- 3 各種留学・派遣プログラムの実施状況19
- 4-1 交換研究員の派遣・受入22
- 4-2 外国人研究員の受入24
- 5 Toyo Global Leader (TGL) プログラム25
- 6 留学生の就職支援への取り組みについて26
- 7 コロナ禍におけるオンライン国際交流の試み28

グローバル化推進プログラムの研究・開発

- 1 柔軟な国際編転入制度の取組状況29
- 2 国際教育センターの FD/SD 活動30

資料編

- 1 学術交流協定校協定締結一覧32
- 2 学部・研究所等協定締結一覧38
- 3 学生受入42
- 4 NEST 履修者数/BJT 団体受験結果/国際交流宿舎利用者数54
- 5 ECZ 利用者数55
- 6 学生派遣56
- 7 コロナ禍におけるオンライン国際交流の試み65
- 8 JV キャンパス事業 実施実績・参加者数等67
- 9 TGL Program 達成状況/留学フェア参加者数/国際教育センターメールマガジン登録者数69
- 10 課外英語講座開講実績70
- 11 各種海外留学奨学金73
- 12 外国人留学生オンライン利用入試 志願者数等77
- 13 海外留学フェアおよびリクルーティング実績79
- 14 国際教育センター運営委員会(審議事項)80
- 15 国際教育センターに係る規程一覧84
- 16 国際教育センター構成員85
- 17 各種刊行物の発行86

トピックス①

実渡航を伴った国際交流活動の完全な再開と SGU 事業を踏まえた国際化

国際部長 根岸哲也

新型コロナウイルス感染症の地球規模での拡大のため、2020 年度以降は、実際の渡航を伴う国際交流のプログラムを中止せざるを得なかった。2020 年度の春休みからの海外留学を中止した学生は 409 名で、192 名の学生が留学を中止し、帰国することとなった。また、夏季からの留学を中止した学生は 126 名であった。海外からの交換留学生の受入については、各学期に 100 名以上の学生が本学への留学を希望していたが、政府の水際対策があり、入国することができなかった。教職員の国際的な活動についても同様の制約を受け、国際教育センターの海外における業務は縮小を余儀なくされた。

国際教育センターでは、世界各地で開催される国際教育分野の大会への参加や、その機会を利用しての大学訪問を通じて、学生交換協定を主眼とした協定校の開拓を行ってきた。しかし、コロナ禍にあって、これらの大会も中止となった。それ以前に交渉を開始していた大学とは、オンライン会議等を通じて交渉を継続したが、無事に協定の締結を行えた大学は少数であった。

本学は、2014 年度の文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援(タイプB:グローバル牽引型)」(SGU 事業)に採択以降、順調に協定校が増加し、学生の留学先の可能性を広げてきたが、そのスピードが鈍化することとなった。

このような状況が 1 年半以上も続き、多くの学生が留学の機会を奪われていたが、2021 年 6 月、ようやく文部科学省は海外への学生派遣の再開に舵を切った。本学では、長期留学プログラムに限り、一定の基準を満たした場合、特例措置として派遣を認めるよう、新型コロナウイルス感染症対策のガイドラインのうち留学に関する要件について見直しを行った。このことにより、2021 年度は、夏季以降、入国制限措置により留学生の受入を認めていない一部の国と地域の大学を除き、71 名の学生の海外留学を実現することができた。一方、留学生の受入については、2022 年 3 月に文部科学省から「留学生円滑入国スキーム」が示され、海外からの留学生の入国がようやく可能となった。

2022 年度においては、長期留学については、春学期に 23 名、秋学期に 128 名の派遣が行なわれ、海外からは、春学期に 91 名(オンライン留学 48 名含む)、秋学期に 155 名の留学生を受け入れた。交換留学生の多くは、2021 年度末に赤羽台キャンパスに完成した、日本人学生と外国人留学生が共同生活を行う国際交流宿舎 AI-HOUSE HUB-4 に入居している。

このような実際に渡航して学ぶ長期・短期のプログラムの他に、渡航を伴わない海外大学との相互履修制度「Online Exchange Program “OEP”」、模擬国連、国際学生ミーティング等のオンラインによるプログラムをはじめとした、多彩な国際交流も活発化している。

2022 年度は、世界各地で開催される国際教育分野の大会も再開され、本学も EAIE(スペイン・9 月開催)、AIEA(アメリカ・2 月開催)、APAIE(タイ・3 月開催)にブース出展した。この機会に新規協定校の発掘及び交渉を図るとともに、既存の協定校と情報交換を行うことができた。

また、在日ウクライナ大使館の協力もあり、2021 年 4 月には、ロシアの侵攻下にある、ウクライナの 3 大学(タラス・シェフチェンコ・キーウ国立大学、ボリス・グリンチェンコ記念キーウ市立大学、国立航空大学)と学生交換協定を締結した。この協定に基づき、5 月初旬から中旬にかけて、各大学から 4 名ずつ、計 12 名の交換留学生を受け入れた。このことに関連し、7 月には、ウクライナの学生を含む、日本

で学んでいる学生たちへメッセージを送りたいという、ウクライナのゼレンスキー大統領の意向を受け、本学にてオンライン講演会が実施された。

2022 年 9 月には、英国、オーストラリア、米国、韓国、タイ、インドネシアの 11 の協定校と学生交流を行う本学のプログラムが、文部科学省の「令和 4 年度大学の世界展開力強化事業」に採択された。これは、双方の大学において、学生たちの日本語や日本文化の「学び合い」により、将来の日本と関係各国の懸け橋となる人材の育成を目指す取り組みである。このプログラムの実施に当たっては、文部科学省の「留学生就職促進プログラム」委託事業やオンライン国際教育プラットフォーム「Japan Virtual Campus (JV-Campus)」事業において、本学が培ってきたビジネス日本語教育に関する知見が活かされている。2022 年度は、本学学生 14 名が短期のオーストラリア研修に派遣され、海外大学からは、秋学期に 9 名の交換留学生を受け入れた。2023 年度には、当初計画の 6 カ国 11 大学に加え、ウズベキスタンの 1 大学の事業参画が決定しており、学生交換も本格化する。

2023 年度は、SGU の国からの補助期間の最終年度に当たる。この事業への取り組みは、本学が創立以来不断に進めてきた国際化の流れの中の通過点である。

グローバル化した世界の国際的な課題解決には、多様な文化的背景を持つ、世界中の人々との協働が必須である。そのことを踏まえ、この事業の自走化として、2024 年度以降における各学部や研究科等の部局の国際化の取り組みにおいては、国際教育センターがそれを支援し、強固な連携体制の基に協働することとなる。

更に、国内外で活躍するグローバルな人材となることを後押しし、学生の「異文化環境における英語運用表現能力」、「多文化共生社会における価値創造能力」、「異文化環境における課題解決能力」の強化を目的とする、Toyo Global Leader (TGL) Program については、10 年間の経験を活かして、発展的に認定条件等を修正する必要があるだろう。

(2023 年 5 月)



ウクライナ交換留学生「Farewell Ceremony」



世界展開力強化事業「オーストラリア研修」

トピックス②

大学の世界展開力強化事業に採択

■採択の経緯と概要

2022年9月、文部科学省が公募した「令和4年度 大学の世界展開力強化事業—インド太平洋地域等との大学間交流形成支援—」に、本学申請の「ビジネス日本語教育を通じた高度日本語人材と多文化共生グローバル人材の育成プログラム」が採択された。全国の大学から30件の申請があり、その内の14件が選定された。

大学の世界展開力強化事業は、国際的に活躍できるグローバル人材の育成と大学教育のグローバル展開力を強化するため、高等教育の質の保証を図りながら、日本人学生の海外留学と外国人学生の受入を行う国際教育連携の取り組みを支援するものである。2022年度については、「インド太平洋地域等との大学間交流形成支援」として、日本と英国・インド・オーストラリア等との間で、質の保証を伴った大学間・学生交流プログラムが募集され、次の事項が目的に設定されていた。

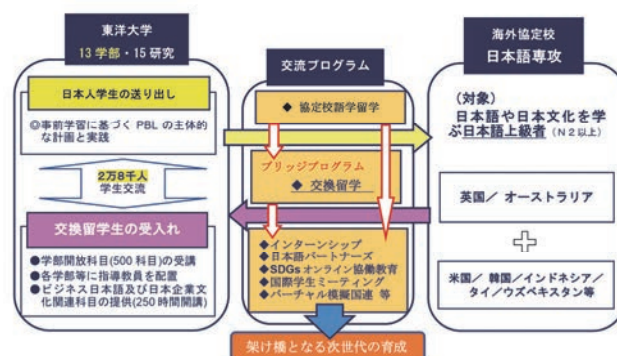
- ① 学生が主体となって国境を越えた諸課題に協同して行う国際教育・交流
- ② オンライン教育も含む形での国際通用性を備えた質の高い教育の実現
- ③ 優秀な外国人学生がオンラインでの学修を契機として日本への実留学へとつながる新たな留学モデルの構築
- ④ 成果を我が国の大学に還元・展開することで、我が国高等教育全体のポストコロナ期の国際競争力を高めること

以上の目的を達成するため、本学はこれまで培ってきた国際化の知見を全投入した構想を掲げている。

まず、2017年度から2021年度にかけて受託した「留学生就職促進プログラム」を継承し、留学生の国内就業力強化に向けた取り組みを行なっていく。具体的には、ビジネス日本語教育及びインターンシップ機会の提供と共に、特任講師がコーディネーターとなって、日本企業の特性や都市と地方の文化的差異などを教授していく。

次に、オンラインを活用した国際協働教育を展開し、異文化コミュニケーション能力の涵養、及び、異なる価値観を受容する多文化共生グローバル人材としての素養を身につけていく。その際、SGU事業の横展開と自走化を目指す「JV-Campus 構想」ともリンクする形で、本学は2つのプロジェクト(①UMAPを基盤とするSDGs オンライン協働学習とバーチャル模擬国連／②東洋大学「ビジネス日本語」オンライン講座を通じた高度日本語人材の育成)を本事業においても実践する。

さらに、全学を挙げて取り組んでいる、SDGs アンバサダーの活動とも連携してキャンパスの国際化を推進していく。特に、海外から直接に入学してくる「SDGs 留学生アンバサダー奨学生」たちを核に、一般学生、そして、国内外外国人材(外国にルーツのある中高生などを含む)らと協働して、学生たちが自ら考え、企画等を検討し、SDGsへ貢献するための行動を支援していく。本事業参加者及び修了者で構成される「国際インターンシップ学生会議」は、学生の学生による学生のためのプログラムに成長させることを狙っている。その参加学生数が多くなればなるほど、学生相互のつながりが強くなり、留学の成果が活かされる。そして、卒業生の中から起業する者が生まれ、その活躍を後輩たちが手本とする循環が生みだされることを企図している。10年後の国際アントレプレナー会議(学生起業家塾)の講師が、国際インターンシップ学生会議のOB・OGで占められる未来を描いている。



■受入プログラム

本事業の受入プログラムでは、ビジネス日本語学習を通して、高度日本語人材並びに多文化共生グローバル人材の養成を目的とする取り組みである。インバウンド留学生が語学学習だけでなく、高度な日本語運用能力を身に付け、日本理解を深め、ひいては日本で就業できる実力の養成を目指す。

対象となる協定校は、右表の通り、世界7カ国 12大学となる。(2023 年 4 月時点)

本学では交換留学のスキームで協定校の学生を 1 セメスターあるいは 1 年間(2 セメスター間)、受け入れる。「高度日本語人材」の育成と位置づけ、日本語能力試験(JLPT)の N2 レベル以上または当該大学の日本語専攻の長が推薦する学生で、将来、BJT ビジネス日本語能力テストで J1 レベル以上を目指す学生を対象とする。

通常の交換留学生と異なり、所属大学からのノミネーションの後、個別にオンラインで候補者と面談を行い、世界展開力強化事業にふさわしい人物であるか、日本語力が十分であるかの評価を行う。面談に合格した学生には、「世界展開力事業の交換留学生」であることを証明する証書を発行する。これは、渡日前から「高度日本語人材」の候補者であることを認識させる狙いである。

また留学準備として、渡日前からオンラインで自己分析についての指導を行っている。来日直後の長期休暇期間中は、学生はビジネス日本語講座を履修、修了する。学期開始後は、国際課職員が ES や履歴書の添削を行い、月に 1 回の就活、インターンの指導等を行う。また、履修指導などのフォローを行い、日本語力強化にも努めている。

1 期生の対象学生 9 名は 8 月に来日し、国際交流宿舎(AI-House HUB・4)で生活をしている。宿舎で開催されるイベントに参加する等、RA をはじめとする国内学生や留学生居住者と交流をしている。さらに、国際課職員が定期的に面談を行い、学習面のサポートやインターンシップへのアドバイスを行うとともに、国際教育センター所属の日本語教員が語学力の面でサポートを行っている。

なお、経済的支援として、学生が安心して学業に専念できるよう、2023 年 1 月～3 月の 3 か月間については月額 51,000 円の宿舎費補助を行った。

国名	協定校
イギリス	①カーディフ大学
	②ヨークセントジョン大学
オーストラリア	③カーティン大学
米国	④カレッジオブニュージャージー
インドネシア	⑤ダルマプルサダ大学
韓国	⑥仁荷大学
	⑦大邱大学
	⑧釜山外国語大学
タイ	⑨シーナカリンウィロート大学
	⑩チェンマイ大学
	⑪チュラロンコン大学
ウズベキスタン	⑫ウズベキスタン国立世界言語大学

■派遣プログラム

本事業において、プログラム対象大学に留学する場合、留学先での修学に加えて、留学先大学の日本語専攻での教育のサポートや、日本の社会・文化について、英語または現地語で説明ができることを目指している。このような PBL 活動に取り組む 2022 年度秋出発の学部生または大学院生を対象に奨学金を給付した。対象者は国際教育センターが選定し、現地の日本語専攻のクラスにおいて日本語パートナーとして授業補助を行うことに加え、渡航前には授業補助を行うための研修や、国際学生ミーティング等に参加した。2022 年度は長期留学生 1 名へ渡航費の支給(航空券代支援)と JASSO 奨学金の支給を行った。また、2023 年 3 月には短期オーストラリア研修を実施した。「スパイス、ハーブ、そして時々胡椒ー食文化にみる異文化融合のプロセス」をテーマに、11 学部 14 名の学生が、13 日間でオーストラリアの 3 都市(パース、メルボルン、シドニー)を訪問した。本研修は、「食」という身近なテーマを通じて、多民族国家として知られるオーストラリアにおいて、移民の受け入れ、文化融合の歴史や過程を学ぶことを目的に実施された。また、研修中にはカーティン大学、シドニー大学を訪問し、「Today's Trend in Japan」をテーマにプレゼンテーションを行い、現地学生との交流を深めた。ディーキン大学では本学から留学中の学生たちと交流し、長期留学への意欲を高めることに成功した。参加学生は本研修を通して、長期留学への参加意識を育むとともに、多文化を融合するとは何か、文化融合とはどのようなことなのかを考え、移民問題も含めた日本が抱える現実的な課題についての理解を深めることができた。なお、本研修の渡航費は世界展開力事業費から支給された。

2023 年度も長期留学、協定校語学留学生らに支援を行い、日本文化・社会をテーマとした交流機会を設け、事業を推進していく。さらに、海外連携 12 大学に加え、多様な国々や地域との交流を更に促進し、学生に多文化共生グローバル人材へと成長する機会を提供していく。

トピックス③

ウクライナ学生及び研究員の受入と支援

2022年2月、ロシアがウクライナへの軍事侵攻を開始したことを受け、本学では早期より学内の各部門が連携し、ウクライナの大学とその学生への緊急支援のため、4月にウクライナの首都キーウに所在する3大学(タラス・シェフチェンコ記念キーウ国立大学、ボリス・グリンチェンコ記念キーウ市立大学、国立航空大学)と包括的学術交流協定及び学生交換協定を締結した。通常は学長同士が署名を行うものの、現地情勢を鑑み、代理としてセルギー・コルスンスキー駐日ウクライナ特命全権大使が来学して調印式を行うとともに、大使による特別講演会「ウクライナ—コサックの民の歴史と文化」が開催された。

本来の学生交換協定では双方へ学生が派遣されるが、現地での情勢を勘案し、当面は本学への受入のみとする形で学生交換を開始した。また、5月には「東洋大学におけるウクライナからの研究員受入要領(2022年5月16日要領第91号)」を制定し、協定校である3大学の研究員ならびに駐日ウクライナ大使館の推薦を受けた研究員の受入も開始した。

本学では、受け入れた学生及び研究員に対し、渡航費、入国一時金、生活支援金等を支給するとともに、住居支援として無償で国際交流宿舍のシングルルームを提供している。また、本学の寄付制度の「用途指定型寄付金」にウクライナ学生等受入支援を設立した。この寄付金の支えもあり、本学におけるウクライナ学生への支援がさらに充実した。

本学の迅速な支援体制の構築については、新聞社やNHKをはじめとするマスコミ各社のメディアにも取り上げられた。また、学生交換協定については当初2022年度末までの限定的期間設定となっていたが、いずれの大学とも延長することで合意したため、2024年8月末日まで延長されることとなった。それを受けて2023年1月30日には、国立航空大学から学長が来日して調印式が行われた。

■交換留学生の受入までの対応について(ビザ)

ウクライナ学生が1日も早く日本に入国するため、当時最も迅速に発給可能だった避難民ビザでの入国手続きを行い、来日後に留学ビザへの切り替えを行った。学生ビザでの入国の場合、通常、ビザの準備から入国までに3か月程度を要するところ、4月中旬に受入学生が決定してから一か月足らずのうちに12名全員が日本へ入国することができた。

■白山及び赤羽台キャンパスでの受入

ウクライナ学生12名にそれぞれの所属大学での専攻分野や留学中に学びたいことについてヒアリングを行い、矢口学長が受入学部を調整した。授業開始日までの入国がかなわず、学期途中での来日となったが、関係部署が一丸となり学生の希望に沿った学部での受入が実現した。うち2名は所属大学で理系学部にも所属していたため、赤羽台キャンパスとも連携を図り、通常は交換留学生を受け入れていないライフデザイン学部、情報連携学部においても、学生の受入が実現した。

指導教員である平畑奈美教授(文学部国際コミュニケーション学科長)は、当該12名を対象に、金曜日3時限の授業「日本語と日本社会A」を開講した。これは、来日して間もない12名が同じ授業内で交流、情報交換ができることを目的としており、所属学部を超えてウクライナ学生同士のコミュニケーションがより活発に行われた。また、東洋大生がウクライナ学生をサポートし、交流を図る場となった。



■「Stand with Ukraine in Toyo Universityーウクライナの学生および研究員による学習・研究発表ー」

2023 年 1 月 20 日に開催された学習・研究発表会において、第 1 部ではウクライナ学生代表の 4 名がそれぞれ「ウクライナ 生活の中の伝承」、「ウクライナの神話と伝説」、「ウクライナの伝統音楽と現代音楽」、「ウクライナの現代ストリートアート」と題し、ウクライナの生活、文化、歴史に関する発表を行った。第 2 部では研究員 2 名が講演を行い、講演後は聴講者との質疑応答がなされた。本発表会は、知られざるウクライナの文化や慣習、文学や歴史など、明るく豊かなウクライナの魅力を知る貴重な機会となった。

■受入学生の所属大学・人数・受入期間

大学名	受入人数	受入期間
タラス・シェフチェンコ記念キーウ国立大学	4 名	2022 年 5 月～2023 年 3 月
ボリス・グリンチェンコ記念キーウ市立大学	4 名※	2022 年 5 月～2023 年 3 月
国立航空大学	4 名※	2022 年 5 月～2023 年 3 月

※うち、ボリス・グリンチェンコ記念キーウ市立大学の 3 名および国立航空大学の 1 名については、留学期間を延長し、2023 年度春学期も引き続き交換留学生として受け入れている。

■研究員の所属大学・氏名・受入期間・研究テーマ

種別	大学名	氏名	受入期間	研究テーマ
大使館 推薦	キーウ国際大学 (卒業)	Iryna Perevozniuk (イラ・ペレフォズニユク)	2022 年 6 月 5 日 ～2023 年 3 月 31 日	The ways to promote traditional culture, cuisine, and crafts to support local businesses
協定校	タラス・シェフチェンコ記念 キーウ国立大学	Oksana Asadchykh (オクサーナ・アサドチフ)	2022 年 7 月 17 日 ～2022 年 8 月 14 日	リモート教育に焦点を当てた日本語教育の指導方法
協定校	国立航空大学	Dariia Rzhavska (ダーリヤ・ルジェブスカ)	2022 年 9 月 18 日 ～2022 年 11 月 19 日	Maze of characters in Haruki Murakami novels: way through the darkness before you get to the light
大使館 推薦	イワン・フランク記念 リヴィウ国立大学	Ulyana Vytychak (ウリャーナ・ヴィティチャック)	2022 年 12 月 21 日 ～2023 年 2 月 15 日	初級日本語学習者のコミュニケーション能力を高める教授法
協定校	タラス・シェフチェンコ・ キーウ国立大学	Vladyslava Konotopets (ヴラディスラーヴァ・コノトベツ)	2022 年 12 月 21 日 ～2023 年 2 月 1 日	読解を通して日本語の言語及び社会文化能力を伸ばすための教授法の提案ー日本語を主専攻として学んでいる学習者を中心に

トピックス④

異文化適応力測定 BEVI の活用

国際教育センターでは、2020 年度秋学期から異文化適応力測定 BEVI (Beliefs, Events, and Values Inventory) を活用し、グローバル人材が備えるべき素養の一つである「異文化コンピテンシー」に着目し、学生の特性把握や国際交流プログラムの成果を客観的に可視化し、各学部の特徴を活かしながら国際教育・交流プログラムの教育的効果の向上及び質向上に還元すべく取り組んでいる。

BEVI とは、臨床心理学や心理統計学の理論を基盤とし、7 つの領域に分かれた 17 の尺度で受検者の心理特性を測るものである。

2020 年度秋学期から試行的に導入し、同年秋学期は国際教育センター専任教員が担当する「留学のすすめ」「異文化理解概論／国際キャリア概論」を履修する学生を対象に、学期始まりと終わりに 2 回 BEVI の受検を促し、学生の属性ごとの心理的特性と心的変動に影響を与えた要素を分析した。この分析では男女やキャンパスごとに特性に違いがあることを明らかにした。

2021 年度も「留学のすすめ」等の科目を履修する学生を対象に行い、2020 年度の分析で明らかになった男女間の違いや文系・理系学生の違いを切り口に更に詳細に分析し、専攻分野別や男女別に異文化コンピテンシーに異なる傾向があることを明らかにした。

2022 年度は下記の科目及び国際交流プログラムに参加する学生を対象に BEVI を実施した。

【2022 年度 BEVI 実施対象科目・プログラム】

1. 国際教育センターの専任教員の科目
2. 一部の非常勤講師が担当する「異文化理解概論」と「留学のすすめ」
3. 川越キャンパスに所在する理工学部及び総合情報学部の協力教員の科目
4. 短期海外研修(オーストラリア)
5. 国際交流プログラム(Meet the World オンライン共修や富士山での国際共同フィールドワーク)

【実施回数】回答数 1,559 回(有効回答数 1,512 回)

2022 年度の特徴は、今までの「留学のすすめ」「異文化理解概論」等の科目履修者を対象とした文系・理系学生の特性の違いを継続的に把握するとともに、理工学部及び総合情報学部の協力教員により、理系学生の BEVI データサンプルを多数入手し、理系学生の特性について分析したことである。

また、Meet the World(オンラインによるインドネシア学生との協働学習)、富士山フィールドワーク(COIL によるマレーシア学生との共同学習)や短期海外研修(オーストラリア)の参加者に対して、プログラムの事前と事後に BEVI の受検を促し、スコアの変化を比較することで、個々の国際交流プログラムの教育的効果を可視化した。

2023 年度は国際教育センターだけではなく、BEVI に関する学部を超えたワーキンググループを結成し、2020 年度からの知見を学部学科等に共有しながら、異文化コンピテンシーの理解と向上、更には学生の特性やニーズに合った教育的介入の企画立案等に発展させていきたい。

LEAP プログラム

LEAP(Learning English for Academic Purposes)プログラムは、主に留学を目指す学生を対象に、学術英語運用能力や学習スキルを養成する全学的な取組として開講している。

留学を希望する学生において急増する IELTS™ のニーズに対応するために、2021 年度から LEAP プログラムは TOEFL ITP® 対策から、IELTS™ 対策を主軸とするプログラムに改変した。新 LEAP プログラムでは、Listening/Speaking(週 2 コマ)と Reading/Writing(週 2 コマ)で構成される IELTS I および IELTS II と、IELTS™ スコア 5.0 点相当以上を保持する学生を対象とした Pre-Study Abroad 科目の 3 レベル編成となっており、白山キャンパスでは語学スコアを基準にレベル分けを実施している。また、各レベルで目標とする IELTS™ スコアを設定し、学期末の実力試験(IELTS™)で目標スコアを達成した場合は成績に加算する仕組みを導入した(※【目標スコア】IELTS I: 4.5、IELTS II: 5.0、PSA: 既存スコアの +0.5)。

1 クラスの受講者数を 25 名程度とし、ペアあるいはグループワークを多く採り入れた授業構成とすることで、学術英語力のみならず、コミュニケーション力や授業での学習スキルなど、留学において必要となる能力全般の養成を目指している。

■LEAP 履修者数

2022 年度履修者数は、延べ数で 710 名(前年度比 94%)となった。2022 年度は原則対面で授業を実施しつつ、白山以外のキャンパスの学生が履修しやすくするために、IELTS II の L/S と R/W の一部をオンラインで開講した。



■LEAP を履修した学生の IELTS™ スコアの伸び

2021 年度から学期末の実力試験として IELTS を受験する仕組みを導入している。2022 年度の春学期の平均点 (IELTS Overall Band Score) は 5.4、秋学期の平均点も 5.4 であった。春学期は実力試験を受けた学生の 86.7%、秋学期は 92.4% が目標スコアを達成した。

■English Camp ならびに IELTS™ 対策講座受講者数

LEAP プログラムでは課外活動として、夏季休暇中(9 月上旬)に語学試験対策集中講座、春季休暇中(3 月上旬)に English Camp を実施している。2022 年度は IELTS™ 対策講座をオンラインで実施した。English Camp は 3 年ぶりに対面形式で白山キャンパスにて 3 日間の日程で実施し、83 名の参加があった。

(人)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
English Camp	80	57	55	中止	118	85	83
IELTS講座 (TOEFL ITP® 講座: ~ 2019)	39	57	50	31	62	60	65

外国語力強化プログラム：課外語学講座・語学試験

＜課外語学講座＞

■英語講座〔※詳細は pp 70-72 参照〕

全学的な英語力の向上を目的に、学内プログラムの拡充を図った。

アカデミックライティングを指導するランゲージセンター（白山キャンパス 8 号館 1 階）の運営については、2020 年度から株式会社 ECC に業務委託し、1 日 4 名のネイティブスピーカーの講師とコーディネーターの配置により、学生への指導を実施した。

英語論文を書くための基礎知識とライティングスキルを指導する General Writing、TOEFL iBT®や IELTS™ 試験のライティングパートの演習に特化した“PWT”（Prep for Writing Tests）、Resume 作成など個々のニーズに合わせて学ぶことができる“PLUS”（Personalized Language Upgrade Series）の 3 プログラムを開講し、合計 324 名が受講した。修了後のアンケートでは、受講者の 99%が講座に対して満足と回答しており、多くの学生がライティング力の伸びを感じていることが分かる。

学生が単発でライティングに関する相談ができるライティング相談も定期的な利用があり、年間で 101 件の利用があった。また、長期留学出願のためのプレゼンテーションに関する講座、短期留学予定者向けに Survival English 講座、発音や文法に特化した英会話講座などを企画し、延べ 313 名の学生が参加した。

英語資格試験対策講座は、IELTS™、TOEFL ITP®、TOEIC® 対策講座に加えて、今期は新たに TOEFL iBT®と実用英語技能検定（英検）準1級、1級対策講座を募集し、受講講座の選択肢を拡充した。IELTS 講座 7 クラス、TOEFL 講座 2 クラス、TOEIC 講座 16 クラス、英検対策 3 クラスの合計 28 クラスを開講し、497 名が受講した。このうち有料で開講した 23 クラスでは、昨年度に引き続き 2 段階の要件（出席率 9 割以上と対象テストの受験、目標スコアの達成）による褒賞制度を設け、学生の学習意欲維持を促した。また、夏休みには、2 年半ぶりに対面で開講し、講師からは学生の理解度を確認しながら授業を進めることができるとの意見があった。また学生からは参加者とコミュニケーションを取りながらインタラクティブな授業でより理解が深まったと好評を得た。

＜キャンパス内留学＞【Toyo Achieve English】英語講座は、原則対面で開講したが、オンライン受講希望者にも対応できるよう体制を整えた。本講座には 593 名（前年比 67.7%）、特別講座には 108 名（前年比 132.9%）、合計 701 名（前年比 80.0%）が受講した。受講生の講座満足度は高いものの、受講者数が減少傾向にあるため、プログラム内容の再構築を図る予定である。

また、【Toyo Achieve English】英語講座では今年度も学外向け講座を開講し、年間 485 名が参加した。申込時にオンラインと対面の選択制とし、安定的に受講者を受け入れる体制を整えている。附属高等学校生対象の高大連携アチーブイングリッシュは、例年通り本学への入学決定者を対象に京北高等学校 3 年生 114 名と牛久高等学校生延べ 314 名に TOEIC 講座と英会話講座を提供した。また、新たに東洋大学入学予定者向けの大学入学準備講座も開講し、附属高校と併せて入学予定者に対する語学支援を充実させた。

講師派遣については、文京区との連携講座に加えて、今年度は新たに北区赤羽台桐ヶ丘団地の住民に向けた多文化共生講座を提供し、地域社会で外国人住民と共生していくための初級英会話と異文化理解促進交流会を開催した。次年度も引き続き地域連携を図り、更に全世代教育事業講座の充実を図りたい。

【2022 年度 英語課外講座受講者数（年間）】 (人)

主催	プログラム名		受講者数			
			学生	教職員	附属校生	学外
国際教育センター	ランゲージセンタープログラム		324	—	—	—
	英語資格試験対策講座	IELTS™ 講座	119	—	—	—
		TOEFL® 講座	30	—	—	—
		TOEIC® 講座	311	—	—	—
		英検講座	37	—	—	—
	【Toyo Achieve English】英会話講座		701	26	428	504
合計			1936	26	428	504

■日本語講座

外国人留学生向けの日本語課外講座について、日本語力が高い学生向けの BJT (ビジネス日本語能力テスト) 対策講座に加えて、初中級～上級を対象とした少人数の技能別 (会話・文法・読解等) グループレッスンによる STEP UP 講座、および、講師とのマンツーマンレッスンによる日本語ライティング指導プログラムを年間を通じて開講した。各講座の教育効果を踏まえ、対面・非対面の切り替えを行いながら実施することで、講座終了後のアンケートでは、高い満足度を得られている。コロナ禍以降、日本語でのコミュニケーション機会が減少する中、少人数制クラスやマンツーマンレッスンで日本語の発話機会を十分に持てたことが、留学生の学習モチベーションに繋がっている。

【2022 年度日本語課外講座 学内受講者数（年間）】 (人)

プログラム名	受講者数				
	春学期	夏季	秋学期	春季	合計
BJT対策講座	51	—	64	—	115
STEP UP講座	153	132	129	137	551
日本語ライティング指導 (プログラム型)	57	開講なし	21	開講なし	78
日本語ライティング指導 (スポット型)	55		82		137

※延べ人数

<語学試験>

2022 年度も各種英語資格試験の団体受験制度を活用し、受験料の補助を行うことで学生の受験機会を増やした。全学対象英語資格試験は、2021 年度に引き続き感染症対策を徹底し、ペーパー版 (対面) にて実施した。各学部・研究科主催英語資格試験は、それぞれのニーズに合わせてペーパー版 (対面) 及びオンライン版を併用し実施した。

外国語資格試験受験料補助においては、日本語を含む様々な言語の資格試験に対して補助を行い、学生の多様なニーズに即した支援を行った。

【受験料補助の対象となる語学試験および級】

- －実用英語技能検定(1級・準1級)
- －TOEFL® iBT
- －TOEIC® S&W
- －IELTS™
- －ドイツ語技能検定試験(5級以上)
- －ゲーテ・ドイツ語検定試験(A1以上)
- －実用フランス語技能検定試験(5級以上)
- －DELFDALF(DELFA1以上)
- －TCF(フランス語能力テスト)
- －BJTビジネス日本語能力テスト
- －日本語能力試験(JLPT)
- －中国語検定試験(4級以上)
- －HSK(漢語水平考試)(筆記1級、口試初級以上)
- －ハングル能力検定試験(5級以上)
- －TOPIK(韓国語能力試験)(TOPIKI以上)
- －DELEスペイン語検定(A1以上)
- －スペイン語技能検定(5級以上)
- －実用イタリア語検定(5級以上)
- －イタリア語CILS(A1以上)
- －イタリア語PLIDA(A1以上)

【外国語資格試験 受験料補助申請件数】 (件)

試験名	2020年度	2021年度	2022年度
実用英語技能検定	35	37	39
TOEFL® iBT	30	35	38
TOEIC® S&W	2	5	6
IELTS™	151	186	252
HSK(漢語水平考試)	24	55	30
中国語検定試験	19	16	26
TOPIK(韓国語能力試験)	2	21	21
ハングル能力検定試験	10	14	4
DELFDALF		2	1
実用フランス語技能検定試験	13	25	32
TCF(フランス語能力テスト)			1
ゲーテ・ドイツ語検定試験	2	1	
ドイツ語技能検定試験	12	17	13
DELEスペイン語検定			
スペイン語技能検定		1	1
実用イタリア語検定			
イタリア語CILS			
イタリア語PLIDA			
小計(外国語試験)	300	415	464
BJTビジネス日本語能力テスト	194	143	99
日本語能力試験(JLPT)		125	46
小計(日本語試験)	194	268	145
合計	494	683	609

英語スピーチコンテスト／ 日本語プレゼンテーションコンテスト

■第8回 英語スピーチコンテスト

2022年11月26日(土)に、全学を対象とした8回目となる英語スピーチコンテストを開催した。

2022年度は初の試みとして、高大連携の一環とする附属校の生徒を対象とした「高校生の部」を同時開催し、附属牛久高等学校、姫路高等学校から2名ずつ計4名の出場があった。

「大学生の部」では、26名の出場希望者からエントリーがあり、予選を勝ち抜いた9名が本選出場となった。2022年度のテーマは「同世代にもっと関心を持ってもらいたいSDGsの目標」、「国際社会に対する自国の最大貢献は何か」、「どんなテクノロジーによってどの社会問題が解決できるか」、「日本の高齢化社会を支えるためにできること」、「大学(高校)での学びの中で最も影響を受けたことは何か」を設定し、その中から学生(生徒)がテーマを選択して、各自5分の制限時間で発表を行った。コンテスト当日はYouTube Liveでも配信し、再生回数は延べ380回であった。また、今年度も多数の企業・団体から協賛を受け、特別審査員として日本英語検定協会の協力を得た。2023年度も引き続き高大連携イベントとして実施すると共に、大学生の部は「スピーチ」から「プレゼンテーション」に変更を加え、更にコンテストを進化させ、実施していきたい。

■第5回 日本語プレゼンテーションコンテスト

2022年12月3日(土)に、日本語プレゼンテーションコンテストを開催した。本コンテストは、本学に修学する外国人留学生に対して、日本語学習の機会と日頃の学習成果を発表する機会を提供する目的で2018年度から開催され、本年度は第5回目の開催となった。

今回は「日本の多様性と共生社会」というテーマを設定し、18名の応募者の中から7名事前審査を通過した。決勝出場者は、留学生独自の視点から課題を提示し、その解決策について提言し、流暢かつ高度な日本語を使いながら、力強く、そしてクリエイティブな発表を行った。

発表者・審査員・観覧者(学内教職員や学生)が会場に集い、その様子をオンラインで配信した。多くの企業・団体より協賛を受け、更に特別審査員として日本漢字能力検定協会、株式会社朝日ネットより表彰及び講評を得るなど、学生の励みとなるイベントとなった。今後も国際教育センターでは、留学生の日本語教育と就職をサポートするために、継続して本イベントを実施していきたい。

<各コンテストの様子>



英語スピーチコンテスト
大学生の部(1位)
島倉 玲花さん
所属:国際観光学部3年



英語スピーチコンテスト
高校生の部(1位)
宇奈手 栞莉さん
所属:附属姫路高等学校2年

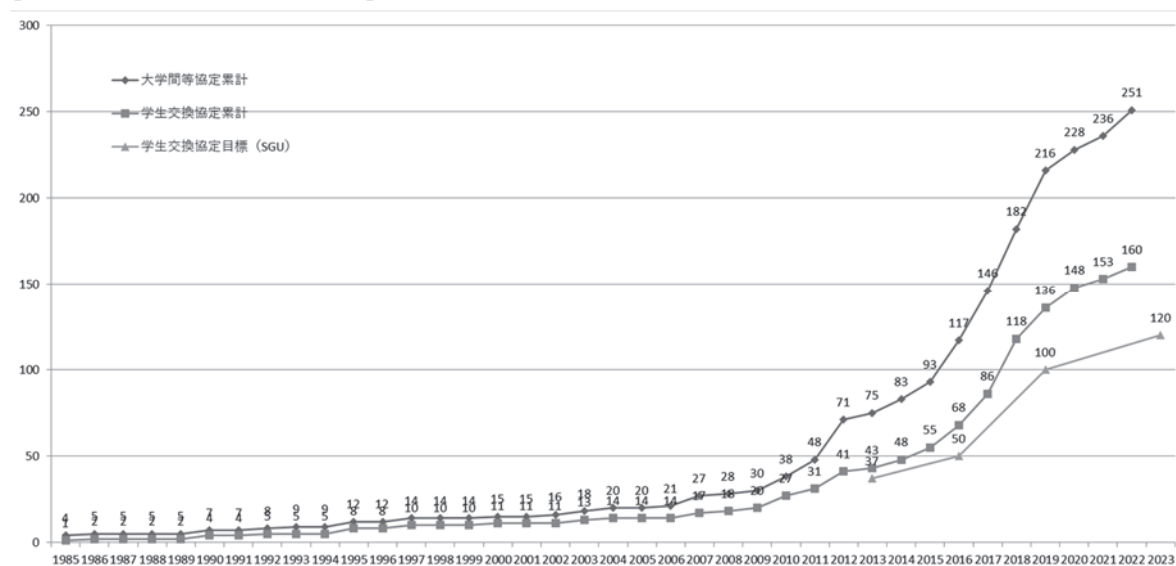


日本語プレゼンテーションコンテスト
(1位)
程 成/テイ セイさん
所属:社会学部国際社会学科2年

海外協定校ネットワークの拡大・海外拠点の運営と活用

海外に留学して自文化と異なる文化の中で世界各国の学生と切磋琢磨することは、学生がグローバルに活躍できる人材に成長するための重要な要素の一つとして位置づけられる。できるだけ多くの学生がそのような経験をするためには、海外の信頼できる高等教育機関と協定を結び、安心して学生が留学できる環境を整えておかなければならない。学業、語学力ともにトップレベルの学生のみならず、より広い層の学生にも留学の機会を提供する必要がある。国際教育センターでは、2014年度の文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援(タイプB:グローバル牽引型)」の採択以降、毎年世界各地で開催される国際教育分野の大会への参加や海外大学への訪問などを通じて、協定校(特に学生交換協定校)の開拓・拡大を続けてきた。2022年度は海外でのネットワーキングのためのフェアが再開され、本学もEAIE(スペイン・9月開催)、AEIA(アメリカ・2月開催)、APAIE(タイ・3月開催)にブース出展した。コロナ禍終息を受け、海外留学が世界的に再開される中、多様な留学先を確保できるよう、新規協定校の開拓及び既存協定校との関係強化を継続していく。

【海外大学等との協定件数推移】



■海外ネットワーク[※詳細は pp. 32・41 参照]

(2023年3月31日現在)

大学間協定	件数 (国・地域数)
学術交流協定(包括協定)	231(38)
学生交流協定	165(30)
全協定数合計	251*(39)

- ・学術交流協定(包括協定)、学生交換協定を個別にカウント
- ・協定機関には大学・国際機関・コンソーシアム・都市(自治体)を含む。
- ・日本の協定機関は上表に含まない
- *3都市と4協定を締結しているため、協定先数は250となる。

部局間協定	件数 (国・地域数)
学部(9学部)	70(27)
大学院(11研究科)	26(18)
研究所等(5箇所)	17(13)
計(A)	113
うち研究科と学部等三者協定(B)	14
実際の協定件数合計(A-B)**	99(33)
うち包括協定	74(30)
うち学生交流協定	52(23)

**包括協定、学生交流協定を兼ねるもの27件を含む

■海外拠点

本学は、海外拠点を5ヵ国8ヶ所に有する。2019年度には2013年から5年間設置していたインド工科大学デリー校(IITD)内に再びオフィスを設置した。インドのデリーオフィスは本学のバイオ・ナノエレクトロニクス研究センター(BNERC)との共同研究と、本学のプロモーションオフィスとしての二つの役割を果たすべく設置された、新しいタイプの拠点である。また、2020年度からは北京ならびに上海にオフィスを開設した。なお、2018年1月に株式会社MYAJAPAN SERVICEのヤンゴン事務所にミャンマーオフィスを設置し、事務連絡業務や渡日前入学試験等における支援業務の委託を行っていたが、ミャンマー国内の政情不安により、2020年度以降は、拠点としての委託は停止している。

それぞれの拠点の活動内容は以下の通りである。

<タイ拠点(バンコク)>

◆設置年 2014年1月 ◆場 所 チュラロンコン大学

現地スタッフが2名常駐し、以下の役割を担う。

- (1) 短期海外研修とSFS(Short-term Field Study、国際学部、大学院が実施する短期研修)の受入支援および危機管理。
- (2) タイの協定校開拓・連携:タイに事務所などを設置する他大学とのネットワーク構築。
- (3) 本学卒業生のためのネットワーク作り、留学生のリクルーティング等、本学のプロモーション活動。

<アメリカ拠点(ロサンゼルス)>

◆設置年 2016年7月 ◆場 所 カリフォルニア州

Affinity Associates と連携し、連絡拠点(リエゾンオフィス)を開設。本学の広報活動を展開。本学の学生を教員が引率しオフィスを訪問するなどの活動も行われている。

<ベトナム拠点(ハノイ/ホーチミン/ダナン)>

◆設置年 2017年2月 ◆場 所 株式会社KYODAIのハノイ、ホーチミン、ダナン各事務所

株式会社KYODAIに本学のリエゾンオフィス運営業務を委託。事務連絡業務や渡日前入学試験等における支援業務を行う。

<インド拠点(デリー)>

◆設置年 2019年4月 ◆場 所 インド工科大学デリー校(IITD)

ナノテクノロジー、バイオテクノロジー、バイオナノテクノロジー、材料科学の戦略的研究分野を開発するため、また本学の広報機関として機能している。

<中国拠点(北京/上海)>

◆設置年 2021年2月 ◆場 所 株式会社GES(日中文化交流センター)の北京・上海各事務所

株式会社GES(日中文化交流センター)にリエゾンオフィス運営業務を委託。事務連絡業務や渡日前入学試験、北京外国語大学との国際編転入プログラムの運営及び国際編転入提携校開拓等における支援業務を行う。

各種受入プログラムの実施状況

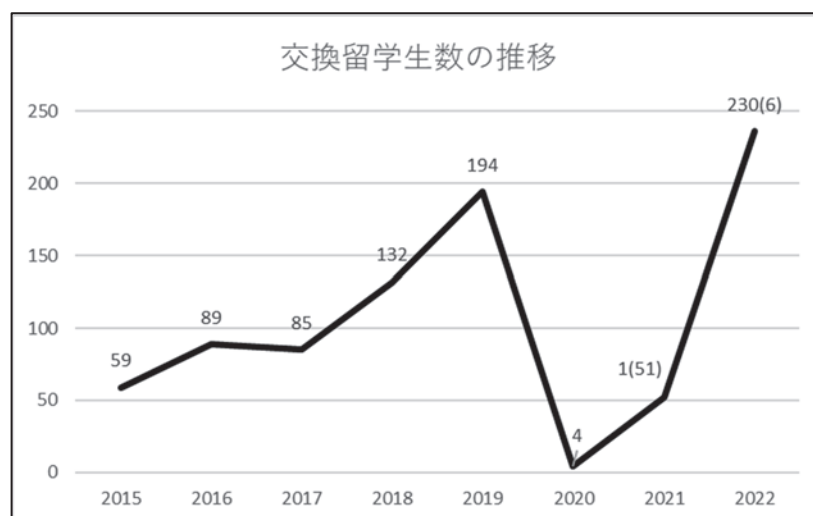
■交換留学生受入数・所属大学国について〔※詳細は pp. 47-53 参照〕

2022 年度は、新型コロナウイルス感染症収束の兆しが見え始めたため、2022 年 3 月に海外から中・長期の新規入国が再開され、受入数が大きく変化した。春学期は、実渡航留学として 10 カ国から 43 名(ウクライナからの交換留学生 12 名を含む)とオンライン留学として 3 カ国から 5 名の計 48 名を受け入れ、秋学期は実渡航留学として 26 カ国から 155 名を受け入れた(秋学期はオンライン留学なし)。

部局間留学については、春学期は、実渡航留学として 7 カ国から 12 名とオンライン留学として 1 カ国から 1 名の計 13 名を受け入れ、秋学期は、実渡航留学として 10 カ国から 20 名を受け入れた(秋学期はオンライン留学なし)。

2022 年度秋学期については、ほぼコロナ禍前の状況に転じ、アメリカ、オーストラリア、ヨーロッパからの英語トラックの留学生の増加に伴い、本学における英語開講科目や初修者のための日本語・日本文化科目(NEST)科目の需要がこれまで以上に高まった。これらのニーズに対応するために、最も履修者が多い NEST 科目のビギナー向けの科目(Japanese for Beginners Theory/Practice 及び関連するスキル別科目)を 1 コースずつ増コースし、クラス定員の適正規模(30 名以内)を確保するように努めた。学期終了後のアンケートでは全体的な感想として満足していると回答があった。一方で、交換留学生に開放されている英語開講科目数やレベルについては全体の約 4 割が「不満がある」と回答しており、履修したい科目が日本語開講のみで、日本語力が足りず、履修できなかった等の声が寄せられた。

本学の日本人学生がサポート学生として、交換留学生の日本語学習や日常生活の支援を行う LEP(Language Exchange Program)を実施し、留学生がスムーズに日本での生活に適応できるように支援した。春学期は交換留学生 22 名に対してサポート学生 63 名、秋学期は交換留学生 117 名(うち部局間留学 13 名)に対してサポート学生 120 名がマッチングされた。



(部局間協定含む)

※()内の数字は、オンライン履修をしたため実渡航を伴わない学生数

■留学生対象イベントの実施

2022 年度は、コロナ禍を越え、対面とオンラインによる交流活動が平行して行われ、キャンパスにも少しずつ賑わいが戻ってきた。

2021 年に続き、本学の学生団体 Toyo Gem Stone (TGS) の企画・運営による、対面・非対面のイベントが開催された。12 月 5 日(月)に「平和と希望」をテーマにしたイルミネーション点灯式が白山キャンパスで行われ、SDGs の観点から、間伐材を使用したオリジナルオーナメントが参加者に配布された。当日は Instagram 等を通して日英 2 か国語でライブ配信が行なわれた。

12 月 10 日(土)に第 2 回目となる東洋大学国際映画祭が開催された。本学の留学生や日本人学生の他に、2022 年度交換留学生として在籍していた協定校からも応募があり、上位 3 作品が表彰された。

この他、留学生で構成された学生団体「Toyo International Student Association」も、約 2 年ぶりに対面によるイベントを実施した。人数制限を設けての実施となったが、新入生歓迎会とクリスマスパーティーが、キャンパスや学年の違いを越えて開催された。

■ショートプログラムの実施〔※詳細は p.53 参照〕

国際教育センターでは、協定校を対象とするカスタマイズ型のショートプログラムを 5 件実施予定であったが、コロナ禍により渡航がかなわなかったため、実渡航を伴うショートプログラムは 1 件、オンライン型のプログラムが 1 件、合計 2 件のプログラムを実施した。

実渡航を伴う対面でのショートプログラムは、2019 年度から継続して受注しているカスタマイズ型ショートプログラムとして、協定校の 1 つであるハートウィック大学(米国)一行に対し 2023 年 1 月に実施した。2019 年度に次いで、同大のプログラムは 2 回目の対面開催となった。

また、オンラインプログラムとして日本語教育コンテンツを充実させたオープン型のショートプログラムを夏季に開催した。当該プログラムの満足度は非常に高く、夏季は 10 か国から 24 名が参加した。中には夏季のプログラムに参加した学生で秋学期からの交換留学プログラムに参加した学生もいた。このようなオンラインのショートプログラムを年 2 回(夏・春)の開催することで、日本への渡航費用が懸念材料となって留学を諦めている学生などを取り込むとともに、協定校向けのカスタマイズ型プログラムも開催して交流を促進していきたい。そして、本学学生との交流機会の創出に繋げ内なる国際化を推進していく。



各種留学・派遣プログラムの実施状況

コロナ禍により、2021 年度までの派遣プログラムは、中止や規模の縮小、あるいはオンラインでの実施を余儀なくされたが、2022 年度はオンラインでの留学を一部継続しつつも、渡航での留学が復活した。応募希望者が増加する一方、渡航費・燃油費の高騰や円安の影響で留学費用が高騰したため、留学を諦めたり、期間を短縮したりする学生も一定数いた。そのことから、奨学金を活用して留学するニーズがこれまで以上に高まっていると共に、海外研修初参加の学生も増加していることから、募集説明会や出発前オリエンテーションの強化に努めている。学生の様々な要望に応じるために、国際教育センターでは、主に以下の海外留学・研修プログラムを展開した。

〔※詳細は pp. 56-64 ページ参照〕

■長期留学

学生のワクチン接種や留学先の感染縮小状況及び留学先大学の受入体制等の条件を満たすなどの特例措置が 2022 年度も適用され、学生を派遣した。2021 年度は秋学期のみ派遣(69 名)したが、2022 年度は春学期から募集を行い、結果、予定されていた学生全員を派遣することができ、春出発は 23 名、秋出発は 128 名を派遣した。

2023 年度の募集は、留学期間を 1 学期間から選択できることや、ブリッジプログラム型(語学履修+学部正規科目)の募集枠があることを明示し、さらに交換留学と認定留学を合わせて「長期留学」として年 3 回の募集を行った。その結果、2023 年度春出発は 17 名、秋出発は 140 名の学生が長期留学生として選抜され、より多くの学生に留学機会を提供することができた。

■協定校語学留学

2020 年度秋学期から 2021 年度秋学期までの協定校語学留学プログラムは全て中止となっていたが、本学の特例措置により、2022 年度春学期より派遣を再開した。

2022 年度春学期の協定校語学留学では、カナダ、アイルランド、フランスに 41 名を派遣した。フランス語コース(フランシュ=コンテ大学)は初の派遣となった。2022 年度秋学期は、更にコース数を増やし、カナダ、アイルランド、イギリス、オーストラリア、フランスに計 67 名の学生を派遣した。

2023 年度春学期は、2023 年 2 月～3 月からカナダ、アイルランド、オーストラリア、フランスで計 50 名が留学を開始し、2023 年 5 月にはカナダへ 4 名が派遣された。

■協定校等主催短期プログラム

例年、海外協定校等が主催する短期プログラムへ学生を派遣しているが、2022 年度はコロナ禍により、現地への派遣は一部プログラムに留めた。実渡航コースは、合計 9 名の学生が各大学・機関の実施するプログラムに参加した。ボローニャ大学(イタリア)に 7 名、グルノーブル大学附属フランス語教育センター(フランス)に 1 名、中原大学(台湾)に 1 名が参加した。一方、オンラインコースは、中原大学(台湾)に 2 名、香港大学(香港)に 1 名の合計 3 名が参加した。今後も各協定校のプログラムを告知し、積極的な参加を呼び掛ける。

■語学セミナー

2022年度は渡航コースの7コース(カレッジオブザデザート／アメリカ、トンプソンリバーズ大学／カナダ、ダブリンシティ大学／アイルランド、ディーキン大学／オーストラリア、サザンクロス大学／オーストラリア、FPT 大学／ベトナム、釜山外国語大学／韓国)、オンラインコースの4コース(トンプソンリバーズ大学／カナダ、釜山外国語大学／韓国、天主教輔仁大学／台湾、北京語言大学／中国)を実施した。参加者数は計155名(夏季76名、春季79名)であった。研修コースの設定にあたっては、学生の関心により地域を選択できるよう、北米・欧州・豪州・アジアから選定し、各地域の文化や特色が反映されるようなプログラムとした。募集時点で渡航が制限される地域においては、オンラインコースを設定することで、学習機会の確保に努めた。また、多くのコースをオープンクラスで実施することにより、各学生のレベルに合った外国語学修機会の提供、また、他国からの留学生と一緒に学修・活動できる機会を提供した。加えて、文化交流イベントやホームステイなども盛り込み、異文化体験もできるようにプログラムを充実させた。今後、新規コースの開発にあたっては、引き続き危機管理および学習成果の観点から派遣先を選定し、学生の多様なニーズに応えられるよう企画・運営を行っていく予定である。なお、渡航コース参加者の約9割が「チャレンジ型」奨学金に申請し、7～30万円の奨学金を受給した。

■海外インターンシップ・ボランティア

海外経験が初めての学生からレベルの高い実践的な研修に関心のある学生まで、それぞれのニーズに応えるべく、語学学校に通いながらボランティアに参加するコースや現地企業で実際に英語を使用してインターンシップに従事するコースなど、それぞれ特色のあるコースを設定している。2022年度はオンラインによるアメリカにある日系企業でのインターンシップや課題解決型プログラムを取り入れたインターンシップを実施した。夏季には25名、春季には19名が参加した。2023年度は渡航コースを復活させ、引き続き学生の多様なニーズに応えられるよう様々な分野のプログラムを実施し、質の高いプログラム実施に向けて取り組んでいく。

■共創体験型プログラム(Diversity Voyage、海外スタディツアー)

現地学生と共にフィールドリサーチを行い課題解決を目指す共創体験型プログラム(Diversity Voyage)について、2022年度は渡航コースの4コース(フィリピン2コース、ラオス、インドネシア)、オンラインコースの3コース(ドイツ2コース、マレーシア1コース)を実施し、120名(夏季69名、春季51名)の学生が参加した。これまで実施した第18期までの参加者の合計が、現地参加者も含めると2,397名となった。

また、2022年度は新たに、「海外スタディツアー」を1コース実施し、フィリピンでのプログラムに22名(春季)の学生が参加した。現地での研修成果を活かし帰国後も本研修の根本的なテーマであるSDGs(持続可能な開発目標)に沿った課題解決へ向けて自発的に取り組む学生が多い。グローバル人材育成の導入的プログラムとして今後も継続していく。

■国連ユースボランティア(UNYV)

本プログラムは、国連ボランティア計画(UNV)が大学と連携して実施する長期海外インターンシップである。開発途上国での国際協力活動を通じ、国際社会や異文化に関する理解と主体性や責任感を習得することを目的としている。応募にはボランティア経験が問われるだけでなく、国連オフィスで職員として広報業務やイベント企画を担うための、高い語学力とコミュニケーション能力が求められる。2022年度は3名からの出願があり、アルバニア共和国のUNICEFへ1名を派遣した。なお、2022年度を以て本学の国連ユースボランティアへの参加は終了となった。

■The Washington Center(TWC)

ワシントンセンターは米国ワシントン DC に本拠を持ち、大学生向けのインターンシップを運営する専門機関である。TWC は 1975 年に設立され、アイビーリーグを含む米国主要大学の学生 5 万人以上に首都ワシントンにおけるインターンシップの機会を提供してきた。また、留学生にもインターンシップの機会を提供しており、適切な候補者には J-1 ビザ申請をサポートし、海外からのインターン生には複数の奨学金を準備している。参加学生が、ワシントン DC 周辺の公的機関、NPO、企業などでの 15 週間の就労体験、夜間に実施される著名人によるアカデミックな授業を通じて国際的感覚を身に付けることにより、将来のグローバルリーダーを育てるプログラムである。

2022 年度は参加希望者がなかったため、2023 年度の派遣に向けて、プログラムの魅力を更に発信していく。

交換研究員の派遣・受入

[派遣]

交換研究員の派遣は、大学間協定の教員交換に関する条項に基づき、協定校において研究に従事することを目的としている。交換研究員は、派遣先協定校の要請に基づき、講義等の教育活動に参加する場合がある。派遣期間は原則として3ヶ月以上1年以内。応募資格は、原則として本学の専任教員として3年以上勤務した者となっており、帰国後は派遣期間の2倍に相当する期間を本学の専任教員として勤務する義務がある。2021年度はコロナ禍により候補者が辞退したため、派遣は行われなかったが、2022年度は「新型コロナウイルスの感染拡大に伴う本学教職員の海外活動及び研究員の受入に関するガイドライン(6-2)」に基づき2名の教員を派遣した。

■交換研究員派遣一覧

年度	派遣者氏名	所属	派遣国	協定校名	研究テーマ	研究協力者	派遣期間
2017	里吉 清隆	経営学部 会計ファイナンス学科	アメリカ	ミズーリ大学 セントルイス校	証券市場の計量分析 (1)資産価格の時系列分析 (2)オプション価格の評価	Yiuman Tse	2017年3月28日～ 2018年3月29日
	ブランシャール・ニコラ	経済学部 総合政策学科	フランス	ストラスブール大学	フランス景観保存政策における 広告と看板の規制制度の分析	Dominique Badariotti	2017年8月3日～ 2018年8月21日
2018	藤本 貴之	総合情報学部 総合情報学科	アメリカ	カリフォルニア大学 ベイカーズフィールド校	メディア産業の構造およびエンターテインメント産業／技術の日米比較	Mary Slaughter	2018年9月1日～ 2019年9月1日
2019	山口 裕之	経営学部 経営学科	イギリス	カーディフ大学	社内起業家の育成と確保：企業内イノベーションのプロセス分析	Rick Delbridge Jonathan Morris	2019年4月1日～ 2020年3月26日
	喜岡 恵子	総合情報学部 総合情報学科	イギリス	コベントリー大学	鉄道運転士の事故防止支援のための心理アセスメントシステムに関する日英比較研究	Andrew Parkes	2019年8月5日～ 2020年8月6日
	吉江 由美子	食環境科学部 食環境科学学科	フランス	ストラスブール大学	食品中の有用成分とその機能一括分析ならびにその効率的な前処理方法の開発	Eric Marchioni	2019年7月1日～ 2020年3月24日
2020※	平島 みさ	社会学部 社会文化システム学科	イギリス	カーディフ大学	英語化の進行による英語圏文化のグローバリゼーションが伝統文化継承に及ぼす影響	Bella Dicks	2020年4月1日～ 2021年4月1日 国内での研究
	吉野 隆	理工学部 機械工学科	スロベニア	リュブリャナ大学	形の科学に関する諸研究	なし	2020年4月1日～ 2021年3月31日 国内での研究
	多田 光利	総合情報学部 総合情報学科	インドネシア	マラナタ基督教大学	サイバー教育「1つの教室」	Hapnes Toba	2020年10月24日～ 2021年3月9日 国内での研究
2021	派遣予定者の辞退により、派遣者はなし						
2022	藤尾 美佐	経営学部 会計ファイナンス学科	イタリア	ベネツィア(カ・フォスカリ)大学	日本人話者の英語コミュニケーションにおける課題と可能性～留学からキャリアまで	RUPERTI Bonaventura	2022年4月1日～ 2023年4月2日
	湯舟 英一	総合情報学部 総合情報学科	イギリス	コベントリー大学	英語音声教授法開発と情報技術の利活用	V. Michael Cribb	2022年9月28日～ 2023年9月29日(予定)

※2020年度はコロナ禍のため海外への渡航が行えず、国内での研究となった。

[受入]

2011年度以降受入実績なし

【ストラスブール大学との研究員の短期派遣・受入】

協定校であるフランスのストラスブール大学からの招聘に基づき、2021 年度は 1 名を派遣したが、2022 年度は派遣者がいなかった。

また、2020 年 3 月 24 日に制定された「東洋大学におけるストラスブール大学招聘教員受入要領」に基づき、初の短期招聘教員を受け入れた。

■派遣

年度	派遣者氏名	所属	受入部局	研究協力教員	研究テーマ	派遣期間
2021	加藤 隆之	法学部 企業法学科	Faculty of Law	Peggy Ducoulombier	AI (Artificial Intelligence) と法について	2022年1月16日～ 2022年2月6日

■受入

年度	派遣者氏名	所属	受入部局	研究協力教員	研究テーマ	受入期間
2022	Sandra SCHAAL	Faculty of Foreign Languages, Department of Japanese Studies	国際学部	今村 肇	Inequality issues and gendered discourses and representations in modern and contemporary Japan	2023年1月6日～ 2023年1月24日

外国人研究員の受入

交換研究員の受入とは別に、本学において主として研究に従事する外国人研究員の受入を行っている。外国人研究員への応募は、外国の大学、その他これに準ずる教育研究機関に所属する教員又は研究員が本学において研究を希望する者で、所属機関長の推薦を得て、本学の受入教員を通じて学長に願い出ることとなっている。受入期間は原則3ヶ月以上1年以内となっているが、日本学術振興会又はそれに準じる公的機関の外国人研究員を受け入れる場合はこれに限らない。滞在や研究に関する諸経費は自己負担となるが、本学での身分が保証され、本学の施設設備を利用できる。過去5年間の受入実績は以下のとおり。

■外国人研究員受入一覧

年度	研究員氏名	国籍	所属機関	所在国	受入学部	受入教員	研究テーマ	受入期間
2018	黄 懷谷	中国	珠海城市職業技術学院	中国	社会学部	王 亜新	認知参照点モデルに基づく日本のマグスポット研究ー中国観光への波及効果に関連して	2018年9月1日～2020年8月30日
2019	Erica Baffelli	イタリア	マンチェスター大学	イギリス	社会学部	高橋 典史	日英共同研究プロジェクト‘Religion and Minority’に関わる日本国内の宗教組織への訪問調査および関連する研究者たちとの情報交換の実施	2019年8月8日～8月24日・2019年12月23日～2020年1月12日
	Aura Di Febo	イタリア	マンチェスター大学	イギリス	社会学部	高橋 典史	日英共同研究プロジェクト‘Religion and Minority’に関わる日本国内の宗教組織への訪問調査および関連する研究者たちとの情報交換の実施	2019年7月21日～9月12日
	林 興	中国	福建江夏学院	中国	経済学部	郝 仁平	一帯一路視角に基づき農村振興的の機会と挑戦に関する研究	2019年12月16日～2020年6月15日
2020	当初3名の受入が決定していたが、新型コロナウイルスの影響により来日不可能となり2021年度および2022年度へ延期することとなった。							
2021	Erica Baffelli	イタリア	マンチェスター大学	イギリス	社会学部	高橋 典史	現代日本における宗教とマイノリティーに関する研究	2021年10月28日～12月27日
2022	Mikiko Terashima	カナダ	ダルハウジー大学	カナダ	ライフデザイン学研究科	菅原 麻衣子	ダイバーシティの観点からのバリアフリー環境整備手法に関する日本・カナダの比較研究	2022年6月6日～2022年7月17日
	Charmaine Noelle Willis	アメリカ	ニューヨーク州立大学オルバニー校	アメリカ	社会学部	ズルエタ・ジョハンナ	日本・フィリピン・韓国の反米軍動員	2022年5月1日～2022年6月30日
	Leung Cheuk Shing	中国(香港)	国立台湾大学社会科学学院	台湾	経済学部	隅田 和人	日本の社会保障プログラムの社会的価値の計測	2022年8月17日～2023年6月8日

Toyo Global Leader (TGL) プログラム

TGLプログラムは、学生が国内外で活躍できるグローバル人材となるために、「異文化環境における英語運用表現能力」、「多文化共生社会における価値創造能力」、「異文化環境における課題解決能力」の3要素を強化することを目的として創設された。本プログラムでは以下の7つの要件を設定し、各要件を満たした学生を「GOLD」「SILVER」「BRONZE」として Toyo Global Leader に認定している。

＜認定要件＞

- ①英語能力 ②外国語による授業科目の修得 ③外国語によるレポート・論文等執筆
④海外留学・インターンシップ ⑤海外アクティビティ
⑥東洋グローバルリーダー(TGL)キャンプ ⑦Toyo Global (TG) ポイント

■TGL キャンプの実施

2022 年度の参加人数は昨年度(2,326 名)を上回る 2,676 名となった。

開催日	テーマ	参加人数	開催日	テーマ	参加人数
4/7・8	GINOS Orientation Camp	98	9/6～9/9	実践型異文化理解プログラム Meet the World	13
4/8	経営学部マーケティング学科	150	10/1	海外販売戦略	24
4/9	ライフデザイン学部子ども支援専攻TGLキャンプ(SDGs)	22	10/8	Diversity Voyage 参加者事後研修	67
4/16	世界がもし100人の村だったら	36	10/15	留学フェアコラボ(留学準備)	18
4/19・23	社会学部社会心理学科	137	10/22	SDGs～目標達成について考える～	14
4/23	留学フェアコラボ(留学準備)	52	10/26～12/22	国際観光学部 全員観光研修	79
4/23	社会学部国際社会学科 新入生 歓迎行事	160	11/5	海外販売戦略(英語)	16
4/26	ライフデザイン学部生活支援学専攻 新入生TGLキャンプ	111	11/12	中長期留学決定者 TGLキャンプ	50
5/18	ライフデザイン学部 健康スポーツ学科	184	11/16～18	韓国(国民大学校)との合同ゼミ	9
5/28・6/1・7/9・ 7/16	生命科学部×GiFT コミュニティ・ファンリテーター育成プログラム	11	12/10	留学決定者対象 「海外危機管理研修」	169
5/21	SDGsカードゲーム	81	12/10	前橋英語村(CHUO Global Village) 英語研修	4
6/11	バーチャル日本ツアーガイド (英語開催)	23	12/17	バーチャル日本ツアーガイド	14
6/24・ 2023/1/20	日本語・英文要旨セミナー&ワーク ショップ	139	1/22	Diversity Voyage 参加者事前研修	46
6/25	経営学部 ビジネスゲーム	28	1/28	SDGs～目標達成について考える～ (英語)	15
6/25	長期留学決定者 TGLキャンプ	121	2/4	2022年度春季海外スタディツアー 事前研修	22
7/6・13	文学部国際文化コミュニケーション 学科の討論会	55	2/18	ことばのやさしさを考える	17
7/9	渡航前危機管理研修	238	2/24	ビジネスゲーム大会	34
7/16	TGL キャンプ～Seeing from another view～	229	3/7～9	LEAP English Camp	71
7/23	介助犬の世界	42	3/18・19	模擬国連(英語)	9
7/24	Diversity Voyage 参加者事前研修	68	合計	39回	2,676

■2022 年度 TGL プログラム認定状況〔※詳細は p. 69 参照〕

2022 年度の実績値は「GOLD」認定者数 72 名(460 名)、「SILVER」認定者数 483 名(1,100 名)、「BRONZE」認定者数 1,839 名(2,500 名)である。なお、()内は目標値。

留学生の就職支援への取り組みについて

本学は、2017 年度から 2021 年度まで、文部科学省の「留学生就職促進プログラム」委託事業を担い、私費留学生の就職支援に取り組んできた。その経験から、文部科学省のオンライン国際教育プラットフォーム「Japan Virtual Campus 事業」(JV-Campus)において、今まで培ってきたビジネス日本語教育に関する知見を活用し、本学開発のビジネス日本語教材を用いて、様々なコンテンツ提供を行っている。今後は、2022 年度に採択を受けた文部科学省の「大学の世界展開力強化事業」として、日本語・日本文化教育を通じた高度日本語人材の育成に注力し、ビジネス日本語教育及びインターンシップ機会の提供を進めていく。

<2022 年度実施内容>

【ビジネス日本語教育】

○正課「ビジネス日本語」科目開講

年間 7 コース開講した。ビジネス日本語の知識を教授するだけでなく、外部講師を招聘しビジネス日本語の実践およびキャリア形成について考えた。当該科目は、合計 240 名の履修があった。

○課外講座

(1) ビジネス日本語課外講座

・ BJT ビジネス日本語能力テスト対策講座

概 要: BJT テストのスコアアップを目指す実践講座。

実施時期: 2022 年春学期、秋学期(1 回 90 分×8 回)

受講人数: 115 名(年間)

・ ビジネス日本語ポイント講座・アドバンス講座

概 要: ポイント講座は 14 コース、アドバンス講座は 6 コースから、自由に選択することができ、講師はそれぞれのテーマ別に専門家が務める。N2 以上対象。1 講座あたり 1,000 名上限。

実施時期: 長期休暇(夏・春)に実施

受講人数: 6,410 名(年間・延べ人数)

・ ビジネス日本語オンデマンド講座

概 要: 独自に作成した動画 104 本を編集制作。90 分×8 回×2 セット。

毎回クイズによる要点確認あり。最終回に修了レポートを課し、添削返信する。

実施時期: [1 期]5~8 月頃、[2 期]10~1 月頃

受講人数: 95 名(年間)

(2) 初修・アカデミック日本語課外講座

・ 日本語 STEP UP 講座

概 要: 1 コマ/週×10 回、初級から上級まで対応。

目的別に 13~15 プログラムで、10 名以下の少人数クラス。

実施時期: 春学期、秋学期、長期休暇(夏・春)に実施

受講人数: 659 名(年間・学外受講生含む)

- 日本語ライティング個別指導プログラム

＜プログラム型＞

概要: 東洋大学オリジナルカリキュラムに沿って指導を受けるマンツーマンレッスンのプログラム
初級から上級まで対応

実施時期: 春学期と秋学期に実施

＜スポット型＞

概要: 都度予約の1回完結型レッスン

実施時期: 通年

受講人数: 215 名(年間)

■BJTビジネス日本語能力テスト受験結果(延べ人数)

	2022年度	6か年合計 (2017～2022年度)
J1+	9	45
J1	21	133
J2	55	605
J3	12	108
J4	2	3
受験者合計	99	894

○日本語試験 団体受験・受験料補助

- BJT ビジネス日本語能力テスト団体受験

概要: 団体受験の実施と受験料補助の支援

受験料: 1,100 円(学外で一般受験した場合:7,000 円)

- JLPT 日本語能力試験 N1 受験料補助

概要: 受験料の半額補助

JLPT(N1)合格者数(受験料補助申請者数):28 名

【キャリア教育】

○「国際キャリア概論／異文化理解概論」開講

留学生向けキャリア教育科目として開講した。、日本で働く留学生や留学生就職支援関係者など外部講師を招き、留学生のキャリア形成について考えた。またグループディスカッションや模擬面接などビジネス日本語を使う機会を設け、日本語の発言力および実践力、グループ内のコミュニケーション力を高めることができた。当該科目は 82 名の留学生が履修した。

【インターンシップ】

○東京外国人雇用サービスセンター外国人留学生対象インターンシップ 8 名参加

○グローバル人材育成センター埼玉(GGS)グローバル人材向け県内企業インターンシップ
1 名参加

【その他】

○留学生就職支援室(場所:白山キャンパス 8 号館 2 階)の運営

留学生の就職活動関係の一時的窓口、インターンシップの紹介等



コロナ禍におけるオンライン国際交流の試み

■国際学生ミーティング〔※詳細は p.65 参照〕

2020 年度より海外協定校の学生とオンラインで交流するプログラムとして始まった「国際学生ミーティング」は、参加学生が自国の文化や生活の中で関心のあるテーマについて発表し、その後の議論を通じて、お互いの文化について理解を深めるものである。3 年目となる 2022 年度は、計 9 回開催され、参加学生数は計 316 名となった。

今年度は、2020 年度当初から複数回にわたり交流を行っていたインドネシアのダルマプルサダ大学との国際学生ミーティングの開催主体を変更した。昨年度までは、両大学の教員がテーマや開催時間などの詳細を決めたのちに学内募集を行っていたが、今年度は双方の学生が主体となり、イベントの企画から運営を行う形式となり、より学生の主体性を養うイベントへと発展した。来年度も、世界展開力連携校との実施を中心に、オンラインでの学生交流の機会を提供していきたい。

■ECZ〔※詳細は p. 55 参照〕

学生が英語や外国語で交流する場 English Community Zone(ECZ、8 号館 1 階)は、コロナ禍におけるオンライン交流の試みのひとつとして 2020 年度よりオンラインによる「ECZoom」として形を変え、2022 年度春学期は延べ 438 名(前年比 183.2%)がオンラインで参加した。2022 年度秋学期の 11 月からは、入室人数に制限を設けて対面でも開催し、延べ 674 名(同 139.5%)の学生が参加し、年間延べ 1,112 名となった。

2023 年度からは、対面とオンラインのハイブリット形式での開催した。今後も学生スタッフと共に様々な学生が英語やその他の外国語を通じて楽しむ国際交流の場を提供できるよう努力していく。なお、英語のみでなく、フランス語や日本語といった他言語で行う FCZ や JCZ など企画して開催していく。



Zoom 上で交流している様子

■ビジネス日本語ポイント講座・アドバンス講座〔※詳細は pp. 65-66 参照〕

昨年度に引き続き、夏と春にオンライン形式によるビジネス日本語ポイント講座を、そして春には今年度より全 6 講座のビジネス日本語アドバンス講座を実施した。日本での就職を目指す国内留学生や企業で働く日本語を母語としない受講生のために各界の専門家を招き、ビジネス日本語を総合的に学べるよう開講した。夏のポイント講座には延べ 3,300 人以上、春のポイント講座では延べ 2,800 人以上、春のアドバンス講座には延べ 200 人以上が参加した。このうち 860 人以上が有料講座に参加した。

参加者の内訳を見ると、東洋大学の留学生、日本国内の大学や日本語学校で学ぶ留学生をはじめ、海外で日本語を学ぶ大学生や、日本国内外の日系企業や各国のグローバル企業に勤務する会社員、また、日本語教育に携わる教師や学校関係者など、多様な受講生となった。講座中はチャット機能を使ってアンケートやクイズの実施や、講師や参加者との応答がなされるなど、インタラクティブな形で実施され、受講生は楽しみながら積極的に参加していた。

■東洋大学模擬国連(Toyo MUN)〔※詳細は p. 68 参照〕

3 月 18 日(土)、19 日(日)の 2 日間にわたり、東洋大学バーチャル模擬国連が開催された。学生主体で実施される本会議は今回で第 4 回を迎えた。

「Ensuring Comprehensive Sovereign State Security in a Globalized World(グローバル化した世界における包括的な主権国家の安全保障の確保)」というテーマで開催した今回は、世界 19 の国と地域、46 の教育機関から 155 名の学生が参加した。昨年度に比べ倍以上の参加者が集い、終始活発な意見がとり交わされ、学生たちは 2 日間にわたって様々な学びを得ることができた。来年度以降も学生の主体性を確保しつつ、より実り多きイベントとなるようサポートしていく。

柔軟な国際編転入制度の取組状況

柔軟な国際編転入制度の取組として、2020 年度入試より、香港理工大付属短期大学および香港大学付属短期大学 (LiPACE) から 2・3 年次への指定校型の編入学試験、さらに、2023 年度入試より、中国の北京外国語大学内に「東洋大学進学コース」を設け、2 年次への指定校型の転入学試験を実施している。

北京外国語大学に設置された東洋大学進学コースでは、学生は最初の 1 年間、日本語能力試験 (JLPT) N1 の取得を目指し日本語学修に取り組む。さらに半年間、志望する学部・学科の専門科目関連の科目を中心に教育を受ける。第 1 期生となる 2023 年度転入学者については、東洋大学進学コース在籍者数 28 名中 15 名が本学を受験し、13 名が合格、入学した。第 2 期生は 42 名在籍しており、本学への転入希望者は増加している。本学における各学部・学科海外協定校からの編転入生の受入について、引き続き各学部・学科へ呼び掛けていく。

■各学部の国際編転入制度への参画状況 (2023 年度入試)

学部	経済			経営	法	社会			国際		国際観光	総合情報	生命科	食環境	ライフデザイン
学科	経済	総合政策	国際経済	経営/マーケティング/会計/ファイナンス	企業法	国際社会	メディアコミュニケーション	社会心理	グローバル・イノベーション	国際地域	国際観光	総合情報	生命科/応用生物科	フード/スポーツ	健康スポーツ
香港	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
北京		○	○				○			○		○			○

■指定校型編転入学試験 出願者数・入学者数

種別	入試年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
香港	出願者数	1	1	3	2
	入学者数	1	1	3	2
北京	コース在籍者数				28
	出願者数				15
	入学者数				13

Toyo SDGs Ambassador Program for International Students の創設

SDGs 達成に向けてリーダーシップを発揮できる人材を育てたいという本学の強い思いが、Toyo SDGs Ambassador Program for International Students として創設された。SDGs アンバサダーは入試出願時に提出したアクションプランをベースに、学内外での SDGs 関連の啓蒙活動やイベント等を通じ、東洋大学コミュニティの SDGs に関する意識向上と目標達成を促す役割を担う。加えて、SDGs アンバサダーには学術的な助言を行う指導教員と、様々な活動をする先輩学生のメンターが割り当てられ、充実した支援体制が整えられている。2022 年 11 月に SDGs Ambassador を募集する最初の入試が実施され、3 名の合格が決定した (国際学部 2 名、総合情報学部 1 名)。3 名は 2023 年 3 月下旬に来日し、AI-House HUB-4 に居住しながら SDGs Ambassador としての活動を開始した。今後の SDGs Ambassador たちの活躍に期待したい。

国際教育センターの FD/SD 活動

国際教育センターでは、シラバスの点検や授業評価アンケートの実施などの取組に加え、英語特別教育科目 (LEAP プログラム) や日本語教育プログラムなどのテーマごとに FD 研修を実施するとともに、国際課職員の業務知識および業務スキルの向上を図るための SD 研修を毎年実施している。

■日本語教育プログラム[FD]

オンラインによる FD 研修会を 2 回実施し、正課科目担当教員、課外プログラム担当教員、学内関係者に加えて、文学部日本語教員養成プログラムを履修する学生や日本語を学ぶ留学生にも開放した。

第1回	
テーマ	日本語教育講演会 (2022年8月)
講師	尹智鉉氏 (中央大学文学部准教授)
日時・場所	2022年8月4日 (木) 15:00ー16:30 開催方法:ビデオ会議システム
参加者数	20名
アフターコロナの授業運営のあり方について、日本語教育における遠隔教育・e ラーニング研究の第一人者である尹准教授を招聘し講演会を実施した。遠隔教育の歴史を振り返りながら、現在の授業形態において気を付けるべき点など実践的な指摘があり、今後の授業運営に活かすことのできる知見を得ることができた。 本学の日本語教育プログラムにおいては、コロナ禍を通じて海外協定校に向けた NEST プログラムの双方向配信を行っていたが、今回の専門家の知見を踏まえ、改めてプログラムを振り返る貴重な機会となった。特に、オンライン教育プログラムにおいては対面状況とは異なる配慮が強く求められ、対面時よりも授業運営の負荷は大きくなるという指摘を受けて、オンライン教育を推進する際の注意点を踏まえた上で、今後の進め方について意見交換が行われた。	
第2回	
テーマ	日本語教育講演会 (2023年2月)
講師	細川英雄氏 (早稲田大学名誉教授)
日時・場所	2023年2月3日 (金) 13:30ー15:00 開催方法:ビデオ会議システム
参加者数	15名
アカデミックジャパニーズでも課題となる、自分のテーマを見つけることについて、『自分のことばをつくる』を出版された細川名誉教授を招聘し講演会を実施した。言語教育の変遷や CEFR ヨーロッパ言語共通参照枠の理念を踏まえ、どのような言語教室を設計するかについて実践研究を推進する必要性が説明された。今回の研修会では言語教育全体の変遷を踏まえた上で、教師個々人の実践研究の展開が「自分のことばをつくる」上では必要であることが示され、日頃の教育実践を振り返る貴重な機会となった。研究と実践の両面を推進するという方向性は、本学の教育理念にも合致するものであり、参加者それぞれの課題であることが確認された。	

■LEAP プログラム[FD]

英語特別教育科目 LEAP プログラムでは、2022 年度は Weekly Meeting の中でテーマを設定し、課題の共有やグッドプラクティスの共有等を行い、チームティーチングの質保証及び質向上に努めるワークショップ等を行った。設定テーマは下記を含む形で実施された。

- ① 各教員の英語教育に係る研究活動と成果の共有
- ② IELTS スピーキングセクションのルーブリックと採点項目について
- ③ Google Classroom の活用方法(応用編)について

■その他[FD/SD]

テーマ	「BEVIに関するFD／SDセミナー」
講師	Craig Shealy氏 (Western Washington 大学教授) 西谷元氏 (広島大学教授)
日時・場所	2022年9月13日 (火) 10:00-12:00 白山キャンパスA101教室 (オンライン同時配信)
参加者数	21名
2020 年度より本学でも導入が始まっている BEVI(The Beliefs, Events, and Value Inventory)について、開発者である Craig Shealy 教授 (Western Washington 大学教授、BEVI 開発者)の来日に合わせて、同教授と日本国内で BEVI を主導されている広島大学の西谷教授を本学に招聘し、教職員に対して BEVI に関する FD・SD セミナーを実施した。現在、BEVI は国際教育センターの教員のみが管理者としてシステムにアクセスしている状況となっているが、管理者の下に学部学科や研究科等のサブグループを作ること、プログラムの成果を測るツールとして学部学科・研究科内の自由裁量により BEVI 受検やデータ分析が可能となる。大学単位で契約しているため、国際教育センターだけではなく学部学科・研究科もアクセスできる。BEVI のデータを学部横断的に分析する仕組みがあってもよいのではないかという意見等があった。	

テーマ	「チャレンジワーク国際部全体ミーティング」[SD]
講師	なし
日時・場所	2023年3月9日 10:00-12:00 開催方法:ビデオ会議システム
参加者数	29名 (国際部長及び国際課職員)
TGD 構想の推進及び大学の国際化にかかる国際部・国際課の業務課題に基づく設定目標に対して取り組むチャレンジワークについて、今年度は課員各自が取り組んだ内容・成果・課題を課員全員に報告・共有した。このことにより、業務課題に基づく目標の進捗状況や担当業務外も含む国際課としての取り組みを横断的に把握するとともに、SGU 支援事業の大学の国際化に関する方針を理解し、今後の業務改善や各自の意識改革に繋げることを目的としている。 国際部の取組課題に基づき、国際課のチャレンジワークとして設定された総計 20 の目標について、目標毎に主担当が取り組み内容とその成果および今後の課題について報告した。各項目の報告後に国際部次長から達成度の妥当性に関する質問があった。その後、全体として国際部長から取り組み内容の評価や次年度以降の課題への取り組み方について提言があり、最後に国際教育センター長から大学の国際化の今後の方針について説明があった。	

学術交流協定校協定締結一覧

[2023年3月31日現在][国別締結日順]

NO	国・地域	協定等相手先名	種別	協定締結日	学術交流 (包括)	学生 交流	備考
1	アイルランド	ダブリンシティ大学	大学間	1990年9月10日	○	○	
2		リムリック大学	大学間	2011年3月3日	○	○	
3	アメリカ	モンタナ大学	大学間	1987年3月12日	○	○	
4		オレゴン州立大学	大学間	1992年4月27日	○	○	
5		ミズーリ大学セントルイス校	大学間	1995年5月17日	○	○	
6		日本政策投資銀行	機関	2005年2月28日	○	-	
7		ISEP(アイセップ)	コンソーシアム	2005年3月8日	-	○	ISEP・Direct との合意書(2008年1月29日)、ISEP・International-to-International との合意書(2013年10月28日)あり。
8		NCPPP(米国 PPP 協会)	機関	2007年9月27日	○	-	
9		ウィノナ州立大学	大学間	2009年5月5日	○	○	
10		メリヴィル大学	大学間	2010年1月11日	○	○	
11		テネシー大学ノックスビル校	大学間	2010年11月10日	○	○	
12		リンゼイウィルソン大学	大学間	2010年11月19日	○	○	
13		カリフォルニア州立大学モントレーベイ校	大学間	2011年3月16日	○	○	
14		ポートランド州立大学	大学間	2012年11月26日	○	-	
15		ルイスクラーク州立大学	大学間	2013年6月26日	○	○	
16		パデュー大学ノースウェスト校	大学間	2015年1月23日	○	-	
17		プレスビテリアン・カレッジ	大学間	2015年4月6日	○	○	
18		チャタム大学	大学間	2016年12月13日	-	○	
19		ジョンソン・アンド・ウェールズ大学	大学間	2017年5月31日	-	○	
20		カレッジ・オブ・ザ・デザート	大学間	2017年8月7日	○	※	
21		ネブラスカ大学カーニー校	大学間	2017年9月11日	○	○	
22		ノースアラバマ大学	大学間	2017年9月22日	○	○	
23		ヒューストン大学	大学間	2017年9月28日	○	-	
24		ウェストテキサス A&M 大学	大学間	2017年11月21日	-	○	
25		カリフォルニア州立大学バイカーズフィールド校	大学間	2017年11月29日	○	○	
26		カリフォルニア州立大学ドミングスヒルズ校	大学間	2018年1月5日	○	○	
27		フォックス・バレー・テクニカル・カレッジ	大学間	2018年3月15日	○	○	
28		ウェスタンミシガン大学	大学間	2018年3月26日	-	※	※授業料学生負担の学生派遣
29		オーガスタナカレッジ	大学間	2018年5月30日	○	○	
30		コロラド大学コロラドスプリングス校	大学間	2018年6月24日	○	○	
31		ハートウィックカレッジ	大学間	2018年7月23日	○	○	
32		ハワイ大学カピオラニ・コミュニティ・カレッジ	大学間	2018年7月25日	○	※	※授業料学生負担の学生派遣
33		ニューヨーク州立大学ブロッポート校	大学間	2018年8月24日	-	○	
34		カリフォルニア州立大学スタニスラウス校	大学間	2018年9月4日	○	○	
35		ペース大学	大学間	2018年9月13日	○		
36		ワシントンセンター	機関	2018年10月15日	○	-	
37		IESアブロード	コンソーシアム	2018年11月8日	○	-	
38		ハワイバシフィック大学	大学間	2019年1月8日	○	○	
39		ボストン大学	大学間	2019年2月4日	○	※	※授業料学生負担の学生派遣
40		フラットヘッドバレーコミュニティカレッジ	大学間	2019年2月15日	○	○	
41		カリフォルニア大学サンタバーバラ校	大学間	2019年4月11日	○	-	
42		CISアブロード	コンソーシアム	2019年6月11日	○	-	
43		サンフランシスコ州立大学	大学間	2019年7月3日	○	-	
44		カリフォルニア大学サンディエゴ校エクステンション	大学間	2019年8月7日	○	-	

NO	国・地域	協定等相手先名	種別	協定締結日	学術交流 (包括)	学生 交流	備考
45	アメリカ	ノースウェストミズーリ州立大学	大学間	2020年3月3日	○	○	
46		シカゴ州立大学	大学間	2020年11月12日	○	-	
47		カリフォルニア州立大学チャンネルアイランド校	大学間	2020年12月18日	-	○	
48		カレッジオブニュージャージー	大学間	2021年2月8日	○	○	
49		ネバダ大学ラスベガス校	大学間	2021年7月24日	○	-	
50		ナレッジエクスチェンジ・インスティテュート (KEI)	大学間	2021年12月8日	○	-	
51		ウェスタン・ケンタッキー大学	大学間	2022年2月9日	○	○	
52		クイーンズ大学シャーロット校	大学間	2023年2月9日	○	○	
53		ケント州立大学	大学間	2023年3月30日	○	○	
54	イギリス	カーディフ大学	大学間	2010年11月1日	○	○	
55		ヨークセントジョン大学	大学間	2012年4月19日	○	○	
56		セントラル・ランカシャー大学	大学間	2013年7月16日	○	○	
57		コベントリー大学	大学間	2017年11月20日	○	-	
58		ノーサンブリア大学	大学間	2019年4月2日	○	○	
59		リバプール大学	大学間	2019年4月11日	○	-	
60		エジンバラ大学	大学間	2020年2月14日	-	※	※授業料学生負担の学生派遣
61		リージェンツ大学ロンドン	大学間	2021年2月2日	○	○	
62	イタリア	ロムアルド・デル・ピアンコ財団	機関	2014年11月27日	○	-	
63		フイレントヴェ大学	大学間	2016年5月2日	○	○	
64		トリノ大学	大学間	2016年11月30日	○	○	
65		ボローニャ大学	大学間	2018年3月12日	○	○	
66		カメリーノ大学	大学間	2018年4月24日	○	-	
67		ローマ・ラ・サピエンツァ大学	大学間	2018年5月11日	○	-	
68		ベネツィア大学	大学間	2018年6月4日	○	○	
69		サレント大学	大学間	2019年12月20日	○	○	
70	インド	インド工科大学マドラス校	大学間	2011年12月22日	○	-	
71		マンガラン教育協会,(マンガラン工科大学)	大学間	2012年5月21日	○	-	
72		ケララ大学	大学間	2012年6月8日	○	-	
73		インド工科大学デリー校	大学間	2012年8月31日	○	-	
74		スリー・チトラ・トゥリニアル医療科学技術研究所	大学間	2015年9月14日	○	-	
75		ジャワハルラール・ネルー大学	大学間	2017年5月8日	○	-	
76		パナーラスヒンドゥー大学	大学間	2022年10月31日	○	-	
77	インドネシア	スラバヤ工科大学	大学間	1994年1月1日	○	-	
78		マラナタ基督教大学	大学間	2016年6月16日	○	-	
79		ガジャマダ大学	大学間	2016年8月24日	○	○	
80		国立デンパサール・ヒンドゥー大学	大学間	2016年11月10日	○	-	
81		ダルマプルサダ大学	大学間	2022年10月7日	○	○	
82	ウクライナ	タラス・シェフチェンコ記念キーウ国立大学	大学間	2022年4月13日	○	○	
83		ボリス・グリンチェンコ記念キーウ市立大学	大学間	2022 4月12日	○	○	
84		国立航空大学	大学間	2022年4月12日	○	○	
85	ウズベキスタン	タシケント国立東洋学大学	大学間	2010年11月22日	○	-	
86		ウズベキスタン国立世界言語大学	大学間	2019年11月20日	○	○	
87		シルクロード国際観光大学	大学間	2022年9月26日	○	-	
88	オーストラリア	シーキュー大学	大学間	1997年9月8日	○	○	旧セントラルクイーンズ大学
89		サンシャインコースト大学	大学間	2008年3月13日	○	○	
90		インターナショナル・カレッジ・オブ・マネージメント・シドニー	大学間	2015年10月14日	○	○	
91		サザンクロス大学	大学間	2016年4月25日	-	※	※授業料学生負担の学生派遣
92		ディキン大学	大学間	2016年4月25日	※	-	※授業料学生負担の学生派遣
93		ニューカッスル大学	大学間	2017年12月22日	○	※	※授業料学生負担の学生派遣
94		カーティン大学	大学間	2018年8月20日	-	○	
95		ウーロンゴン大学	大学間	2022年5月13日	○	○	

NO	国・地域	協定相手先名	種別	協定締結日	学術交流 (包括)	学生 交流	備考
96	オーストリア	アッパーオーストリア応用科学大学	大学間	2019年3月19日	○	○	
97		FHWien der WKW経営・コミュニケーション応用科学大学	大学間	2019年4月22日	-	○	
98		ザルツブルク大学	大学間	2019年8月1日	○	○	
99	オランダ	ロッテルダム応用科学大学インターナショナルビジネススクール	大学間	2012年5月14日	○	○	
100		アムステルダム応用科学大学	大学間	2014年11月22日	○	○	
101		フオンティス応用科学大学	大学間	2016年3月31日	○	○	交流対象学部追加に伴い、既存協定校であるフオンティスアカデミーからフオンティス応用科学大学へと締結主体を変更
102		ティオ応用科学大学	大学間	2017年11月27日	○	○	
103		HZ応用科学大学	大学間	2019年7月25日	○	○	
104		サクシオン応用科学大学	大学間	2020年12月4日	○	○	
105	カナダ	トンプソンリバーズ大学	大学間	2007年6月15日	-	○	
106		マニトバ大学	大学間	2011年3月31日	○	-	
107		クワントレンポリテクニク大学	大学間	2012年2月16日	○	○	
108		サスカチュワン大学	大学間	2013年2月13日	○	-	
109		UMAP (アジア太平洋大学交流機構)	コンソーシアム	2014年3月3日	-	○	国際事務局の所在国(2020～2024年)
110		エドモントン・コンコルディア大学	大学間	2015年1月23日	○	○	
111		レイクヘッド大学	大学間	2016年6月7日	○	○	
112		バンクーバーアイランド大学	大学間	2017年2月28日	○	-	
113		ウィニベグ大学	大学間	2017年6月16日	○	-	
114		レスブリッジ大学	大学間	2017年6月16日	○	-	
115		ブロック大学	大学間	2017年8月23日	○	○	
116		ダグラスカレッジ	大学間	2018年3月22日	○	○	
117		ジョージブラウンカレッジ	大学間	2019年3月25日	-	※	※授業料学生負担の学生派遣
118		セント・メアリーズ大学	大学間	2019年3月25日	-	※	※授業料学生負担の学生派遣
119		オカナガンカレッジ	大学間	2020年10月20日	○	○	
120	カンボジア	王立ブノンベン大学	大学間	2015年1月26日	○	-	
121	ケニア	ジョモ・ケニヤッタ農工大学	大学間	2016年11月11日	○	-	
122	スイス	ルツェルン大学	大学間	2012年1月24日	○	○	
123		国連欧州経済委員会 PPP 推進局(UNECE PPP)	機関	2011年7月4日	○	-	
124	スウェーデン	リンネ大学	大学間	2016年9月27日	○	-	
125	スペイン	デウスト大学	大学間	2016年8月31日	-	○	
126	スロベニア	リュブリャナ大学	大学間	2013年2月26日	○	-	
127	タイ	アジア工科大学院	大学間	2007年4月5日	○	-	
128		チェンマイ大学	大学間	2012年12月22日	○	○	
129		タマサート大学	大学間	2016年12月16日	○	○	
130		プラナコン・シー・アユタヤ・ラチャパット大学	大学間	2017年3月14日	○	-	
131		チュラロンコン大学	大学間	2018年10月30日	○	○	
132		アサンブション大学	大学間	2020年3月12日	○	-	
133		シーナカリンウィロート大学	大学間	2020年10月20日	○	○	
134	台湾 (台湾省／中国)	天主教輔仁大学	大学間	2000年6月20日	○	○	
135		中国文化大学	大学間	2012年2月8日	○	○	
136		龍華科技大学	大学間	2012年7月18日	○	-	
137		東海大学	大学間	2016年7月12日	○	○	
138		義守大学	大学間	2017年6月12日	○	○	
139		国立中興大学	大学間	2018年2月9日	○	○	
140		実践大学	大学間	2018年2月22日	○	○	
141		中原大学	大学間	2018年6月26日	○	○	
142		弘光科技大学	大学間	2019年2月14日	○	-	
143		静宜大学	大学間	2019年2月21日	○	○	
144		佛光大学	大学間	2019年4月3日	○	-	

NO	国・地域	協定等相手先名	種別	協定締結日	学術交流 (包括)	学生 交流	備考
145	韓国	韓国外国語大学	大学間	1995年8月30日	○	○	
146		東国大学	大学間	1995年8月31日	○	○	
147		大邱大学	大学間	2003年6月27日	○	○	
148		平澤市	都市	2007年8月16日	○	-	
149		建国大学	大学間	2008年11月10日	○	○	
150		金剛大学	大学間	2011年2月1日	○	○	
151		韓南大学	大学間	2012年1月11日	○	○	
152		成均館大学	大学間	2012年9月6日	○	○	
153		円光大学	大学間	2012年12月20日	○	○	
154		仁荷大学	大学間	2013年1月10日	○	○	
155		世宗大学	大学間	2018年6月27日	○	○	
156		釜山外国語大学	大学間	2018年10月31日	○	○	
157		漢陽大学	大学間	2018年11月8日	○	○	
158		国民大学	大学間	2019年11月20日	○	○	
159	中国	上海對外貿易大学	大学間	1985年10月19日	○	○	
160		中国人民大学	大学間	1997年9月29日	○	○	
161		大連外国語大学	大学間	2003年8月10日	○	○	
162		大連理工大學	大学間	2006年6月14日	○	-	
163		吉林大学	大学間	2012年3月13日	○	-	
164		中国海洋大学	大学間	2015年6月24日	○	○	
165		上海工程技術大学	大学間	2015年7月16日	○	-	
166		北京語言大学	大学間	2015年9月15日	○	○	
167		上海外国語大学	大学間	2016年5月10日	○	○	
168		北京理工大学	大学間	2016年10月27日	○	○	
169		香港中文大学深圳校	大学間	2018年4月19日	○	○	
170		暨南大学	大学間	2018年5月31日	○	○	
171		鄭州大学西亞斯國際学院	大学間	2018年6月15日	○	○	
172		温州大学	大学間	2019年3月8日	○	-	
173		ノッティンガム大学寧波校	大学間	2019年6月28日	○	○	
174		マカオ科技大学	大学間	2019年7月8日	○	○	
175		香港都会大学	大学間	2019年9月30日	○	○	香港公開大学から名称変更
176		大連海事大学	大学間	2019年11月19日	○	○	
177		西安外国語大学	大学間	2019年12月19日	○	○	
178		華北理工大学	大学間	2019年12月25日	○	○	
179		上海大学	大学間	2020年3月10日	○	○	
180		山東大学	大学間	2020年3月23日	○	○	
181		大連東軟信息学院	大学間	2020年3月30日	○	○	
182		華東師範大学	大学間	2020年11月10日	○	○	
183		太原科技大学	大学間	2020年11月18日	○	○	
184		山西大学	大学間	2020年12月16日	○	○	
185		北京外国語大学	大学間	2021年12月8日	○	-	
186		中国留学サービスセンター(CSCSE)	大学間	2021年12月27日	○	-	
187		渤海大学	大学間	2022年3月28日	○	○	
188	ドイツ	マールブルク大学	大学間	1990年4月19日	○	○	
189		パイロイト大学	大学間	2015年2月11日	○	○	
190		ミュンヘン応用科学大学	大学間	2019年2月8日	-	○	
191		ヨハネス・グーテンベルク大学マインツ	大学間	2023年3月20日	○	○	
192	日本	国連ユースボランティア関連(関西学院大学、大阪大学、国際教養大学、上智大学、筑波大学、明治大学、明治学院大学、立教大学)	コンソーシアム	2016年6月3日	○	-	
193		大学コンソーシアム	コンソーシアム	2016年10月11日	○	-	ダルマプルサダ大学との協力強化のための大学コンソーシアム
194		富山県富山市	都市	2016年10月26日	○	-	国連 CoE 地方政策 PPP センターを核とする都市間連携推進のための協定

NO	国・地域	協定等相手先名	種別	協定締結日	学術交流 (包括)	学生 交流	備考
195	日本	群馬県板倉町	都市	2016年10月26日	○	-	国連 CoE 地方政策 PPP センターを核とする都市間連携推進のための協定
196		一般財団法人国際協力推進協会	機関	2017年6月15日	※	-	
197	ニュージーランド	ユニテック工科大学	大学間	2013年1月17日	○	-	
198	ノルウェー	トロムソ大学	大学間	2017年10月10日	○	○	
199	パラグアイ	アスンシオン国立大学	大学間	2022年5月12	○	-	
200	ハンガリー	ハンガリー科学アカデミー原子核研究所	機関	2012年5月7日	○	-	
201		ブダペストメトロポリタン大学	大学間	2019年2月4日	○	○	
202	バングラデシュ	シャージャラル科技大学	大学間	2015年5月28日	○	-	
203	フィリピン	カラガ州立大	大学間	2011年11月14日	○	-	フィリピンの3大学、ブトゥアン市、東洋大学との間の5者間協定。
204		サンホセリコルトス大学	大学間	2011年11月14日	○	-	
205		セントジョセフ工科大学	大学間	2011年11月14日	○	-	フィリピンの3大学、ブトゥアン市、東洋大学との間の5者間協定。
206		ファーザー・サトゥルニノ・ユリオス大学	大学間	2011年11月14日	○	-	フィリピンの3大学、ブトゥアン市、東洋大学との間の5者間協定。
207		ブトゥアン市	都市	2011年11月14日	○	-	フィリピンの3大学、ブトゥアン市、東洋大学との間の5者間協定。
208		フィリピン大学ディリマン校	大学間	2012年6月21日	○	-	
209		フィリピン大学セブ校	大学間	2013年11月14日	○	-	
210		セブ州	都市	2016年10月22日	○	-	
211		ブトゥアン市	都市	2016年10月26日	○	-	国連 CoE 地方政策 PPP センターを核とする都市間連携推進のための協定
212		デ・ラ・サール大学ダスマリニャス校	大学間	2017年11月23日	○	-	
213		マプア大学	大学間	2019年1月22日	○	-	
214		セブ技術大学	大学間	2019年11月20日	○	-	
215		フィリピン大学オープンユニバシティ	大学間	2022年10月18日	○	-	
216		アテネオ・デ・マニラ大学	大学間	2022年11月4日	○	-	
217	フィンランド	ハーガ＝ヘリア応用科学大学	大学間	2016年8月15日	○	-	
218		メロボリア応用科学大学	大学間	2018年3月27日	○	-	
219		ヤムク応用科学大学	大学間	2018年10月17日	○	○	
220	ブラジル	カンピーナス大学	大学間	2017年10月27日	○	○	
221		サンパウロ大学	大学間	2018年3月13日	○	○	
222	フランス	ストラスブール大学	大学間	1985年12月9日	○	○	各協定を2016年度に一本化させていたが、実際には個別の大学であるため、2020年度より3大学に分割してカウントをしている
223		ストラスブール大学政治経済学研究所(IEP)	大学間	2012年5月24日	○	○	
224		ストラスブール大学経営大学院(EMS)	大学間	2012年7月17日	○	○	
225		ナント大学	大学間	2012年12月7日	-	※	※対象は BNC と学際融合
226		ソルボンヌ大学	大学間	2013年3月19日	○	※	前パリ第6大学。パリ第6大学とパリソルボンヌ第4大学が合併し、ソルボンヌ大学と名称変更 ※対象は BNC と学際融合
227	フランス	IAU(国際大学協会)	コンソーシアム	2014年11月21日	○	-	
228		リール大学	大学間	2015年11月27日	○	○	シャルル・ド・ゴール大学(リール第3大学)から名称変更
229		パリ・シテ大学	大学間	2017年2月20日	○	○	パリ・デイドロ大学(パリ第7大学)から名称変更
230		レンヌ第一大学	大学間	2019年9月30日	○	○	
231		フランシュ・コンテ大学	大学間	2020年6月16日	○	○	
232		パリ・カトリック学院	大学間	2021年4月22日	○	○	
233		パリ第八大学	大学間	2021年12月8日	○	○	
234	ブルガリア	聖クリメント・オブリツキ・ソフィア大学	大学間	2015年3月17日	○	○	
235		ソフィア工科大学	大学間	2019年2月1日	○	-	
236	ベトナム	ベトナム国家大学ホーチミン校	大学間	2002年4月2日	○	-	
237		FPT 大学	大学間	2016年9月12日	-	○	
238		日越大学	大学間	2018年2月16日	○	○	
239		ベトナム銀行学院	大学間	2020年12月22日	○	○	
240		フエ大学	大学間	2022年11月22日	○	-	
241	ベルギー	トマスモア応用科学大学	大学間	2018年12月10日	○	○	

NO	国・地域	協定等相手先名	種別	協定締結日	学術交流 (包括)	学生 交流	備考
242	ベルギー	VIVES応用科学大学	大学間	2019年5月5日	○	○	
243		リエージュ大学	大学間	2019年7月9日	○	○	
244	マレーシア	マラヤ大学	大学間	2012年4月28日	○	-	
245		テイラーズ大学	大学間	2015年11月19日	○	○	
246		マレーシア工科大学	大学間	2016年12月16日	○	-	
247		ヘルプ大学	大学間	2017年7月28日	○	-	
248		サンウェイ大学	大学間	2017年10月6日	○	-	
249		マレーシア国民大学	大学間	2019年4月15日	○	○	
250		ノッティンガム大学マレーシア校	大学間	2020年3月2日	-	○	
251	メキシコ	モンテレイ大学	大学間	2018年7月19日	○	○	
252		メキシコ国立自治大学ENESレオン校	大学間	2022年8月22日	○	-	
253	リトアニア	ヴィルニウス大学	大学間	2020年2月12日	○	○	
254	ルーマニア	ティミショアラ工科大学	大学間	2012年6月22日	○	-	
255		ブカレスト経済大学	大学間	2018年4月20日	○	○	
256		ブカレスト大学	大学間	2019年4月22日	○	-	

※網掛けは 2022 年度新規協定締結校 (15)

学部・研究所等協定締結一覧

〔2023年3月31日現在〕〔学部別国別締結日順〕

NO	主体	国・地域	協定等相手先名	協定	協定の主な目的	締結日
1	文学部	アメリカ	ハワイ大学ヒロ校	訪問学生のための協定覚書 ハワイ大学Hilo校および東洋大学の利益におけるハワイ大学間の訪問学生に関する協定覚書	学生派遣	2020年4月9日
2		インドネシア	国立デンパサール・ヒンドゥー大学	国立デンパサール・ヒンドゥー大学神学部と東洋大学文学部との学術交流に関する協定	共同研究等の学術交流	2016年11月21日
3		中国	復旦大学	中国復旦大学外国語・文学部中国語・文学学科、史学科、哲学専攻と日本国東洋大学文学部との相互学生交換	学生交換等の学術交流	2016年4月28日
4	文学部・文学研究科	スイス	チューリッヒ大学	チューリッヒ大学と東洋大学との交換協定書	学生交換等の学術交流	2018年10月16日
5	経済学部	イギリス	ウォーリック大学英語教育センター	東洋大学経済学部とウォーリック大学英語教育センター間における短期プログラムに関する協定書	教育	2002年8月19日
6		中国	対外経済貿易大学国際学院	「中国研修プログラム」に関する協定書	教育(短期研修)	2012年3月19日
7	経営学部	イギリス	オックスフォード大学ハートフォードカレッジ	ハートフォード・カレッジ・プログラム(英国イングランド、オックスフォード、キャット・ストリート、ハートフォード・カレッジ)と東洋大学(日本)との間の海外留学プログラムに関する協定	学生交流	2018年8月22日
8	経営学部・経営学研究科	タイ	泰日工業大学	泰日工業大学経営学部と東洋大学経営学部および東洋大学大学院経営学研究科との学術協力交流に関する覚書	学術交流、学生交流	2016年10月7日
9	法学部	イギリス	ロンドン大学ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン校心理学・言語科学学部	東洋大学法学部とユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン心理言語科学部との間における東洋大学法学部短期海外留学プログラム実施に関する協定書	短期語学研修	2013年5月8日
10		中国	廈門大学法学院	中国廈門大学法学院と法学部との交流協定	学術交流活性化(中国法・日本法教育)	2008年12月13日
11			西北政法大學 経済法学院	日本国東洋大学法学部と中国西北政法大學経済法学院の教育研究交流協定	研究交流	2018年6月1日
12			遼寧大学法学院	東洋大学法学部(日本)と遼寧大学法学院(中国)の教育研究交流協定	研究交流	2018年9月7日
13		ドイツ	異文化コミュニケーション協会	東洋大学法学部短期海外留学プログラム実施のためにルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘンと異文化コミュニケーション協会が合同で開講するドイツ語セミナーに関する協定書	短期語学研修	2014年3月27日
14		ノルウェー	トロムソ大学	トロムソ大学人間社会科学学部と東洋大学法学部の学術協力に関する協定	教育・学術交流および国際協力進展(包括的学術交流)	2014年5月8日
15		アメリカ	ノースウエスト大学	東洋大学国際地域学部とノースウエスト大学との学生交流協定	学生交換・学生派遣	2016年12月14日
16	国際地域学部	インドネシア	パラヤンガン・カトリック大学工学部	東洋大学国際地域学部とパラヤンガン・カトリック大学工学部間における学術交流協定書	教育・学術交流	2003年8月28日
17		オーストリア	ザルツブルグ応用科学大学	東洋大学国際地域学部とザルツブルグ応用科学大学との学生交換協定	学生交換	2016年12月5日
18			オーバーエスターライヒ州(アッパー・オーストリア)応用科学大学	オーストリア・オーバーエスターライヒ州応用科学大学と東洋大学との学部間協定	学生交換	2017年4月6日
19		韓国	慶熙大学校	日本国東洋大学国際地域学部と韓国慶熙大学校ホテル観光大学との間における交流に関する協定書	教育・学術交流	2003年3月18日
20		スウェーデン	リンネ大学社会科学部	東洋大学国際学部(日本)およびリンネ大学社会科学部(スウェーデン)の学術協力交流協定	学生交換・学術交流	2016年9月26日
21		中国	南開大学国際商学院	南開大学国際商学院と東洋大学国際地域学部との交流に関する覚書	教育・学術交流	2002年10月6日
22		フィンランド	ハーガ＝ヘリア応用科学大学	ハーガ＝ヘリア応用科学大学と東洋大学国際地域学部の学生交換に関する協定	学生交換	2016年8月15日
23		ベトナム	ベトナム都市農村計画研究所・農村開発計画研究所	ベトナム都市農村計画研究所・農村開発計画研究所と東洋大学国際地域学部の包括的学術協定	教育・学術交流	2015年11月27日
24			国立ハノイ建設大学	東洋大学国際地域学部と国立ハノイ建設大学建築学部との協定締結に関する覚書	包括協定	2017年2月15日
25			ハノイ建築大学	東洋大学国際地域学部とハノイ建築大学との協定締結に関する覚書	包括協定	2017年2月23日
26		リトアニア	ヴィータウタス・マグヌス大学	東洋大学とヴィータウタス・マグヌス大学との協定締結に関する覚書	包括協定・学生交換	2017年3月14日
27	国際学部	アメリカ	ワシントン大学コンティナム・カレッジ	東洋大学国際学部およびワシントン大学コンティナム・カレッジ協定	包括協定	2017年9月12日
28			ミネソタ州立大学マンケート校	ミネソタ州立大学と東洋大学 学生および教員交換プログラム協定	包括協定、学生交換、学生派遣	2018年2月19日
29			ノースウエスト大学	了解覚書	学生派遣	2023年3月15日

NO	主体	国・地域	協定等相手先名	協定	協定の主な目的	締結日
30	国際学部	イギリス	ケント大学	日本国東洋大学国際学部と英国ケント大学との間の学生交換および短期留学プログラムに関する協定書	学生交換・派遣	2017年11月1日
31			コベントリー大学	コベントリー大学と東洋大学の間の学生交換に関する協定書	学生交換	2018年7月16日
32			ウィンチェスター大学	ウィンチェスター大学協定書	包括協定	2018年8月20日
33		インドネシア	スブラスマレット大学	スブラスマレット大学(インドネシア)と東洋大学(日本)の間の覚書	包括協定	2018年5月25日
34				スブラスマレット大学農学部と東洋大学国際学部における覚書要旨	包括・学生交換	2019年1月19日
35		オーストラリア	クイーンズランド大学	Study Abroad Agreement	学生派遣	2018年4月24日
36			モナシュ大学	モナシュ大学(オーストラリア)と東洋大学国際学部の留学生受入れ協定	学生受入	2019年3月1日
37		カナダ	ビクトリア大学	東洋大学国際学部とビクトリア大学との学生派遣に関する協定	学生派遣	2017年10月4日
38			セントローレンスカレッジ	セントローレンスカレッジおよび東洋大学国際学部の間の了解覚書	包括協定	2018年8月14日
39			センテニアルカレッジ	東洋大学国際学部とセンテニアルカレッジとの学生交換協定	学生交換	2016年11月28日
40				センテニアル・カレッジと東洋大学国際学部の学術的パートナーシップ覚書	包括協定	
41		スリランカ	スリランカ・セナワタ都市リソースセンター	スリランカ・セナワタ都市リソースセンターと東洋大学国際学部との MOU	包括協定	2017年6月2日
42		ニュージーランド	オタゴ大学	オタゴ大学(ニュージーランド)と東洋大学(日本)の留学協定	学生交換	2019年2月13日
43		フィンランド	ラハティ国民高等学校	ラハティ国民高等学校と東洋大学との包括的学術交流協定	包括協定	2017年8月18日
44			メトロポリア応用科学大学	メトロポリア応用科学大学と東洋大学との包括的学術交流協定	包括協定	2018年4月25日
45		フランス	シアンスポ・トゥールーズ大学	シアンスポ・トゥールーズ大学と東洋大学国際学部間の学生交換に関する合意書	学生交換	2017年5月22日
46			セルジー＝ポントワーズ大学サンジェルマン・アン・レイ政治学院	セルジー＝ポントワーズ大学サンジェルマン・アン・レイ政治学院と東洋大学国際学部との協定書	包括協定、学生交換	2017年9月8日
47			リール・カトリック大学	東洋大学(日本国 東京)とリール・カトリック大学(フランス リール)の間の協定書	包括協定、学生交換	2017年9月15日
48			ストラスブール大学	グローバル・イノベーション学科の学生受入れのための追加協定	学生受入	2018年4月23日
49		ブルガリア	プロブディフ大学史学・哲学部	プロブディフ大学歴史哲学部と東洋大学国際学部間の交流協定要旨	包括協定	2018年8月2日
50		ポーランド	ヴロツワフ経済大学	ヴロツワフ経済大学との交換協定	学生交換	2018年4月1日
51			クラフク経済大学	枠組協力協定 東洋大学とクラフク経済大学の間で締結される・ワーキングプログラム第1号(付随文書)	学生交流	2019年4月18日
52				ワーキングプログラム第1号 2019年に署名された東洋大学国際学部とクラフク経済大学の枠組み協力協定書の付随文書	学生交換	2019年5月10日
53		マレーシア	マラ工科大学	相互理解の促進、学術・文化・科学的思想および人的交流に関するマラ工科大学と東洋大学国際学部国際学科との間の覚書	研究交流	2019年11月6日
54	国際学部・国際学部研究所	ノルウェー	オスロ首都大学	オスロ首都大学 社会科学ビジネススクールおよび社会福祉・児童福祉・社会政策学科と東洋大学 国際学部および国際学研究科の間の覚書	包括協定	2019年1月7日
55	国際観光学部	台湾	文藻外語大学	文藻外語大学と東洋大学との間における包括的学術交流協定	学生交換	2017年9月20日
56		香港	香港理工大学	香港理工大学と東洋大学の学生交換協定	学生交換	2017年12月14日
57	ライフデザイン学部	インドネシア	国立デンパサール・ヒンドゥー大学	国立デンパサール・ヒンドゥー大学神学部と東洋大学ライフデザイン学部との学術交流に関する協定	学術交流	2018年12月6日
58		韓国	社団法人韓日福祉経営協議会	東洋大学ライフデザイン学部と社団法人韓日福祉経営協議会の連携に関する協定	福祉における人的・知的資源等の交流・活用を図ること	2006年1月24日
59			カトリック上智大学	東洋大学とカトリック上智大学との交流協定書	研究交流	2020年11月6日
60		中国	北方工業大学建築芸術学院	東洋大学ライフデザイン学部と北方工業大学建築芸術学院の連携に関する協定	相互に連携して、双方の学問領域における人的・知的資源等の交流・活用を図ること	2013年6月6日
61	ライフデザイン学部 人間環境デザイン学科	イタリア	ローマ・ラ・サピエンツァ大学	ローマ・ラ・サピエンツァ大学と東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科との包括学術協定および学生交換に関する協定	包括・学生交換	2018年12月1日
62		オランダ	HAN応用科学大学	東洋大学とHAN応用科学大学(オランダ)建築環境学部間の覚書	包括・学生交換	2021年4月1日
63	総合情報学部	中国	山西医科大学第1病院精神科部局	総合情報学部と山西医科大学第1病院精神科部局との包括的学術交流	包括・学生交換	2021年9月17日

NO	主体	国・地域	協定等相手先名	協定	協定の主な目的	締結日
64	総合情報学部/ 総合情報学研究科	アメリカ合衆国	マハリシ国際大学	東洋大学総合情報学部、大学院総合情報学研究科とマハリシ国際大学 生理・健康／学部、大学院統合医療研究科、コンピュータサイエンス研究科 との学術協力・交流に関する合意書	研究交流	2022年10月21日
65		インド	マハリシマヘシュヨギヴェーディック大学	東洋大学 総合情報学部、大学院総合情報学研究科とマハリシマヘシュヨギヴェーディック大学 コンピュータサイエンス学部、ヨガ学部、大学院ヴェーダ研究科、人間の意識とヨガ科学研究科との学術協力・交流に関する合意書	研究交流	2022年9月6日
66		インド	スワミ・ヴィヴェーク・カナンダ・ヨーガ・アササンダーナ・サムスターナ (S-VYASA) 大学	東洋大学総合情報学部および大学院総合情報学研究科とスワミ・ヴィヴェーク・カナンダ・ヨーガ・アササンダーナ・サムスターナ (S-VYASA) 大学ヨーガ&ライフサイエンス部門・ヨーガ&人文科学部門(学士課程・修士課程)との学術協力・交流に関する合意書	研究交流	2022年8月8日
67	情報連携学部	ウズベキスタン	トリノ工科大学タシケント校	東洋大学情報連携学部および情報連携学研究科とトリノ工科大学タシケント校との間の学術協力および交流に関する協定	学術交流	2018年4月9日
68	文学研究科 インド哲学 仏教学専攻	韓国・中国	金剛大学校大学院社会福祉仏教学科 中国人民大学宗教学高等研究院	大学院生交流ならびに学術会議の共同開催に関する覚書	教育・学術交流	2012年6月22日
69	文学研究科 哲学専攻	オーストリア	ウィーン大学哲学・教育学部哲学科	学術協力交流協定	教育・学術交流	2015年5月21日
70	経営学研究科	タイ	アサンブション大学 経営大学院	タイ王国アサンブション大学と東洋大学との学生交換に関する覚書	学生交換	2020年3月12日
71	国際地域学研究科国際観光学専攻・国際観光学部	中国	暨南大学	暨南大学と東洋大学との学生交換に関する協定	学生交換	2018年2月28日
72	国際学研究科	オーストラリア	カーティン大学人文研究科	カーティン大学および東洋大学間の学生交流基本協定(大学間の編入学や単位認定に関する要件を定めた協定)	国際学研究科	2022年3月30日
73	生命科学 研究科	イタリア	ローマ・ラ・サピエンツァ大学	ローマ・ラ・サピエンツァ大学(伊)土木・産業工学部および東京・東洋大学(日)生命科学研究科間における学生交換合意書	学生交換	2018年12月19日
74		スリランカ	スリランカ国立基礎研究所	基本的合意書	学術交流	2019年4月1日
75		チリ	メリモユ生態系研究所メリ基礎研究センター	メリモユの生態環境科学調査機関と東洋大学生命科学研究科における共同協定	包括・学生交換	2017年4月1日
76	福祉社会デザイン研究科	韓国	社団法人未来福祉文化研究会	東洋大学福祉社会デザイン研究科と社団法人未来福祉文化研究会の連携に関する協定	教育・学術交流	2008年9月29日
77	社会福祉学研究科/福祉社会開発研究センター	台湾	朝陽科技大学	東洋大学と朝陽科技大学との学術協力・交流に関する合意書	研究交流	2020年3月26日
78	ライフデザイン学研究科	イタリア	ミラノ工科大学	ミラノ工科大学と東洋大学における学生交流に関する覚書	学生交流	2018年10月1日
79	ライフデザイン学研究科人間環境デザイン専攻・ライフデザイン学部人間環境デザイン学科・福祉社会デザイン学部人間環境デザイン学科	スウェーデン	スウェーデン王立工科大学	メカトロニクスおよびプロダクトデザイン共同研究・教育交流に関する覚書	研究交流	2019年3月18日
80	理工学研究科	タイ	チェンマイ大学理学部	東洋大学大学院理工学研究科とチェンマイ大学理学部との学術協力・交流に関する合意書	学術交流	2022年1月1日
81		ベトナム	外国貿易大学VJCC インスティテュート	学術交流および協力に関する協定	学術交流	2019年9月16日
82	アジア文化 研究所	中国	遼寧大学日本研究所	日本国東洋大学アジア文化研究所と中国遼寧大学日本研究所との研究協力に関する協定	共同研究の実施	2017年11月18日
83		トルコ	アンカラ大学アジア太平洋協働研究センター	日本国東洋大学アジア文化研究所とトルコアンカラ大学アジア太平洋協働センターとの研究協力に関する協定書	研究協力	2019年1月10日
84	PPP研究 センター	アメリカ	フロリダ・アトランティック大学 Center for Urban Redevelopment and Education	協定書	研究協力	2009年3月30日
85			ジョージア工科大学 Center for Advanced Communications Policy	協定書	研究協力	2009年3月30日
86		アメリカ スイス	国連欧州経済委員会 PPP 推進局 (UNECE PPP)	覚書	PPP 推進のための協力体制構築および国連PPP 推進活動として認定	2011年7月4日

NO	主体	国・地域	協定等相手先名	協定	協定の主な目的	締結日
87	PPP研究センター	フィリピン	フィリピン大学フィリピン経済開発センター (PCED)	東洋大学 PPP 研究センターとフィリピン経済開発センターの技術提携・交流に関する協定 (AGREEMENT ON TECHNICAL OPERATION AND EXCHANGE)	研究協力	2011年11月15日
88	国際共生社会研究センター	インドネシア	インドネシア・シア・クアラ大学津波災害研究センター	東洋大学国際共生社会研究センターとインドネシア・シア・クアラ大学津波災害研究センター間における学術交流協定	研究	2013年1月1日
89		タイ	コミュニティ組織機構	東洋大学国際共生社会研究センターとコミュニティ組織開発機構における都市とコミュニティ開発に関する共同研究協定	研究	2012年12月1日
90		中国	河南科技学院	東洋大学国際共生社会研究センターと河南科技学院間における共同研究協定	研究	2014年4月1日
91			四川大学香港理工大学灾后重建与管理学院	東洋大学国際共生社会研究センターと四川大学香港理工大学灾后重建与管理学院間における共同研究協定	研究	2014年8月1日
92		中国 バングラディッシュ	バングラディッシュ工科大学土木工学部	東洋大学国際共生社会研究センターとバングラディッシュ工科大学間における学術交流協定	研究	2011年8月24日
93	生命環境科学センター	イタリア	ローマ・ラ・サピエンツァ大学	東洋大学およびローマ・ラ・サピエンツァ大学間の科学文化協定基本合意書	学術交流	2018年12月18日
94	バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター／学際・融合科学研究科	アメリカ	ライス大学機械工学・材料科学部	バイオ・ナノイノベーションプログラム連携協定	教育研究連携	2011年11月21日
95		イギリス	オックスフォード大学ニコル・グローバル研究グループ	グローバル・ナノ・イノベーション・プログラムのための共同研究に関する覚書	GCOE のための教育研究連携	2009年3月1日
96		インド	C.M.S. カレッジ	ナノ・イノベーション・プログラムに関する覚書	教育研究連携	2014年4月1日
97			ラマニア工科大学	協定書	教育研究連携	2018年12月6日
98		ハンガリー	ブタペスト工科大学	バイオ・ナノイノベーションプログラム連携協定	教育研究連携	2012年7月1日
99		ロシア	スボルコボ科学技術大学	グローバル・ナノ・イノベーション・プログラムに関する覚書	研究交流	2019年7月5日

※網掛けは 2022 年度新規協定締結校 (3)

学生受入

■2022 年度 受入留学生数

(人)

		正規生				交換留学生		総計
		2022 年 5 月 1 日現在		10 月採用	9 月入学	Ⅰ 期	Ⅱ 期	
		国費	私費	国費	私費			
学部	文学部	0	138	0	0	9	28	175
	経済学部	0	141	0	0	4	26	171
	経営学部	0	104	0	0	3	23	130
	法学部	0	80	0	0	14	15	109
	社会学部	0	202	0	0	5	22	229
	国際地域学部	0	1	0	0	0	0	1
	国際学部	0	184	0	3	17	41	245
	国際観光学部	0	63	0	0	7	20	90
	情報連携学部	0	38	0	0	1	0	39
	ライフデザイン学部	0	14	0	0	1	0	15
	理工学部	0	118	0	0	0	0	118
	総合情報学部	0	83	0	0	0	0	83
	生命科学部	0	55	0	0	0	0	55
	食環境科学部	0	20	0	0	0	0	20
	学部計		0	1,241	0	3	61	175
大学院	文学研究科	0	14	0	0	0	0	14
	社会学研究科	0	23	0	0	0	0	23
	法学研究科	0	6	0	0	0	0	6
	経営学研究科	0	23	0	0	0	0	23
	工学研究科	0	0	0	0	0	0	0
	理工学研究科	0	24	※1	3	0	0	27
	経済学研究科	0	20	0	3	0	0	23
	国際学研究科	4	36	1	18	0	0	59
	国際観光学研究科	3	18	0	0	0	0	21
	国際地域学研究科	0	0	0	0	0	0	0
	生命科学研究科	0	2	0	0	0	0	2
	社会福祉学研究科	0	13	0	0	0	0	13
	ライフデザイン研究科	1	15	0	0	0	0	16
	福祉社会デザイン研究科	0	2	0	0	0	0	2
	学際・融合科学研究科	0	1	0	0	0	0	1
	総合情報学研究科	1	25	※1	1	0	0	27
	食環境科学研究科	0	1	0	0	0	0	1
	情報連携学研究科	0	5	0	0	0	0	5
	大学院計		9	228	3	25	0	0
総計		9	1,469	3	28	61	175	1,743

対象期間:2022 年 4 月～2023 年 3 月

●交換留学生 (I 期):2022 年 4 月 1 日受入 一部局間留学 13 名含む

(文学部 1 名・国際学部 10 名・国際観光学部 2 名)

●交換留学生 (II 期):2022 年 10 月 1 日受入 一部局間留学 20 名含む (文学部 1 名・国際学部 19 名)

・交換留学の対面/実渡航の別については「各種留学・受入プログラム実施状況」参照

※在学生からの国費採用のため、総計にはカウントしない。

$$(\omega)$$
資料編
③

[illegible]

[illegible]

[illegible]

■交換留学生受入者数(部局間協定含む)

(人)

期別	制度	国	所属大学	部局間	受入年度						
					2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
I	協定校	アメリカ	オーガスタナカレッジ					3			
			カリフォルニア州立大学モントレーベイ校					2			
			チャタム大学				1				
			プレスビテリアン・カレッジ								1
		イギリス	カーディフ大学			3	2	2		2	2
			コベントリー大学	★							1
			セントラルランカシャー大学								1
			ヨークセントジョン大学			1					
		イタリア	サレント大学								1
			トリノ大学							2	4
			ベネツィア大学								2
		ウクライナ	タラス・シェフチェンコ記念キーウ国立大学								4
			ボリス・グリンチェンコ記念キーウ市立大学								4
			国立航空大学								4
		オーストラリア	カーティン大学					5			
			セントラルクイーンズランド大学		1	1					
		オランダ	アムステルダム応用科学大学	★※	2		2	3			3
			ティオ応用科学大学					1			
			フォンティスアカデミー			1	1		2		1
			ロッテルダム大学		4	6	8	8			
		カナダ	クワントレンポリテクニク大学			1		1			
			トンプソンリバーズ大学		2		7	1			
		韓国	仁荷大学		1	1	2	2			
			円光大学		2			2			
			韓国外国語大学		1	1	2	2			1
			韓南大学		1		2				
			建国大学				2	2			
			金剛大学		2			1			
			成均館大学							1	
			世宗大学					3			
			大邱大学		2	1	2				1
			東国大学				1				1
		スイス	チューリッヒ大学	★							1
			ルツェルン大学		1		1	1			
		スウェーデン	リンネ大学	★			2				
		台湾	実践大学							1	
			静宜大学								1
			中原大学					2		1	
			中国文化大学								2
			天主教輔仁大学								1
			文藻外語大学	★			2				2
		中国	華北理工大學								2
			大連東軟信息学院								1
			中国海洋大学								1
			中国人民大学		2						
			鄭州大学西亞斯国際学院					2		2	2
			北京語言大学				2	2			2
			北京理工大学				2	4			
		中国(香港)	香港理工大学	★				2			
		ドイツ	マールブルク大学								3
		フィンランド	ハーガ=ヘリア応用科学大学	★			1	1			
			メロボリア応用科学大学	★				3			1

期 別	制 度	国	所属大学	部局間	受入年度						
					2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
I 期	協 定 校	フランス	サンジェルマン・アン・レイ	★						4	2
			ストラスブール大学						3	1	
			トゥールーズ大学	★			1			1	
			リール大学(旧シャルル・ド・ゴール大学・リール第3大学)						1		
			リール・カトリック大学	★			1		2		
			レンス第1大学					2	1		
		ベトナム	FPT大学			1			1		
		ベルギー	トマスモア大学				3				
			リエージュ大学						1		
		メキシコ	モンテレイ大学				2				
	I S E P	ア メ リ カ	アイダホ大学				1				
			アグネス・スコット大学			1					
			イースタカロライナ大学				2				
			インディアナ大学・バデュー大学フォートウェイン			1					
			ウエスタンワシントン大学		1	1					
			クラリオン大学				1				
			ケネソー州立大学	1							
			ケント州立大学		1			1			
			コロラドメサ大学				1				
			サウスフロリダ大学							1	
			サザンインディアナ大学				1				
			サンノゼ州立大学			1	1				
			ジョージアサザン大学						1		
			ネブラスカ大学オマハ校				1				
			ネブラスカ大学リンカーン校			1					
			ネブラスカ・ウェスレヤン大学				1				
			ノーザンアリゾナ大学				1				
			ノースカロライナ大学ウィルミントン校				1				
			ノースジョージア大学				1				
			パトラー大学	1							
		プエルトリコ大学		1							
		ミズーリ州立大学		1	1	1					
		ミドルテネシー州立大学				1					
		モンタナ州立大学				1					
		ロヨラ大学ニューオーリンズ校				1					
		オーストラリア	キャンベラ大学				1				
			チャールズ・スタート大学		1						
		オーストリア	グラーツ工科大学				1				
			グラーツ大学				1				
		韓国	亜洲大学				1				
		スウェーデン	カールスタード大学		1						
		チリ	テクニカフェデリコサンタマリア大学				1				
			バルパライソカトリック大学				1				
		ブラジル	FAAP			1					
		メキシコ	レヒオモンタナ大学		1						
		U M A P	韓国	弘益大学		1					
			タイ	チェンマイ大学			1				
マーファールアン大学						1					
台湾	国立台湾科技大学				1						
	国立高雄第一科技大学			1							
	実践大学				1	2					
	南華大学							1			

期別	制度	国	所属大学	部局間	受入年度						
					2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
I 期	U M A P	メキシコ	コリマ大学				1				
			シウダーフアレス自治大学					1			
			バハカリフォルニア自治大学			1		1			
	CIS	アメリカ	ウィリアム・アンド・メアリー大学								1
小 計 第I期					28	23	54	86	4	21	61
II 期	協 定 校	アイルランド	ダブリンシティ大学		3	3		2			1
			リムリック大学		2						2
		アメリカ	ウィノナ州立大学			2	3				
			ウェストテキサスA&M大学				2				
			カリフォルニア州立大学ドミンゲスヒルズ校					2			7
			カリフォルニア州立大学モントレーベイ校			1	2	2			
			カレッジオブニュージャージー								1
			ジョンソン・アンド・ウェールズ大学					1			
			テネシー大学ノックスビル校				1				
			ニューヨーク州立大学ブロッポート校								2
			ハートウィック大学					1			
			バデュー大学ノースウェスト校			1					
			ハワイパシフィック大学								1
			ミズーリ大学セントレイス校		2	2		2			2
			モンタナ大学			3	2				
			ルイスクラーク州立大学				1				
		イギリス	ケント大学	★							1
			コベントリー大学	★				1			
			セントラルランカシャー大学								2
			ヨークセントジョン大学		7	2	1	5			2
		イタリア	サレント大学								1
			トリノ大学			1				1	
			ベネツィア大学					7			4
			ボローニャ大学					1			4
		オーストラリア	カーティン大学大学								5
			シーキュー大学								1
			サンシャインコースト大学			1					
		オーストリア	ウィーン経営・コミュニケーション応用科学大学							1	2
			オーバーエスターライヒ州立応用科学大学	★		1	1	3			1
			ザルツブルク応用科学大学	★						2	1
		オランダ	アムステルダム応用科学大学	★※	5	2	1	1			3
			HZ応用科学大学								3
			ティオ応用科学大学				1				
			フォンティスアカデミー			1					2
			ロッテルダム大学		3	2				2	3
		カナダ	エドモントン・コンコルディア大学		1						
			クワレントポリテクニク大学		1		3				
			トンプソンリバーズ大学		2			2			2
			ブロック大学					1			1
			レイクヘッド大学				1				
		韓国	仁荷大学					2			2
			円光大学			2	2				
			建国大学			1	2			1	2
			国民大学								2
			金剛大学			2					
			世宗大学					3			3
			東国大学								2
			釜山外国語大学								8
		スイス	チューリッヒ大学	★							1
			ルツェルン大学				1				1

期別	制度	国	所属大学	部局間	受入年度						
					2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
II	協定校	スウェーデン	リンネ大学	★							2
		スペイン	デウスト大学				1	3			
		タイ	チュラロンコン大学	★		1					
		台湾	義守大学				2	2			
			国立中興大学								1
			実践大学				2	2		1	2
			中原大学					2			3
			天主教輔仁大学		2	2	2	2			3
			東海大学					2			
			文藻外語大学	★				2			
		中国	華東師範大学								2
			華北理工大学								3
			暨南大学					2			
			山東大学							2	3
			大連海事大学								2
			大連外国語大学		2	2	2				
			上海大学								1
			上海對外貿易大学								1
			中国人民大学		1	1	2			1	
			北京理工大学			4	1				
			北京語言大学		2						
			中国海洋大学			2		1			
			鄭州大学西亞斯国際学院					2		1	1
		ドイツ	バイロイト大学		1	2	2	1			1
			マールブルク大学		2			3			
			ミュンヘン応用科学大学								2
		ノルウェー	オスロ首都大学	★				2			1
			トロムソ大学				3				
		ハンガリー	ブダペストトロポリタン大学								1
		フィンランド	ハーガ＝ヘリア応用科学大学	★		3	3	1			2
			メロボリア応用科学大学	★			1				
			ヤムク応用科学大学								2
		フランス	サンジェルマン・アン・レイ	★			3	3		1	
			ストラスブール大学		3	5	3	6		4	5
			セルジー＝ポントワーズ大学サンジェルマン・アン・レイ校	★							5
			トゥールーズ大学	★			2	3			1
			パリ大学(旧・パリ・ディドロ大学)				2			2	2
			パリ・カトリック学院								2
			リール大学(旧シャルル・ド・ゴール大学・リール第3大学)				2	1		2	
			リール・カトリック大学	★			1	2		2	3
			レンヌ第一大学								4
		ベトナム	FPT大学					2			
			ベトナム銀行学院								2
		ベルギー	リエージュ大学							1	1
		マレーシア	テイラーズ大学					1			1
			ノッティンガム大学マレーシア校								1
			マレーシア国民大学							1	
		メキシコ	モンテレイ大学								1
		リトアニア	ヴィリニウス大学							1	
I	S E P	アメリカ	アイオワ大学		1						
			アッパーアイオワ大学				1				
			アバラチアン州立大学				1				
			イーストカロライナ大学		1		1	1			
			イーストカロライナ大学シャーロット校					1			
			イーストネネシー州立大学			1					

期 別	制 度	国	所属大学	部局間	受入年度						
					2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
Ⅱ	I S E P 期	アメリカ	インディアナ州立大学								1
			インディアナ大学・パデュー大学フォートウェイン				1				
			エッジウッド大学					1			
			カリフォルニア州立大学イーストベイ校			1		2			1
			カリフォルニア州立大学サンマルコス校					2			1
			ケネソー州立大学			3					
			ケント州立大学								1
			コロラド・メサ大学		2						1
			サウスウェスタン大学								2
			サウスフロリダ大学								1
			サンディエゴ州立大学			1	2				2
			セントラル・ミズーリ大学					1		1	
			チャップマン大学				1				
			ドミニカン大学カリフォルニア校					1			
			ノースカロライナ大学ウィルミントン校		1						
			ノースパーク大学					1			
			バーモント大学		1						
			パデュー大学フォートウェイン校					1			
			ハンプシャー大学				1				
			ブエルトリコ大学、マヤグエスカンパス		1			1			
			ブエルトリコ大学リオピエドラス校					1			
			マンスフィールド大学				1				1
			ミズーリ州立大学		2	2	2				2
			メリーランド大学ボルティモア校					1			
			モンタナ大学		2						
			ルイジアナ州立大学		2						
			ルーサー大学					1			
			レイクフォレスト大学			1					
			レノア・リン大学								1
			ローズ・カレッジ								1
			ワイオミング大学								1
			ワシントン州立大学		1			2			
			南コネチカット州立大学		1						
		イギリス	エセックス大学								1
			サセックス大学								1
			セントラルランカシャー大学			1		1			
			チェスター大学		1			1			
			ノッティンガム・トレント大学								1
			ブリマス大学							2	
		イタリア	サクロ・クオーレ・カトリック大学					3			1
		オーストラリア	キャンベラ大学					1			
			グラーツ大学								1
		カナダ	ブロック大学				1				
		韓国	亜洲大学		1						
		コロンビア	イセシ大学				1				
		スコットランド	エディンバラネビア大学					1			
		チリ	バルバライソカトリック大学		1						
		ドイツ	ドルトムント工科大学				1				2
		フランス	リール第三大学		3	2					
		ブラジル	アルマンド・アルヴァス・ベンテアド財団								1
		モロッコ	アル・アハワイン大学					1			
	U M A P	韓国	弘益大学				1	1			
			祥明大学				2				
		台湾	国立雲林科技大學				1	1			
			実践大学			1					
			天主教輔仁大学				1				

期 別	制 度	国	所属大学	部局間	受入年度						
					2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
Ⅱ 期		メキシコ	ソノラ工科大学		1						
			バハカリフォルニア自治大学			1					
	C I S	アメリカ	イサカ・カレッジ						1		
			カリフォルニア大学アーバイン校							1	
			セントラルフロリダ大学							5	
			デンバー大都市圏州立大学							1	
			ノースカロライナ大学アッシュビル校						1		
			バージニア・コモンウェルス大学							1	
			プリマス州立大学							1	
			ロチェスター工科大学							2	
			ドイツ	デュースブルク・エッセン大学							1
	K E I	アメリカ	イリノイ大学							1	
			デンバー大都市圏州立大学							1	
			ヒューストン大学							1	
	小 計 第Ⅱ期					61	62	78	108	0	31
合 計					89	85	132	194	4	52	236

※アムステルダム応用科学大学は大学間と部局間両方協定がある。2022年度Ⅰ期は部局間で3名、Ⅱ期は全学で1名+部局間で2名の受入

■所属大学の国・地域別 交換留学生受入数(部局間留学含む)

(人)

所属大学国・地域名	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
アイルランド	7	5	3		2			3
アメリカ	18	19	22	29	46	1	(4)	44(2)
イギリス	2	8	7	3	10		(3)	12
イタリア			1		11		(3)	17
ウクライナ								12
エストニア	1							
オーストラリア	1	2	2		7			6
オーストリア			1	1	5		(2)	5
オランダ	3	14	12	13	13	2	(2)	14(1)
カナダ	3	6	1	12	5			3
韓国	10	11	8	18	19		(2)	22
コロンビア				1				
スイス	1	1		2	1			3
スウェーデン		1		2				2
スコットランド					1			
スペイン				1	3			
タイ			1	1	1			
チリ		1			2			
ドイツ	2	3	2	3	4		(1)	9
台湾	3	2	4	13	15		(2)	16
中国	2	8	9	9	13		(7)	19(2)
中国香港					2			
ノルウェー				3	2			1
ハンガリー								1
フィンランド			3	5	5			5
ブラジル			1					1
フランス	6	6	7	13	16	1	(21)	29(1)

ベトナム				1	2		1	2
ベルギー					3		(2)	1
マレーシア					1		(1)	2
メキシコ		2	1	2	4			1
モロッコ					1			
リトアニア							(1)	
総計	59	89	85	132	194	4	1(51)	230(6)

※()内の数字は、オンライン履修をしたため実渡航を伴わない留学生数。

■国費外国人留学生数

年度	受給者数(人)			給与総額	教育費総額			合計
	学部	大学院	受託学生					
2017	0	25(13)	0	38,826,000 円	14,980,000 円	(5,660,000 円)		53,806,000 円
2018	0	22(12)	0	35,322,000 円	12,965,000 円	(6,025,000 円)		48,287,000 円
2019	0	23(13)	1	33,440,000 円	11,789,500 円	(5,620,000 円)		45,229,500 円
2020	0	15(10)	1	28,260,000 円	9,700,000 円	(6,030,000 円)		37,960,000 円
2021	0	11(11)	1	18,416,000 円	2,617,500 円	(0 円)※		21,033,500 円
2022	0	9(6)	3	19,392,000 円	2,621,000 円	(0 円)※		22,013,000 円

()は内数で、スーパーグローバル大学創成支援事業による採用者数。

※2021 年度より文部科学省の教育費援助がなくなったため。

■ショートプログラム実績

※新型コロナウイルスの影響により、オンラインプログラム 1 回、対面 1 回での実施。計 43 名。

日程	プログラム名	参加者数	国	内容
2022年8月15日～ 2022年8月26日	Toyo Summer Program (オンライン)	24名	アメリカ、ドイツ、台湾、中国、オランダ、イタリア、カナダ、フィリピン、ベトナム、インド(順不同)	日本語初級
2023年1月7日～ 2023年1月29日	Hartwick College Winter Program	19名	アメリカ	日本語中級

※Toyo Winter Program(オンライン)は参加者が催行最少人数に満たなかったため実施せず。

■ショートビジット受入実績

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、日本への短期の入国が 2022 年 9 月まで規制されていたため、2022 年度のショートビジットの受入は実績なし。

NEST 履修者数／BJT 団体受験結果／国際交流宿舎利用者数

■NEST 履修者数

(人)

NEST科目名	2022年度 春学期	2022年度 秋学期	小計	NEST科目名	2022年度 春学期	2022年度 秋学期	小計
Japanese for Beginners: Theory	22	63	85	Japanese Reading I	9	38	47
Japanese for Beginners: Practice	22	64	86	Japanese Reading II	13	18	31
Integrated Japanese I Theory	11	20	31	Japanese Reading III	15	21	36
Integrated Japanese I Practice	9	21	30	Japanese Writing I	10	36	46
Integrated Japanese II Theory	9	23	32	Japanese Writing II	10	15	25
Integrated Japanese II Practice	9	19	28	Japanese Writing III	21	26	47
Integrated Japanese III Theory	13	19	32	Project Work I	6	24	30
Integrated Japanese III Practice	12	19	31	Project Work III	10	9	19
Japanese Listening I	5	25	30	Project Work III	14	26	40
Japanese Listening II	11	23	34	Japanese Culture and Society A/B	18	65	83
Japanese Listening III	20	19	39	Introduction to Japanology A/B	14	24	38
2022年度春学期 合計	283						
2022年度秋学期 合計	617						

■2022 年度 BJT 団体受験結果(延べ人数)

(人)

学部／研究科	J1+	J1	J2	J3	J4	総計
文学部	2	2	3	1		8
経済学部		4	11	1		16
経営学部	2		7	2		11
法学部	2	2	1	3	1	9
社会学部	2	4	9	2		17
国際学部		1	5	2		8
国際観光学部	2		6			8
情報連携学部			1			1
ライフデザイン学部		2				2
理工学部			1			1
総合情報学部		4	5			9
経営学研究科				1		1
社会福祉学研究科			1			1
国際学研究科			1			1
国際観光学研究科			1			1
情報連携学研究科		1	2			3
ライフデザイン学研究科			2			2
総計	10	20	56	12	1	99
	10%	20%	57%	12%	1%	100%

■2022 年度国際交流宿舎利用者数

(人)

宿舎名	正規生	交換留学生	RA	研究員	ショートビジット	合計
AI-House HUB-4	84	246	24	5	0	359
国際会館	85	3	7	6	0	101
合計	169	249	31	11	0	460

ECZ 利用者数

								(人)	
キャンパス	課程名	学部／研究科名	学科／専攻名	春学期	秋学期			年間 総計	
				オンライン	対面	オンライン	計		
白山	第1部	文学部	哲学科	0	1	0	1	1	
			日本文学文化学科	0	1	0	1	1	
			英米文学科	1	5	0	5	6	
			史学科	3	0	0	0	3	
			教育学科	5	3	0	3	8	
			東洋思想文化学科	0	9	0	9	9	
			国際文化コミュニケーション学科	18	24	0	24	42	
			計	27	43	0	43	70	
		経済学部	経済学科	59	45	0	45	104	
			国際経済学科	18	41	0	41	59	
			総合政策学科	5	11	0	11	16	
			計	82	97	0	97	179	
		経営学部	経営学科	12	15	0	15	27	
			マーケティング学科	1	4	0	4	5	
			会計ファイナンス学科	0	16	0	16	16	
			計	13	35	0	35	48	
		法学部	法律学科	3	1	0	1	4	
			企業法学科	2	0	0	0	2	
			計	5	1	0	1	6	
		社会学部	社会学科	8	18	0	18	26	
			社会福祉学科	5	24	0	24	29	
			メディアコミュニケーション学科	7	14	0	14	21	
			社会心理学科	6	11	0	11	17	
			国際社会学科	3	18	0	18	21	
			計	29	85	0	85	114	
			国際学部	グローバル・イノベーション学科	4	27	0	27	31
				国際地域学科	81	151	0	151	232
		計		85	178	0	178	263	
		国際観光学部	国際観光学科	70	54	0	54	124	
			計	70	54	0	54	124	
		合計				311	493	0	493
	第2部	文学部	東洋思想文化学科	0	2	0	2	2	
		経済学部	経済学科	0	6	0	6	6	
		経営学部	経営学科	0	14	0	14	14	
		法学部	法律学科	0	9	0	9	9	
		社会学部	社会学科	0	7	0	7	7	
		国際学部	国際地域学科	22	12	0	12	34	
		合計		22	50	0	50	72	
		大学院	文学研究科	国際文化コミュニケーション専攻	0	1	0	1	1
			経営学研究科	経営学・マーケティング専攻	15	4	0	4	19
			国際学研究科	グローバル・イノベーション学専攻	0	1	0	1	1
			合計		15	6	0	6	21
赤羽台	第1部	情報連携学部	情報連携学科	76	18	2	20	96	
		合計		76	18	2	20	96	
		ライフデザイン学部	生活支援学科	1	1	0	1	2	
			健康スポーツ学科	8	2	0	2	10	
		合計		9	3	0	3	12	
交換留学生	交換留学生	交換留学生	交換留学生	0	102	0	102	102	
合計				0	102	0	102	102	
不明	不明	不明		5	0	0	0	5	
合計				5	0	0	0	5	
2022 年度総計				438	672	2	674	1112	

2022 年度は、春学期は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けオンラインにて実施、秋学期は 10 月までオンラインにて実施し、11 月より人数制限(一度にゲスト 12 名まで入室可)を設けて対面で以下のとおり実施した。

【春学期】

実施期間:4 月 18 日～7 月 22 日 平日

開室時間:12:15～14:00/15:00

参加者数:438 名(延べ数)

【秋学期】

実施期間:10 月 3 日～1 月 20 日 平日

開室時間:12:15～14:00/15:00

参加者数:674 名(延べ数)

学生派遣

■大学全体の派遣者数

(人)

学部／研究科名		長期留学		協定校 語学留学		短期研修		インターンシップ・ ボランティア		その他		総計	
		2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022
学 部	文学部第1部	11	12		13	154	129	5	10	11	14	181	178
	経済学部第1部	5	13		9	91	30	1	5	10	14	107	71
	経営学部第1部	2	5		10	22	27	6	5	9	5	39	52
	法学部第1部	2	4		6	14	11		7	5	9	21	37
	社会学部第1部	3	13		14	39	167	1	6	4	40	47	240
	理工学部		2		5	19	30	1	1		14	20	52
	国際地域学部										1	0	1
	国際学部	44	87		26	248	226	8	15	2		302	354
	国際観光学部	4	9		18	39	60	4	7	6	24	53	118
	生命科学部					2	4		1			2	5
	ライフデザイン学部	3	3		1	125	47	2	2	1	11	131	64
	総合情報学部				1	4	27				3	4	31
	食環境科学部					2	7				5	2	12
	情報連携学部		2			6	4		1	1		7	7
	文学部第2部	1				2	7					3	7
	経済学部第2部				1	5	9				1	5	11
	経営学部第2部					1	3					1	3
	法学部第2部				1		2					0	3
	社会学部第2部					2	1				4	2	5
	国際地域学部イブニングコース							1				1	0
	国際学部イブニングコース				3	27						27	3
	通信教育課程 法学部											0	0
	学部計	75	150	0	108	802	791	29	60	49	145	955	1254
研 究 科	文学研究科	3										3	0
	社会学研究科		1									0	1
	法学研究科						1					0	1
	経営学研究科					1						1	0
	工学研究科											0	0
	理工学研究科						1				12	0	13
	経済学研究科										2	0	2
	国際学研究科									7	23	7	23
	国際観光学研究科										3	0	3
	国際地域学研究科									1		1	0
	生命科学研究科											0	0
	社会福祉学研究科											0	0
	ライフデザイン学研究科						1			1	1	1	2
	福祉社会デザイン研究科											0	0
	学際・融合科学研究科										1	0	1
	総合情報学研究科	1					3				15	1	18
	食環境科学研究科							15				15	0
	情報連携学研究科											0	0
	大学院計	4	1	0	0	1	6	15	0	9	57	29	64
総計		79	151	0	108	803	797	44	60	58	202	984	1,318

■長期留学(旧称:交換・認定留学)派遣者数

(人)

留学先区分	国・地域	留学先大学	派遣年度						
			2018	2019 (※3)	2020 (※3)	2021 (※4)		2022 (※4)	
						春	秋	春	秋
協定校	アメリカ	ウィノナ州立大学	4						6
	アメリカ	ウェストテキサスA&M大学	1	2					
	アメリカ	カリフォルニア州立大学スタニスラウス校		1			3		2
	アメリカ	カリフォルニア州立大学チャンネル諸島					1		2
	アメリカ	カリフォルニア州立大学ドミンゲスヒルズ校	1	1			4		4
	アメリカ	カリフォルニア州立大学ベーカーズフィールド校	2	1					
	アメリカ	カリフォルニア州立大学モントレーベイ校	2	1			3		2

留学先区分	国・地域	留学先大学	派遣年度						
			2018	2019 (※3)	2020 (※3)	2021 (※4)		2022 (※4)	
						春	秋	春	秋
協定校	アメリカ	カレッジ・オブ・ザ・デザート	6	9	3			1	8
	アメリカ	ジョンソン・アンド・ウェールズ大学	2	2					2
	アメリカ	チャタム大学		1			1		
	アメリカ	ニューヨーク州立大学ブロッポート校		3			1		1
	アメリカ	ネブラスカ大学カーニー校	1	2			1		1
	アメリカ	ノースアラバマ大学	2	1					
	アメリカ	ノースウェスト・ミズーリ大学							3
	アメリカ	ハートウィックカレッジ							1
	アメリカ	パデュー大学ノースウェスト校	1	2					
	アメリカ	ハワイ大学カピオラニ・コミュニティ・カレッジ					1		
	アメリカ	ハワイパシフィック大学							2
	アメリカ	フラットヘッドバレーコミュニティカレッジ					2		1
	アメリカ	プレスビテリアン・カレッジ	1	1					1
	アメリカ	ボストン大学							2
	アメリカ	ミズーリ大学セントルイス校		1			1		2
	アメリカ	マリヴィル大学	2						
	アメリカ	リンゼイウィルソン大学	9	2			2		2
	アメリカ	ルイスクラーク州立大学		1					1
	カナダ	エドモントン・コンコルディア大学						3	1
	カナダ	ダグラスカレッジ					1		2
	カナダ	トンプソンリバーズ大学	1	1					
	カナダ	ブロック大学							1
	カナダ	レイクヘッド大学	2						
	アイルランド	ダブリンシティ大学	3	4			5		3
	イギリス	カーディフ大学	1	1					2
	イギリス	セントラル・ランカシャー大学					3		3
	イギリス	ノーサンブリア大学							1
	イギリス	ヨークセントジョン大学	7	2			1	1	5
	イギリス	リージェンツ大学ロンドン							1
	イタリア	トリノ大学		1			1		1
	イタリア	ベネツィア大学					1		
	イタリア	ボローニャ大学		4			2		5
	オーストリア	ウィーン経営・コミュニケーション応用科学大学							1
	オーストリア	ザルツブルク大学					5		5
	オランダ	テオ応用科学大学						1	
	オランダ	フォンティスアカデミー	1	1					
	スイス	ルツェルン大学	2	1					
	ドイツ	バイロイト大学		1					2
	ドイツ	マールブルク大学	2	5			1		4
	ドイツ	ミュンヘン応用科学大学							1
	ノルウェー	トロムソ大学	2	2					
	ハンガリー	ブダペストメトロポリタン大学					1		2
	フィンランド	ヤムク応用科学大学		3			2		3
	フランス	ストラスブール大学	2	2			2		1
	フランス	ストラスブール大学経営大学院 (EMS)	1	1					1
	フランス	パリ・カトリック学院							1
	フランス	パリ大学							2
	フランス	リール大学					1		2
	ブルガリア	聖クリメント・オフリツキ・ソフィア大学	1	2			2		3
	ベルギー	トマスモア応用科学大学					2		
ベルギー	リエージュ大学					3	1	3	
リトアニア	ヴィルニウス大学					2		1	
韓国	仁荷大学	5	3	2		2			
韓国	建国大学	2	1	1		1	1		
韓国	大邱大学		1						
韓国	東国大学	1	2					1	
韓国	韓南大学		1						
韓国	漢陽大学						2		
韓国	韓国外国語大学		1						
韓国	成均館大学	2	2	2		1			
台湾	義守大学	1	1						

留学先区分	国・地域	留学先大学	派遣年度						
			2018	2019 (※3)	2020 (※3)	2021 (※4)		2022 (※4)	
						春	秋	春	秋
協定校	台湾	実践大学		1					1
	台湾	天主教輔仁大学							1
	中国	上海外国語大学	1						
	中国	中国人民大学	2	2					
	中国	北京語言大学	2	1					
	インドネシア	ガジャマダ大学		1					2
	タイ	タマサート大学							1
	タイ	チェンマイ大学		1			2		2
	マレーシア	テイラーズ大学	1		1				
	マレーシア	マレーシア国民大学						2	1
	オーストラリア	カーティン大学			1				
	オーストラリア	サンシャインコースト大学		1					
	オーストラリア	シーキュー大学	5	1	2				
ISEP加盟大学 (※1)	オーストラリア	ディーキン大学	3	3	1			2	
	アメリカ	アバラチア州立大学	1				1		
	アメリカ	アルフレッド大学							1
	アメリカ	イーストテネシー州立大学		1					
	アメリカ	ウィチタ州立大学	1						
	アメリカ	ウェスタンカロライナ大学		1					
	アメリカ	ウェスト大学					1		
	アメリカ	カリフォルニア州立大学イーストベイ校	1						
	アメリカ	ケント州立大学	1						
	アメリカ	サザンインディアナ大学	1						
	アメリカ	ジェームズタウン大学							1
	アメリカ	セントエドワードズ大学		1					
	アメリカ	トルーマン州立大学	1						
	アメリカ	ネブラスカ・ウェスレヤン大学		3				1	
	アメリカ	ネブラスカ大学オマハ校		4					
	アメリカ	ノースイースタン州立大学					1	1	1
	アメリカ	ノースウェスト・ミズーリ大学	2				1		
	アメリカ	ノースカロライナ大学シャーロット校	1						
	アメリカ	バルドスタ州立大学					1 (※5)		
	アメリカ	ハンプシャー大学	1						
	アメリカ	フォートヘイズ州立大学	1						
	アメリカ	フォート・ルイス大学					1		
	アメリカ	ヘンドリックス大学		1					
	アメリカ	ミズーリ州立大学	1	1			1		
	アメリカ	メンフィス大学		2					
	アメリカ	モンタナ州立大学	1						
	アメリカ	モンタナ大学		1					
	アメリカ	ルイジアナ・ノースウェスタン州立大学	1						
	アメリカ	レイクフォレスト大学					1		
	イギリス	エセックス大学		1				1	
	イギリス	ブラッドフォード大学							1
	エストニア	タルトゥ大学	1 (※2)						
	オーストリア	グラーツ大学	1						1
	スウェーデン	ウエスト大学		1					
	スウェーデン	メーラルダーレン大学	1						1
	スウェーデン	リンネ大学	2					1	
	スウェーデン	ルレオ工科大学							1
	スペイン	ナバーラ州立大学							1
	ドイツ	ドルトムント工科大学		1					
	フィンランド	オウル大学		1					
	フィンランド	トゥルク大学	1						
	韓国	漢陽大学	1						1
UMAP加盟大学 (※1)	韓国	漢陽大学		1					
	台湾	国立彰化師範大学		1					
	台湾	国立政治大学		1					
	台湾	実践大学	2						
	台湾	台北大学		1					
	台湾	淡江大学			2				

留学先区分	国・地域	留学先大学	派遣年度						
			2018	2019 (※3)	2020 (※3)	2021 (※4)		2022 (※4)	
						春	秋	春	秋
UMAP加盟大学 (※1)	タイ	スィーバトゥム大学		1					
	タイ	マハサラカム大学	1						
	タイ	メーファールアン大学		2					
	フィリピン	アジアバシフィック大学		1					
	フィリピン	デ・ラ・サル大学			1				
	マレーシア	マレーシア国民大学	1						
留学支援団体または 個人で出願した大学 (認定留学)	アメリカ	アリゾナ州立大学	1	1					2
	アメリカ	オレゴン大学	1	1			1		
	アメリカ	カリフォルニア州立大学サンマルコス校	2						1
	アメリカ	カリフォルニア州立大学デビス校						1	
	アメリカ	カリフォルニア州立大学ノースリッジ校		1				1	
	アメリカ	サンタモニカカレッジ	2						
	アメリカ	サンディエゴ州立大学					1		
	アメリカ	テネシー工科大学							1
	アメリカ	ニューヨーク州立大学オールバニ校	1						
	アメリカ	ネバダ大学リノ校	1						
	アメリカ	ノースアラバマ大学	1					1	
	アメリカ	ハイラインカレッジ	1						
	アメリカ	ハワイ大学ヒロ校	1	1					
	アメリカ	ミネソタ州立大学マンケート校							1
	アメリカ	モンタナ大学		1					
	中国	復旦大学	1						
	マレーシア	テイラーズ大学							1
	オーストラリア	オーストラリアカソリック大学	1						
	オーストラリア	グリフィス大学	1						
	オーストラリア	シドニー工科大学	1						
ニュージーランド	オタゴ大学	1	1						
国際教育センター主催 合計			124	118	16	0	71	21	124
						71		145	
学部等主催交換留学 合計			53	62	6	0	8	36	20
						8		56	
総合計			177	180	22	0	79	57	144
						79		201	

(※1) ISEP(International Students Exchange Programs)とUMAP(University Mobility in Asia and the Pacific)は本学が加盟する学生交換コンソーシアムを表す。

(※2) 1名の学生が2大学へ留学。算入対象外

(※3) 新型コロナウイルスの影響により、2020年3月に中止勧告が出されたため途中帰国を含む

(※4) 2021年度分より、留学開始学期の区分を追加

(※5) 現地に渡航せず、日本からオンラインで参加

■協定校語学留学派遣者数

(人)

国・地域	実施大学	派遣年度									
		2018		2019		2020		2021		2022	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期 (※1)	秋学期 (※2)	春学期 (※2)	秋学期 (※2)	春学期	秋学期
アメリカ	ポートランド州立大学	1	7	1	1						
	ペース大学		1	8	2						
カナダ	バンクーバーアイランド大学	19	7	13	6	2					2
	レスブリッジ大学		5	6	1						
	ウィニペグ大学	19	14	16	15	6				18	13
	ブロック大学	3	10	10	13	6					
	ジョージブラウンカレッジ				9	6					18
	セントメアリーズ大学				2	3				8	5
アイルランド	ダブリンシティ大学	12	6	13	10					12	10
イギリス	ヨークセントジョン大学	15	9	14	3						3
オーストラリア	ディーキン大学メルボルン	14	13	7	11	7					8
	ディーキン大学ジーロング		8	3	1						
	サザンクロス大学リズモア	1	3	2	3	1					
	サザンクロス大学ゴールドコースト	4	9	6	3	5					6
フランス	フランシュ＝コンテ大学									3	2
国際教育センター主催 協定校語学留学 合計		88	92	99	80	36	0	0	0	41	67
		180		179		36		0		108	

(※1) 新型コロナウイルスの影響により、2020 年 3 月に中止勧告が出されたため途中帰国

(※2) 新型コロナウイルスの影響により、2020 年度秋学期、2021 年度春学期・秋学期実施なし

■短期研修派遣者数

(国際教育センター主催 短期語学セミナー)

(人)

国・地域	実施大学	年度									
		2018		2019		2020		2021		2022	
		夏季	春季	夏季	春季	夏季 (※1)	春季 (※2)	夏季 (※2)	春季 (※2)	春季	夏季
アメリカ	カリフォルニア州立大学モントレーベイ校										
	ポートランド州立大学										
	カレッジ・オブ・ザ・デザート	19	14	19	19		21	27	14	11	10
カナダ	トンプソンリバーズ大学									9(※2)	18
	マニトバ大学	20	20	20	10						
アイルランド	ダブリンシティ大学		24	14	24		20	27	15	27	
イギリス	ウォーリック大学										
オーストラリア	サザンクロス大学	20	20					21	10		20
	シーキュー大学										
	ディーキン大学			20	20		16		18	21	
マレーシア	ヘルプ大学	9	10								
	サンウェイ大学			8	18						
ベトナム	FPT大学										15
韓国	釜山外国語大学									6(※2)	13
中国	北京語言大学							16	5		3
台湾	天主教輔仁大学				8					2(※2)	
国際教育センター主催 短期語学セミナー		68	88	81	99	0	57	91	62	76	79
合計		156		180		57		153		155	

(※1) 新型コロナウイルスの影響により実施なし

(※2) 新型コロナウイルスの影響によりオンライン実施

主催学部	国	2018年度	2019年度	2020年度 ※2	2021年度 ※2	2022年度	計
国際学部 ※国際地域学部国際地域 学科主催含む	カナダ					43	43
	スウェーデン		12				12
	スペイン	9			3		12
	タイ	33	30	27	18	20	128
	デンマーク		12				12
	ドイツ		1				1
	フィリピン	34	28		59	29	150
	フィンランド		12				12
	フィンランド・スウェーデン	19					19
	フィンランド・スウェーデン・デンマーク	14					14
	ベトナム	4	11			13	28
	マレーシア	121	121	34	60	28	364
	ミャンマー		12	18			30
	韓国	16	13		11	6	46
	中国		7				7
	その他※3			103			103
国際観光学部 ※国際地域学部国際観光 学科含む	アメリカ	45	12				57
	アラブ首長国連邦	9					9
	イギリス	8					8
	スリランカ	10					10
	タイ	2				15	17
	ドイツ		6				6
	フランス	5					5
	マレーシア	9					9
	韓国	14					14
	台湾	353					353
情報連携学部	—						0
ライフデザイン学部	カナダ	16	11				27
	カンボジア		4			6	10
	ドイツ	17	14				31
	フィリピン		13		81	15	109
	韓国	20	12		20		52
理工学部	イタリア		10				10
	タイ	3	4			20	27
総合情報学部	アメリカ	10				23	33
生命科学部	カナダ	22					22
食環境科学部	カナダ					8	8
国際地域学研究科	イタリア	3	6				9
学際・融合科学研究科	フランス		1				1
経済学研究科	イギリス		3				3
国際学研究科	イタリア		1				1
その他(※4)	アイルランド				1		1
	アメリカ	2	4				6
	イギリス	4	4		16		24
	イタリア	14	5			7	26

主催学部	国	2018年度	2019年度	2020年度 ※2	2021年度 ※2	2022年度	計
その他(※4)	インドネシア		5				5
	オーストラリア	11	13				24
	カナダ	10	5				15
	カンボジア		1				1
	シンガポール		1				1
	スペイン	1					1
	スリランカ	1					1
	タイ	1					1
	ドイツ	2			2		4
	ニュージーランド	2	1				3
	フィリピン	63	33				96
	フランス	4	6			1	11
	ベトナム	1	2				3
	マルタ共和国		3				3
	ミャンマー	1					1
	マレーシア	1			1		2
	韓国				11		11
	中国		6		2	1	9
	台湾	8	9		1		18
	南アフリカ	1	1				2
	日本、韓国、ロシア		4				4
	不明	10	47				57
総計		1,238	700	182	431	500	3,051

※1 参加者数には、主催学部以外の学生を含む場合がある。

※2 2020年度、2021年度は新型コロナウイルスの影響でオンラインにて実施。

※3 新型コロナウイルスの影響により、日本国内の英語学習機関において実施されたオンライン研修に参加。

※4 学外提携機関・企業等主催プログラム

■インターンシップ・ボランティア派遣者数

(人)

期間	国・地域	プログラム名	年度									
			2018		2019		2020(※2)		2021		2022	
			夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季
短期	アメリカ	USA・LA “グローバルキャリア”インターンシップ～企業ビジネス研修～	8	44	4	3					14	3
		USA・LA“アシスタントティーチャー”ボランティア				1						3
		USA・アンカレッジ ツーリズムインターンシップ	1									
		USA・ウッドインビル 食環境教育・研究施設インターンシップ	3									
		USA・シアトル・ウッドインビル海外インターンシップ～貿易ビジネス/社会福祉～		2								
		USA・グレイシャー国立公園 ホテルインターンシップ										
		USA・サンディエゴ ボランティア研修	6		5	2						
		USA・シアトル ボランティア研修(インターンシップ)	1		1	2						
		USA・シアトル現地日系団体ボランティア～語学学校+広告メディア/高齢者福祉		1								
		USA・ポートランド ボランティア研修	7	10	5	3						
	カナダ	カナダ・ケローナ インターンシップ										
		カナダ・バンクーバー 幼児教育ボランティア										
		ツーリズム・マネジメント・インターンシップ～海外拠点業務研修～	4	1	2	5						
	オーストラリア	オーストラリア・シドニー 幼児教育ボランティア	1		1						3	4
		オーストラリア・ブリスベン(メルボルン) 自然環境保護ボランティア	2	3		1						
		オーストラリア・グローバル・キャリアインターン研修									2	5
	ニュージーランド	ツーリズム・マネジメント・インターンシップ～海外拠点業務研修～	1			1						
	フィリピン	フィリピン農村発 起業家育成インターンシップ	3									
	ベトナム	ベトナム“グローバルキャリア”インターンシップ～企業ビジネス研修～			1	2					1	3
	マレーシア	ツーリズム・マネジメント・インターンシップ～海外拠点業務研修～										
	台湾	台湾・台北ホテルインターンシップ										
	オンラインアメリカ	アメリカインターンシッププログラム							15	13	5	1
	短期 合計		37	21	19	20	0	0	15	13	25	19
			58		39		0		28		44	
長期	アメリカ	ワシントンセンター	3				1(※3)					
	タイ	国連ユースボランティア(※2)	1									
	ラオス		1									
	アルバニア								1			
	タイ	日本語パートナーズ(※1)(※2)(※4)	2						1			
	インドネシア		2									
	国際教育センター主催 インターンシップ・ボランティア 合計		66		41		1		29		45	
	学部等主催 インターンシップ・ボランティア 合計		133		90				15		15	
総計		199		131		1		44		60		

(※1) 大学推薦プログラム派遣者

(※2) 新型コロナウイルスの影響により実施なし

(※3) 新型コロナウイルスの影響によりオンライン実施

(※4) 2022 年度から大学卒なし

■その他 海外派遣者数

(人)

	年度				
	2018	2019	2020	2021	2022
その他 海外派遣者数 合計	393	434	4	58	202

コロナ禍におけるオンライン国際交流の試み

■国際学生ミーティング参加者数

(人)

日程	交流先大学	時間	参加者			総計
			東洋大学		交流先大学	
			発表者	一般参加者		
5月13日(金)	ボロニア大学	18:00~19:30	11	16	4	31
5月14日(土)	ダルマプルサダ大学	16:00~18:00	18	14	25	57
8月6日(土)	ダルマプルサダ大学	16:00~18:00	18	8	30	56
11月5日(土)	ダルマプルサダ大学	18:00~20:00	12	10	26	48
12月2日(金)	ボロニア大学	18:00~19:30	5	12	5	22
1月11日(水)	チェンマイ大学	15:00~16:30	7	4	11	22
1月28日(土)	ルーマニア国立 パベシユ・ボヨイ大学	19:00~20:30	3	7	20	30
2月11日(土)	ダルマプルサダ大学	18:00~20:00	7	7	15	29
3月31日(金)	日越大学	10:00~11:30	3	8	10	21
合計	5カ国・9回実施		84	86	146	316

■2021年度ビジネス日本語ポイント講座(夏) 参加者数

日程	講座名	講師・所属	参加者数
8月30日(月)	ビジネス文化知識と習得のためのトレーニング	牛窪 隆太 東洋大学国際教育センター・准教授	1,135 人
	BJT ビジネス日本語能力テストの全容と対策	田中 祐輔 青山学院大学・准教授	1,126 人
8月31日(火)	ビジネス現場で求められるマナー	遠山 祥胡子 株式会社エムシイエス・代表取締役	1,146 人
	翻訳・通訳とビジネス日本語	アンドレエフアントン 東洋大学国際教育センター・講師	1,197 人
9月1日(水)	ビジネス日本語と敬語表現	前田 直子 学習院大学・教授	1,170 人
	場面別ビジネス日本語表現演習	陳 秀苗 東洋大学国際教育センター・講師	1,199 人
9月2日(木)	ビジネス日本語ライティング	奥田 純子 コミュニカ学院・学院長	1,196 人
	超級レベルの日本語ライティングテスト演習	牛窪 隆太 東洋大学国際教育センター・准教授	1,143 人
9月3日(金)	ビジネス日本語の聴解	堀井 恵子 武蔵野大学・名誉教授	1,167 人
	BJT 聴解実践演習	陳 秀苗 東洋大学国際教育センター・講師	1,147 人
9月4日(土)	日本語の論理的コミュニケーション	山田 乃理子 公益財団法人日本漢字能力検定協会・部長	1,252 人
	ビジネス日本語のコミュニケーションアプローチ	田中 祐輔 青山学院大学・准教授	1,210 人
9月6日(月)	外国人学習者の語彙学習の困難点と対策	陳 秀苗 東洋大学国際教育センター・講師	1,332 人
	ビジネス日本語語彙の習得と演習	田中 祐輔 山学院大学・准教授	1,342 人
9月7日(火)	コミュニケーション能力育成のための日本語文法	陳 秀苗 東洋大学国際教育センター・講師	1,306 人
	文法を中心としたビジネス日本語実践演習	牛窪 隆太 東洋大学国際教育センター・准教授	1,331 人
9月8日(水)	ビジネス日本語の読解	牛窪 隆太 東洋大学国際教育センター・准教授	1,362 人
	BJT 読解実践演習	アンドレエフアントン 東洋大学国際教育センター・講師	1,253 人
9月9日(木)	日本の就職活動とキャリアプランニング	菅野 善之 株式会社日経 HR・執行役員営業本部長	1,277 人
	BJT 総合実践演習/今後の学習に役立つ資料とツール	田中 祐輔 青山学院大学・准教授	1,271 人
合計			24,562 人

■2022 年度ビジネス日本語ポイント講座(春) 参加者数

日程	講座名	講師・所属	参加者数
2 月 7 日(月)	日本の就職活動とキャリアプランニング(有料)	牛窪 隆太 東洋大学国際教育センター・准教授	63 人
	BJT ビジネス日本語能力テストの全容と対策	遠山 祥胡子 株式会社エムシイエス・代表取締役	790 人
2 月 8 日(火)	BJT 総合実践演習/今後の学習に役立つ資料とツール	前田 直子 学習院大学・教授	925 人
	BJT 聴解実践演習(有料)	陳 秀苗 東洋大学国際教育センター・講師	62 人
2 月 9 日(水)	BJT 読解実践演習(有料)	アンドレエフアントン 東洋大学国際教育センター・講師	0 人(申込 81 人)
	コミュニケーション能力育成のための日本語文法(有料)	田中 祐輔 青山学院大学・文学部准教授	670 人
2 月 10 日(木)	ビジネス現場で求められるマナー	陳 秀苗 東洋大学国際教育センター・講師	73 人
	ビジネス日本語と敬語表現	牛窪 隆太 東洋大学国際教育センター・准教授	62 人
2 月 11 日(金)	ビジネス日本語のコミュニケーションアプローチ	奥田 純子 コミュニケーション学院・学院長	842 人
	ビジネス日本語の聴解	牛窪 隆太 東洋大学国際教育センター・准教授	59 人
2 月 12 日(土)	ビジネス日本語の読解(有料)	山田 乃理子 公益財団法人日本漢字能力検定協会・部長	904 人
	ビジネス日本語ライティング	田中 祐輔 青山学院大学・文学部准教授	836 人
2 月 14 日(月)	ビジネス日本語彙の習得と演習	堀井 恵子 武蔵野大学・名誉教授	821 人
	ビジネス文化知識と習得のためのトレーニング(有料)	陳 秀苗 東洋大学国際教育センター・講師	42 人
2 月 15 日(火)	外国人学習者の語彙学習の困難点と対策(有料)	陳 秀苗 東洋大学国際教育センター・講師	62 人
	場面別ビジネス日本語表現演習(有料)	田中 祐輔 青山学院大学・文学部准教授	799 人
2 月 16 日(水)	超級レベルの日本語ライティングテスト演習(有料)	牛窪 隆太 東洋大学国際教育センター・准教授	56 人
	日本語の論理的コミュニケーション	アンドレエフアントン 東洋大学国際教育センター・講師	47 人
2 月 17 日(木)	文法を中心としたビジネス日本語実践演習(有料)	菅野 善之 株式会社日経 HR・執行役員	707 人
	翻訳・通訳とビジネス日本語(有料)	田中 祐輔 青山学院大学・文学部准教授	671 人
合計			8,491 人

■2023 年度ビジネス日本語アドバンス講座(春)参加者数

日程	回	時間	テーマ	種別	講座名	講師 (敬称略)	所属先	参加者数
2 月 22 日 (水)	1	13:00～14:30	リーディング& ライティング	理論 (Theory)	ビジネス文書の読解スキル	長崎 清美	NPO 法人日本語教育研究所 理事・研究員	33 人
	2	14:50～16:20		実践 (Practice)	超級レベルの日本語ライティング演習	牛窪隆太	東洋大学国際教育センター・ 准教授	36 人
2 月 23 日 (木)	3	13:00～14:30	語彙と表現	理論 (Theory)	上級日本語学習者の語彙学習の困難点と 対策	陳秀苗	東洋大学国際教育センター・ 講師	38 人
	4	14:50～16:20		実践 (Practice)	ビジネス日本語彙・表現の習得と実践	田中祐輔	青山学院大学・准教授	47 人
2 月 24 日 (金)	5	13:00～14:30	J1&J1+	実践 (Practice)	BJT ビジネス日本語能力テスト対策& 演習 (聴解篇)	牛窪隆太	東洋大学国際教育センター・ 准教授	34 人
	6	14:50～16:20		実践 (Practice)	BJT ビジネス日本語能力テスト対策& 演習 (聴読解篇)	陳秀苗	東洋大学国際教育センター・ 講師	34 人

JV キャンパス事業 実施実績・参加者数等

■アジア・太平洋地域におけるオンライン協働教育;UMAP を基盤とする SDGs オンライン協働学習 (OEP)

(受入実績)

(人)

(人)

国名	大学名	参加者数
インドネシア	Institut Teknologi Sepuluh Nopember	2
フィリピン	De La Salle University	11
日本	関西大学	1
合計		14

科目提供学部	科目名	履修者数
経済学部	International Environment Economics	3
法学部	Peace Studies	2
	International Law	3
国際学部	Participatory Development	4
	Science, Technology and Society	3
総合情報学部	Social Responsibility	3
国際教育センター	Introduction to Intercultural Competence Theory 4	0
合計		18

(派遣実績)

(人)

(人)

所属学部	参加者数
文学部	4
経営学部	2
法学部	1
国際学部	2
国際観光学部	2
理工学部	1
合計	12

科目提供大学	科目名	履修者数
De La Salle University (フィリピン)	Environmental Philosophy	3
Institut Teknologi Sepuluh Nopember (インドネシア)	Introduction to Industrial System and Engineering Course at ITS Surabaya	1
Curtin University (オーストラリア)	Communication, Culture & Indigenous Perspectives in Business	2
	Sociocultural Perspectives of Sustainability	2
Universiti Kebangsaan Malaysia (マレーシア)	Innovation and Technology in Teaching and Learning	1
関西国際大学	Reading Sogo 1: Approaches to Local and Global Environmental Issues	1
芝浦工業大学	Robotics Overview-Current and Future	1
尚綱学院大学	Introduction to Sociology	1
合計		12

国名	大学名	科目名
インドネシア	Institut Teknologi Sepuluh Nopember	1. Sustainable Manufacturing Course at ITS Surabaya
オーストラリア	Curtin University	1. Culture to Cultures
		2. Communication, Culture & Indigenous Perspectives in Business
		3. Communication, Business and Sustainable Development
		4. Human Geography
		5. Sociocultural Perspectives of Sustainability
		6. Introduction to Global Business
日本	Shokei Gakuin University	1. Inclusive Society
	Toyo University	1. Environmental Communication Social Responsibility ENG
		2. Peace Studies
		3. Introduction to Innovation Studies
		4. International Environment Economics
		5. Participatory Development
		6. ScienceTechnology and Society
		7. Introduction to Intercultural Competence Theory 4
		8. Introduction to Intercultural Competence Theory 5
	Kansai University	1. Global Advanced Study (*only for graduate students)
	Kansai University of International	1. Approaches to Local and Global Environmental Issues

国名	大学名	科目名
	Studies	
	Shokei Gakuin University	1. Introduction to Sociology (taught in Japanese)
	Shibaura Institute of Technology	1. Nanostructure Physics
		2. Diversity and Cultures of other countries
		3. Robotics Overview-Current and Future
		4. Materials for Energy
		5. Lectures on Civil Engineering
フィリピン	De La Salle University	1. Environmental Philosophy

■2022 年度東洋大学模擬国連 (Toyo MUN) 国籍別参加者数

(人)

国 名	参加者数	国 名	参加者数	国 名	参加者数
日本	34	マレーシア	2	マダガスカル	1
インドネシア	29	ルーマニア	2	ロシア	1
中国	26	アメリカ	1	シンガポール	1
フィリピン	24	カナダ	1	台湾	1
ウクライナ	12	フランス	1	ウズベキスタン	1
ベトナム	3	ドイツ	1	カナダと中国のハーフ	1
ブルガリア	2	カザフスタン	1	不明	7
パキスタン	2	韓国	1		
				計	155

※この他、本学から 4 名の学生が運営スタッフとして参加した。

■ビジネス日本語講座

日程	講座名	受講者数(人)
2022 年 5 月 25 日～2022 年 8 月 31 日	ビジネス日本語入門 I (オンデマンド動画講座)	36
2022 年 10 月 19 日～2023 年 1 月 31 日	ビジネス日本語入門 II (オンデマンド動画講座)	59
計		95

TGL Program 達成状況／留学フェア参加者数／ 国際教育センターメールマガジン登録者数

■TGL Program 達成状況

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 (目標値)
TGL GOLD	26	51	120	105	72	460
TGL SILVER	485	797	789	586	483	1,100
TGL BRONZE	1,670	2,646	2,666	2,384	1,839	2,500

(人)

■留学フェア参加者数

年度	日時	名称	会場	参加者数(延べ人数)	合計
2017	4/18	春学期留学ガイダンス	朝霞キャンパス	10	775
	4/20		川越キャンパス	18	
	4/19		板倉キャンパス	6	
	4/29	東洋大学留学フェア in Spring	白山キャンパス	507	
	10/5	秋学期留学ガイダンス	川越キャンパス	11	
	10/6		朝霞キャンパス	5	
	10/2		板倉キャンパス	0	
	10/16	東洋大学留学フェア in Autumn	白山キャンパス	218	
2018	4/24	春学期留学ガイダンス	朝霞キャンパス	40	763
	4/27,28	東洋大学留学フェア in Spring	白山キャンパス	395	
	10/6	東洋大学留学フェア in Autumn	白山キャンパス	328	
2019	4/20,22	東洋大学留学フェア in Spring	白山キャンパス	989	1,292
	10/5	東洋大学留学フェア in Autumn	白山キャンパス	303	
2020	9/23~10/14	東洋大学留学フェア in Autumn※	全キャンパス対象	オンライン説明会 811	811
2021	4/19~4/28	東洋大学留学フェア in Spring	全キャンパス対象	オンライン説明会 669	1,399
	9/27~10/5	東洋大学留学フェア in Autumn	全キャンパス対象	オンライン説明会 730	
2022	4/18~4/28	東洋大学留学フェア in Spring	全キャンパス対象	対面・オンラインハイブリッド	876
	10/4~10/8	東洋大学語学学習&留学フェア in Autumn	全キャンパス対象	対面・オンラインハイブリッド	

※新型コロナウイルスの影響により2020年度春季の留学フェアは中止とし、2020年秋季及び、2021年度はオンラインにて実施、2022年度はオンラインと対面のハイブリッドで実施した。

■国際教育センターメールマガジン登録者数

年度	登録者数(単位:人)
2018	870
2019	819
2020	893
2021	979
2022	858

課外英語講座開講実績

■学内向け講座

(人)

時期	プログラム	コース名	開講キャンパス				受講人数	受講人数(学部生)														受講人数(大学院生)										その他					
			白山	川越	板倉	赤羽台		文	経済	経営	法	社会	国際	国際観光	国際地域	情報連携	ライフデザイン	理工	総合情報	生命科	食環境科	通信	文	経済	法	社会	国際	国際観光	国際地域	社会福祉	総合情報		理工	福祉デザイン	生命科	食環境科	学際・融合科学
春学期	IELTS講座	IELTS A,Bクラス ※習熟度別	オンライン				38	7	1	4	2	5	15	1	1		1						1														
	TOEFL iTP講座	TOEFL iTPクラス	オンライン				0																														
	TOEFL iBT講座	TOEFL iBTクラス	オンライン				19	1	4	1	1	2	3	1	3	2							1														
	TOEIC IP講座	TOEIC A～Fクラス ※習熟度別	オンライン				114	20	6	7	7	13	23	22	1	3	6	4	1											1							
	ランゲージセンター ライティングプログラム	General Writing (GW)	対面 白山、川越、板倉、赤羽台				142	22	13	8	3	8	62	11	3	6	2														1					1	
		The PLUS Program (PLUS)	対面 白山、川越、板倉、赤羽台				8	1					1			1																					
		Prep for Writing Tests (ライティングテスト対策)	対面 白山、板倉、赤羽台				22	3		1	0	4	5	3	2	2							1	1													
		Writing Consulting (ライティング相談)	オンライン				42		20			1	13			6												1									
		Special Programs (特別講座)	オンライン				140																														
	<キャンパス内留学> Toyo Achieve English 英語講座	グループゼッスン(初級)	対面／オンライン 白山、川越、板倉、赤羽台				34	5	1	2	1	3			1	13	4	1	2	1																	
		グループゼッスン(初中級)	対面／オンライン 白山、川越、板倉、赤羽台				73	10	5	9	3	7	8	6		11	4		4	6																	
		グループゼッスン(中級)	対面／オンライン 白山、川越、板倉、赤羽台				63	7	5	7	2	9	7	7	3	5	1																				
		グループゼッスン(上級)	対面／オンライン 白山				11	1	1	1	2	3	1	1			1																				
		マンツーマンゼッスン	対面／オンライン 白山、川越、板倉、赤羽台				169	23	13	9	3	22	11	16	1	11	19	9	1	6	5											2		1	3	4	
	夏学期	IELTS講座	IELTS対策講座 by LEAP	オンライン				65	3	3	9	1	10	29	5	1	3	1																			
TOEFL講座		TOEFL iBTクラス	対面 白山				11		1	2		3	2		1	1								1													
TOEIC講座		TOEIC A,B,Cクラス ※習熟度別	対面 白山				72	8	4	11	4	11	12	3	1	7	4	1		1			1		1				1	1			1				
英検講座		準1級1次試験合格を目指すクラス	オンライン				30	6		7	2	6	1	4	1	1		1				1															
		1級1次試験合格を目指すクラス	オンライン				0																														
<キャンパス内留学> Toyo Achieve English 英語講座		Summer School at Toyo!! (オンライン)	オンライン				14	3			1	5	2	1								1					1										
		Summer School at Toyo!! (対面)	オンライン				11	2	1	1		1	2	1	1	2																					
		Academic Listening and Speaking	対面 白山、INIAD、WELLB				17					1	9	1		1	1		1					1								2					
		英字新聞から学ぶさまざまな英語表現	対面／オンライン 白山				6	1				1	2										1														
		英語ガイド講座	対面 全キャンパス				8	1					1	1																							
秋学期		IELTS講座	通常クラス	オンライン				16	1		1	1	3	4	4	1	1																				
	TOEIC講座	通常クラス(1～3)	オンライン				62	5	2	12	5	12	10	6	2	2	2	1					1											2			
	英検講座	1級1次試験合格を目指すクラス	オンライン				7	2		1	1				1	1						1															
	ランゲージセンター ライティングプログラム	General Writing (GW)	対面 白山、川越、赤羽台				119	18	5	6	3	23	30	12	2	4	9	4					1					2									
		The PLUS Program (PLUS)	対面 白山、川越、赤羽台				7	1	1	1		1	1			1	1																				
		Prep for Writing Tests (ライティングテスト対策)	対面 白山、川越、赤羽台				31	3	6	4	2	3	6	2		3	2																				
		Writing Consulting (ライティング相談)	オンライン				69	8	3	2	2	10	25	2		5						1			1												
		Special Programs (特別講座)	オンライン				173																														
	<キャンパス内留学> Toyo Achieve English 英語講座	グループゼッスン(初級)	オンライン				36	5	1	1	2	4			1	12	5	1	2	1																	
		グループゼッスン(初中級)	オンライン				82	11	3	7	3	10	9	11		12	3		6	6													1				
		グループゼッスン(中級)	オンライン				66	6	5	7	2	11	9	8	2	5	1																				
		グループゼッスン(上級)	オンライン				11	4		1	2	1	2				1																				
		マンツーマンゼッスン	オンライン				79	14	5	6	3	12	4	10		6	8	4	1													1	1		4		
冬学期	TOEIC講座	TOEIC講座	オンライン				68	11	2	7	6	6	9	3	3	7	2	1														1					
	学部TOEIC講座	TOEIC講座(川越)	オンライン				6									5																					
	<キャンパス内留学> Toyo Achieve English 英語講座	Spring School at Toyo!! (対面)	対面 白山、赤羽台(WELLB)				14	1		1	1	1	3	3	1	1	1	1																	1		
		Spring School at Toyo!! (オンライン)	オンライン				11	1		2	1	2	3	1																							
		Academic Listening and Speaking	対面／オンライン 白山				14	2			1	5	2		2	1																			1		
		Cultural Awareness & Communication	対面 白山				11		2	1	1	4		3																							
		英字新聞から学ぶさまざまな英語表現	対面／オンライン 白山				8	1			1	3		2				1																			

	受講人数	受講人数(学部生)															受講人数(大学院生)															その他
		文	経済	経営	法	社会	国際	国際観光	国際地域	情報連携	ライフデザイン	理工	総合情報	生命科	食環境科	通信	文	経済	経営	法	社会	国際	国際地域	社会福祉	国際観光	総合情報	理工	福祉デザイン	生命科	食環境科		
2022年度	1306	218	113	138	68	227	323	153	2	52	124	84	24	24	20	0	3	2	5	0	4	2	0	5	1	1	5	0	5	6	1	10
2021年度	1385	232	162	130	57	191	265	120	3	86	142	85	46	17	31	1	2	2	6	0	4	1	0	1	3	1	4	2	2	1	1	5
2022/2021対比	122	94	70	106	119	119	123	128	2	63	88	95	43	141	65	0	150	100	83	-	200	-	500	33	100	125	0	250	600	100	200	
2019年度	1138	233	133	164	77	284	302	161	47	124	199	130	43	105	88	10	1	3	1	3	-	0	123	50	30	33	0	100	100	-	167	
2022/2019対比	90	92	84	84	88	88	108	93	4	42	64	65	44	23	23	0	300	50	500	0	150	0	123	50	24	33	0	100	100	-	167	

■職員講座

時期	開講講座名		対象	キャンパス	授業時間	開講期間	受講人数
春	キャンパス英会話	週1回月曜日/火曜日クラス	職員	白山	40分×10回	5/16～7/25※7/18休講	3
夏季		5日間連続クラス	職員	白山	40分×5日間	9/5～9/9	1
秋		週1回火曜日クラス	職員	白山	40分×10回	11/1～1/17※12/27、1/3休講	2
冬		週1回火曜日クラス	職員	白山	40分×8回	1/24～3/14	2
春季		5日間連続クラス	職員	白山	①40分×4日間 ②40分×5日間	-	0
夏季	目的別研修	ビジネス英文メール	職員	白山	60分×1回×3クラス	2022/9/13～15	18
						2022年度	26
						2021年度	7
						2020年度	5
						2019年度	61
						前年度比	371.4%

■附属校生向け講座〔【Toyo Achieve English】英語講座〕

時期	開講講座名		対象	授業時間	開講期間	クラス	受講人数	
冬	高大連携アチーブ イングリッシュ	TOEIC・英会話講座	京北高校 3年生	90分×10回	2023/1/16～2/22 ※補講期間含む	29クラス	114	
冬	高大連携アチーブ イングリッシュ	TOEIC講座	牛久高校 3年生	50分×2コマ×5回	2023/1/30～2/3	12クラス	269	
		英会話講座	牛久高校 3年生	40分×5回	2023/1/30～2/3	12クラス	45	
							2022年度	428
							2021年度	457
							2020年度	463
							2019年度	721
							前年度比	93.7%

■学外講座〔【Toyo Achieve English】英語講座(大学・附属校内実施プログラム)〕

時期	開講講座名		募集対象	授業時間	受講人数				
					春	夏	秋	冬	合計
通年	ジュニア講座	マンツーマン	幼稚園児～高校生	40分×10回	20	23	19	21	83
		グループ	幼稚園児～高校生	40分×10回	10	18	13	11	52
	一般英会話	マンツーマン	一般受講者	40分×10回	15	13	6	11	45
		グループ	一般受講者	40分×10回	0	1	1	1	3
	合計				45	55	39	44	183

時期	開講講座名	募集対象	授業時間	受講人数
夏季	Summer School at Toyo!! (小学生)	小学生	180分×5回	0
	Summer School at Toyo!! (中学生以上)	中学生以上	180分×5回	1
	英語ガイド講座	高校生、大学生、一般	180分×5回	3
	英字新聞から学ぶ様々な英語表現	大学生、一般	120分×5回	1
	ジュニア講座(小学生)	小学生	100分×5回	5
	ジュニア講座(中学生)	中学生、高校生	150分×5回	2
	Hello English at Toyo!	未就学児～小学3年生	120分×1回	16
	ビジネス英会話教室	大学生、一般	90分×5回	1
春季	Daily English Conversation (5回)	中学生～シニア	30分×5回	4
	Daily English Conversation (10回)	中学生～シニア	30分×10回	3
	Daily English Conversation (15回)	中学生～シニア	30分×15回	3
	Daily English Conversation (20回)	中学生～シニア	30分×20回	3
	大学入学前準備講座	2023年度東洋大学入学予定者	90分×5回	12
	英検面接対策講座(3級・準2級・2級)	第3回英検の2次試験受験予定者	60分×5回	2
	Fun English for Kids	小学生	120分×5回	19
	Hello English at Toyo!	未就学児～小学3年生	120分×5回	17
	おもてなし英会話	中高生～シニア	120分×5回	0
	一日イベント[ハロウィン]	幼稚園児～小学生	90分	45
秋	一日イベント[クリスマス]	幼稚園児～小学生	90分	55
合計				192

時期	開講講座名		募集対象	授業時間	開講期間	クラス	受講人数
通年	GLOBALVIEWPOINT講座～Term1	夏	一般受講者	90分×8回	2022/6/2～7/21	上級	3
	GLOBALVIEWPOINT講座～Term2	秋	一般受講者	90分×8回	2022/9/29～11/24	上級	3
	GLOBALVIEWPOINT講座～Term3	冬	一般受講者	90分×8回	2023/1/26～3/23	上級	3
合計							9

2022年度	384
2021年度	349
2020年度	169
2019年度	391
前年度比	109.7%

■学外講座〔【Toyo Achieve English】英語講座(講師派遣)〕

時期	開講講座名		募集対象	授業時間	開講期間	クラス	受講人数
通年	文京福祉センター 英会話教室	4月期(4～7月)	60歳以上 文京区民	90分×14回	2022/4/11～7/25	初級・中級	16
		8月期(8～11月)	60歳以上 文京区民	90分×14回	2022/8/1～11/21	Conversation・ Discussion	19
		12月期(12～3月)	60歳以上 文京区民	90分×13回	2022/12/5～ 2023/3/20	Conversation・ Discussion	18
通年	文京アカデミア講座 (前期)	コミュニケーション 英会話	一般	90分×8回	2022/5/18～7/6	中級	12
	文京アカデミア講座 (後期Ⅱ)	ステップアップ 英会話	一般	90分×8回	2023/1/19～3/16	中級	15
夏	リアン文京	初級英会話	障がい者対象	90分×1回	2022/9/30	初級	9
秋	リアン文京	初級英会話	障がい者対象	90分×1回	2022/10/21	初級	7
夏	赤羽台桐ヶ丘	初級英会話	桐ヶ丘地区住民	120分×1回	2022/7/16	初級	20
夏	板倉ポスタービューイング	-	食環境科学研究科学生	60分×1回	2022/9/13(火)	-	4
						2022年度	120
						2021年度	81
						2020年度	71
						2019年度	103
						前年度比	148.1%

■英語資格試験(国際教育センター主催分)

・試験種類、受験料等

資格試験名	試験形態	年間実施回数	会場	受験料	
				学生負担	一般受験時
TOEIC®L&R IP	対面	4回	学内 (白山・川越・赤羽台キャンパス)	4,000円	7,810円
TOEFL®ITP	対面	6回	学内 (白山キャンパス)	3,360円(※1)	-
IELTS™	対面	3回	学内 (白山キャンパス)	25,380円(※2)	25,380円(※2)

※1 団体受験時の受験料

※2 受験料補助にて15,380円を補助

・受験者数

資格試験名	受験地	受験者数(単位:人)																										計						
		学部生													大学院生																			
		文	経済	経営	法	社会	国際地域	国際	国際観光	情報連携	総合情報	理工	ライフデザイン	生命科	食環境科	文	社会	法	経営	理工	経済	国際地域	国際	国際観光	生命科	福祉社会デザイン	社会福祉		ライフデザイン	総合情報	食環境科	情報連携	その他	
TOEIC L&R IP	学内	148	147	141	99	224		268	165	24	27	86	29	20	17	3				8	1		1							1	1	1	4	1,415
TOEFL ITP	学内	24	13	13	5	23		67	7	6	1	5	1	2	1	1														1				170
IELTS	学内	6	2	6		9		43	6			2																					74	

各種海外留学奨学金

■JASSO 海外留学支援制度奨学金

年度	枠	タイプ	プログラム名	配分額(円)	奨学金支給割当人数					奨学金支給割当人数					実績額(円)
					人数	指定	甲	乙	丙	人数	指定	甲	乙	丙	
2018	短期研修・研究型	協定派遣 タイプA	国際教育センター海外インターンシップ・ボランティア	5,640,000	70	8	45	16	1	71	8	45	16	2	4,880,000
			グローバル問題発見型のフィールドスタディープログラム:エビをめぐる日本とインドネシアの国際関係	1,400,000	20	0	0	20	0	20	0	0	20	0	560,000
			UH Manoa-Toyo: Global Study Program- Exploring the Economic Environment in Hawaii	880,000	11	0	11	0	0	11	0	11	0	0	480,000
			国際学部 海外英語実習	3,840,000	24	0	24	0	0	48	0	48	0	0	3,080,000
		協定派遣 タイプB	東洋大学経済学部中国経済・社会研修	720,000	12	0	0	0	12	12	0	0	0	12	460,000
			国際地域学部 Student-led Field Study	3,220,000	23	0	0	23	0	46	0	0	46	0	1,340,000
			海外インターンシッププログラム	2,380,000	23	0	0	12	11	36	0	0	22	14	350,000
			長期インターンシッププログラム	200,000	2	2	0	0	0	2	2	0	0	0	辞退
			ラオス南部コーヒー生産農村への課題解決型スタディツアープログラム	840,000	12	0	0	12	0	12	0	0	12	0	840,000
			東洋大学生命科学部海外英語研修 in Canada	1,200,000	15	0	15	0	0	15	0	15	0	0	960,000
	重点政策枠	協定派遣	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化牽引型) 東洋大学Study Abroadプログラム	3,200,000	4	0	3	1	0	40	0	40	0	0	1,340,000
		協定受入	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化牽引型) 東洋大学交換留学プログラム	3,200,000	10	0	6	2	2	40	0	24	8	8	2,560,000
	UMAP枠	協定派遣	USCO(UMAP学生交流オンラインシステム)プログラム②	770,000	2	0	0	2	0	11	0	0	11	0	700,000
			USCO(UMAP学生交流オンラインシステム)プログラム③	140,000	2	0	0	2	0	2	0	0	2	0	辞退
		協定受入	USCO(UMAP学生交流オンラインシステム)プログラム②	2,400,000	6	0	0	5	1	30	0	0	25	5	1,600,000
			USCO(UMAP学生交流オンラインシステム)プログラム③	480,000	6	0	6	0	0	6	0	6	0	0	480,000
2019	短期研修・研究型	協定派遣 タイプA	EU諸国における経済の実態探求並びに異文化理解プログラム	1,920,000	24	0	24	0	0	24	0	24	0	0	辞退
			学生主体のプロジェクト・フィールドワークにもとづく、「地域づくり」人材育成研修	7,600,000	100	0	70	20	10	100	0	70	20	10	1,030,000
			ベトナム現地企業におけるアプリケーション開発に係わるインターンシッププログラム	240,000	4	0	0	0	4	4	0	0	0	4	140,000
			国際観光光学研修	2,200,000	30	0	10	20	0	30	0	10	20	0	800,000
			長期留学・ボランティアへのステップアップ型語学留学プログラム	31,150,000	98	3	65	30	0	398	18	275	105	0	21,940,000
			ワシントンセンターインターンシップ、国連ユースボランティア研修プログラム	2,020,000	5	3	0	1	1	23	15	0	4	4	辞退
			ラオス南部コーヒー生産農村への課題解決型スタディツアープログラム	1,750,000	25	0	0	25	0	25	0	0	25	0	1,120,000
		協定派遣 タイプB	東洋大学経済学部中国経済・社会研修	720,000	12	0	0	0	12	12	0	0	0	12	240,000
			国際地域学部 Student-led Field Study	1,610,000	23	0	0	23	0	23	0	0	23	0	1,610,000
			海外インターンシッププログラム	1,270,000	16	0	0	7	9	20	0	0	7	13	辞退
2019	短期研修・研究型	協定派遣 タイプB	国際教育センター海外インターンシップ・ボランティアプログラム	4,940,000	45	5	30	10	0	63	5	38	20	0	2,110,000
			グローバル問題発見型のフィールドスタディープログラム:エビをめぐる日本とインドネシアの国際関係	910,000	13	0	0	13	0	13	0	0	13	0	490,000
			東洋大学生命科学部海外英語研修in Canada	1,200,000	15	0	15	0	0	15	0	15	0	0	辞退
	重点政策枠	協定派遣	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化牽引型) 東洋大学Study Abroadプログラム	3,150,000	8	0	7	1	0	40	0	35	5	0	1,900,000
		協定受入	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化牽引型) 東洋大学交換留学プログラム	3,200,000	10	0	6	2	2	40	0	24	8	8	3,200,000
	UMAP枠	協定派遣	USCO(UMAP学生交流オンラインシステム)プログラム③	4,960,000	8	0	0	5	3	76	0	0	40	36	2,940,000
			USCO(UMAP学生交流オンラインシステム)プログラム④	180,000	3	0	0	0	3	3	0	0	0	3	120,000
			USCO(UMAP学生交流オンラインシステム)プログラム⑤	1,600,000	3	0	0	1	2	26	0	0	4	22	330,000
		協定受入	USCO(UMAP学生交流オンラインシステム)プログラム①	1,200,000	3	0	3	0	0	15	0	15	0	0	1,200,000
			USCO(UMAP学生交流オンラインシステム)プログラム③	800,000	1	0	1	0	0	10	0	10	0	0	400,000
			USCO(UMAP学生交流オンラインシステム)プログラム④	160,000	2	0	2	0	0	2	0	2	0	0	辞退
2020	短期研修・研究型	協定派遣 タイプA	ベトナム現地企業におけるアプリケーション開発にかかわるインターンシッププログラム	280,000	4	0	0	4	0	4	0	0	4	0	0
			長期海外インターンシップ	1,200,000	3	3	0	0	0	12	12	0	0	0	0

年度	枠	タイプ	プログラム名	配分額(円)	奨学金支給割当人数					奨学金支給割当人数					実績額(円)	
					人数	指定	甲	乙	丙	人数	指定	甲	乙	丙		
2020			国際学部・国際地域学部 国際地域学科 Student-led Field Study	2,800,000	40	0	0	40	0	40	0	0	40	0	辞退	
			法学部ドイツ語学研修(ミュンヘン・バイロイト)	1,440,000	18	0	18	0	0	18	0	18	0	0	辞退	
	協定派遣 タイプB		EU諸国における経済の実態探求並びに異文化理解プログラム	1,360,000	17	0	17	0	0	17	0	17	0	0	0	
			学生主体のプロジェクト・フィールドワークにもとづく、「地域づくり」人材育成研修	4,550,000	70	0	0	35	35	70	0	0	35	35	0	
			国際観光学研修	1,680,000	21	0	21	0	0	21	0	21	0	0	0	
			長期留学・ボランティアへのステップアップ型語学留学プログラム	23,150,000	68	2	45	21	0	296	14	201	81	0	0	
			ラオス南部コーヒー生産農村への課題解決型スタディツアープログラム	1,260,000	18	0	0	18	0	18	0	0	18	0	0	
			国際教育センター海外インターンシップ・ボランティアプログラム	2,430,000	31	0	26	5	0	31	0	26	5	0	0	
			グローバル問題発見型のフィールドスタディプログラム:エビをめぐる日本とインドネシアの国際関係	910,000	13	0	0	13	0	13	0	0	13	0	0	
	重点政策枠	協定派遣	スーパーグローバル大学創成支援事業タイプB	4,540,000	8	0	6	2	0	59	0	41	18	0	辞退	
		協定受入	スーパーグローバル大学創成支援事業タイプB	5,600,000	14	0	8	3	3	70	0	42	16	12	辞退	
	UMAP枠	協定派遣	USCO(UMAP学生交流オンラインシステム)プログラム	2,230,000	5	0	0	3	2	34	0	0	19	15	辞退	
		協定受入	USCO(UMAP学生交流オンラインシステム)プログラム	960,000	3	0	0	1	2	12	0	0	4	8	辞退	
				USCO(UMAP学生交流オンラインシステム)プログラム	2,880,000	6	0	0	6	0	36	0	0	36	0	辞退
2021	短期研修・ 研究型	協定派遣 タイプA	留学前・中・後 一貫型語学力向上プログラム	30,960,000	66	4	42	20	0	396	24	252	120	0	0	
		協定派遣 タイプB	国際教育センター海外インターンシップ・ボランティアプログラム	2,000,000	25	0	25	0	0	25	0	25	0	0	辞退	
			学生主体のプロジェクト・フィールドワークにもとづく、「地域づくり」人材育成研修	4,550,000	70	0	0	35	35	70	0	0	35	35	0	
			国際観光学研修	1,120,000	14	0	14	0	0	14	0	14	0	0	0	
			長期海外インターンシップ	1,200,000	3	3	0	0	0	12	12	0	0	0	0	
			グローバル問題発見型のフィールドスタディプログラム:エビをめぐる日本とインドネシアの国際関係	910,000	13	0	0	13	0	13	0	0	13	0	辞退	
			長期留学・ボランティアへのステップアップ型語学留学プログラム	23,150,000	68	2	45	21	0	296	14	201	81	0	0	
			ラオス南部コーヒー生産農村への課題解決型スタディツアープログラム	1,050,000	15	0	0	15	0	15	0	0	15	0	0	
			EU諸国における経済の実態探求並びに異文化理解プログラム	960,000	12	0	12	0	0	12	0	12	0	0	0	
			ベトナム現地企業におけるアプリケーション開発に係わるインターンシッププログラム	210,000	3	0	0	3	0	3	0	0	3	0	0	
	重点政策枠	協定派遣	スーパーグローバル大学創成支援事業タイプB	4,540,000	8	0	5	3	0	60	0	34	26	0	70,000	
		協定受入	スーパーグローバル大学創成支援事業タイプB	3,200,000	6	0	3	2	1	40	0	21	14	5	辞退	
	2022	短期研修・ 研究型	協定派遣 タイプA	長期留学特派員プログラム (現地情報発信・広報活動)	28,800,000	33	3	10	10	10	396	36	120	120	120	9,870,000
			協定受入 タイプA	日韓の架け橋育成！日韓3+1 高度外国人財育成プログラム	1,680,000	3	0	0	3	0	21	0	0	21	0	720,000
長期海外インターンシップ			1,200,000	3	3	0	0	0	12	12	0	0	0	350,000		
協定派遣 タイプB			国際観光学研修	800,000	10	0	10	0	0	10	0	10	0	0	700,000	
			ラオス南部コーヒー生産農村への課題解決型スタディツアープログラム	770,000	11	0	0	11	0	11	0	0	11	0	辞退	
短期研修・ 研究型		協定派遣 タイプB	EU諸国における経済の実態探求並びに異文化理解プログラム	720,000	9	0	9	0	0	9	0	9	0	0	辞退	
			ベトナム現地企業におけるアプリケーション開発に係わるインターンシッププログラム	210,000	3	0	0	3	0	3	0	0	3	0	0	
			留学前・中・後 一貫型語学力向上プログラム	22,980,000	47	4	42	1	0	282	24	252	6	0	15,850,000	
			長期留学・ボランティアへのステップアップ型語学留学プログラム	17,000,000	48	2	45	1	0	209	14	195	0	0	3,620,000	
			学生主体のプロジェクト・フィールドワークにもとづく、「地域づくり」人材育成研修	3,410,000	49	0	0	47	2	49	0	0	47	2	490,000	
重点政策枠		協定派遣	スーパーグローバル大学創成支援事業タイプB	7,580,000	14	0	8	6	0	100	0	58	42	0	4,080,000	
			大学の世界展開力強化事業 (令和4年度[インド・太平洋])	5,550,000	52	0	26	26	0	74	0	37	37	0	1,750,000	
		協定受入	スーパーグローバル大学創成支援事業タイプB	8,000,000	13	0	6	4	3	100	0	44	30	26	5,760,000	
	大学の世界展開力強化事業 (令和4年度[インド・太平洋])		2,880,000	7	0	0	7	0	36	0	0	36	0	1,280,000		

●海外留学支援制度(協定派遣):指定都市 100,000 円,甲地域 80,000 円,乙地域 70,000 円,丙地域 60,000 円

●海外留学支援制度(協定受入):全地域一律 80,000 円

※2022 年度の派遣学生については、短期研修・研究型(タイプ A)と重点政策枠は 2023 年度中の継続支給があるため、実績値としては上記の金額となる。

■官民協働海外留学支援制度トビタテ留学 JAPAN～日本代表プログラム～(第1期～第14期)

年度	期	プログラムタイプ	奨学金支給割当人数					その他(留学準備金等)	実績額(円)
			人数	指定	甲	乙	丙		
2014	第1期	実践活動	11	0	0	11	0	授業料:291,000円、渡航費:100,000円	1,931,000
		交換留学+実践活動	12	0	9	0	3	渡航費:200,000円	2,000,000
		実践活動(国連ユースボランティア)	5	0	0	5	0	受入先負担のため支給なし	700,000
2015	第3期	交換留学+実践活動	12	0	12	0	0	渡航費:200,000円	2,120,000
		交換留学+実践活動	12	0	9	0	3	渡航費:200,000円	2,000,000
		実践活動	12	0	0	12	0	渡航費:100,000円	2,020,000
2016	第4期	交換留学+実践活動	11	0	11	0	0	渡航費:200,000円+授業料:300,000円+事後研修参加費:20,000円	1,780,000
		実践活動	10	0	0	10	0	渡航費:100,000円	1,500,000
		実践活動	11	0	0	11	0	渡航費:100,000円	1,640,000
	第5期	実践活動	4	0	0	0	4	渡航費:100,000円+授業料:207,000円	787,000
2017	第6期	実践活動	3	0	3	0	0	留学準備金:250,000円	730,000
		交換留学+実践活動	12	0	8	0	4	留学準備金:250,000円	2,010,000
	第7期	交換留学+実践活動	14	0	8	0	6	留学準備金:250,000円	2,250,000
2018	第8期	実践活動	9	0	0	0	9	留学準備金:250,000円	1,330,000
		実践活動	12	0	0	0	12	留学準備金:150,000円	1,590,000
		交換留学+実践活動	12	0	9	0	3	留学準備金:250,000円	2,050,000
		実践活動	10	0	0	0	10	留学準備金:150,000円	1,350,000
	第9期	交換留学+実践活動	14	0	8	0	6	留学準備金:250,000円	2,250,000
		休学留学+実践活動	11	0	9	0	2	留学準備金:250,000円+授業料:300,000円	2,230,000
2019	第10期	交換留学+実践活動	7	0	7	0	0	留学準備金:250,000円	1,370,000
		実践活動	7	0	0	0	7	留学準備金:150,000円	990,000
	第11期	実践活動	12	0	0	0	12	留学準備金:150,000円	1,590,000
		実践活動	7	0	0	0	7	留学準備金:150,000円	990,000
		実践活動	5	0	0	0	5	留学準備金:150,000円	750,000
		交換留学+実践活動	13	0	11	0	2	留学準備金:250,000円	2,250,000
		語学留学+実践活動	12	0	0	0	12	留学準備金:250,000円	1,690,000
2021	第14期	語学留学+実践活動	10	0	0	0	10	渡航準備金:150,000円	1,350,000
		長期留学+実践活動	11	0	11	0	0	渡航準備金:250,000円	910,000
		語学留学+実践活動	11	0	11	0	0	渡航準備金:250,000円	2,010,000
		GINOS長期留学+実践活動	9	0	9	0	0	渡航準備金:250,000円	1,690,000

●トビタテ留学JAPAN 日本代表プログラム:

- ・日本学生支援機構第二種奨学金に掲げる家計基準を満たす学生
指定都市 200,000 円,甲地域 160,000 円,乙地域 140,000 円,丙地域 120,000 円
- ・日本学生支援機構第二種奨学金に掲げる家計基準を超える学生(第4期より支援開始)
2016年度(第4期・第5期)留学先地域を問わず一律 100,000 円
2017年度(第6期)以降 〃 60,000 円

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2019年度第11期は早期帰国となり、2020年度は第12期が留学中止、第13期は採用中止となった。

■海外留学促進奨学金支給実績

2022 年度分更新(年度内支給予定額含む)

年度	受給者数 / 金額	チャレンジ型	アクティブ型	グローバルリーダー型	トップ大学型	計
2018	受給者数	531名	121名	8名	—	658名
	受給金額	66,241,573円	43,640,000円	9,300,000円	—	119,181,573円
2019	受給者数	428名	127名	8名	—	563名
	受給金額	54,661,864円	44,890,000円	9,900,000円	—	109,451,864円
2020	受給者数	50名	0名	0名	—	50名
	受給金額	5,950,250円	0円	0円	—	5,950,250円
2021	受給者数	156名	0名	10名	—	166名
	受給金額	17,258,296円	0円	8,900,000円	—	26,158,296円
2022	受給者数	294名	84名	8名	1名	387名
	受給金額	45,213,149円	32,480,000円	9,600,000円	3,000,000円	90,293,149円

※支給年度ベース(申請年度ベースではない)

■長期留学(旧・交換留学、旧・認定留学)及び協定校語学留学生派遣に係る奨学金支給実績

年度	支給者数 支給金額	交換留学奨学金(※1)			認定留学奨学金			協定校語学留学奨学金			計
		春出発	秋出発 (※2)	計	春出発	秋出発 (※2)	計	春学期	秋学期	計	
2018	支給者数	18名	62名	80名	13名	12名	25名	71名	69名	140名	245名
	支給金額	10,233,000円	37,901,000円	48,134,000円	9,150,000円	6,900,000円	16,050,000円	12,167,500円	12,120,625円	24,288,125円	88,472,125円
2019	支給者数	14名	82名	96名	10名	7名	17名	89名	71名	160名	273名
	支給金額	9,600,000円	41,043,500円	50,643,500円	7,370,000円	3,073,000円	10,443,000円	16,372,500円	13,085,000円	29,457,500円	90,544,000円
2020	支給者数	24名	65名	89名	4名	3名	7名	0名	0名	0名	96名
	支給金額	2,428,000円	12,410,000円	14,838,000円	673,000円	538,000円	1,211,000円	0円	0円	0円	16,049,000円
2021	支給者数	0名	66名	66名(※3)	0名	2名	2名	0名	0名	0名	68名
	支給金額	0円	23,943,500円	23,943,500円(※3)	0円	745,000円	745,000円	0円	0円	0円	24,688,500円
2022	支給者数	12名	126名	138名	3名	7名	148名	28名	47名	75名	223名
	支給金額	7,840,000円	46,414,000円	54,254,000円	2,200,000円	2,520,000円	4,720,000円	5,176,750円	8,587,500円	13,764,250円	72,738,250円

※1 部局間協定に基づく交換留学への奨学金を含む。

※2 1年間留学の場合、支給額の半額は留学終了後(留学開始年度の翌年度)に給付。そのため、同支給額は給付年度に計上。

※3 新型コロナウイルス感染症により2022年度春学期に留学を延期した学生の渡航前給付分(6名、2,270,000円)を含む。

外国人留学生オンライン利用入試 志願者数等

■タイプ A 入試実施状況

(人)

		志願者数				合格者数				入学手続者数			
		イノベ	地域	情報連携	計	イノベ	地域	情報連携	計	イノベ	地域	情報連携	計
4月入学	2017年度入学	26	6	21	53	23	3	16	42	22	3	13	38
	2018年度入学	73	13	37	123	31	7	16	54	30	7	16	53
	2019年度入学	63	11	38	112	16	11	12	39	15	10	12	37
	2020年度入学	55	9	40	104	15	4	8	27	15	4	7	26
	2021年度入学	51	10	21	82	17	6	7	30	17	6	5	28
	2022年度入学	11	2	1	14	6	2	1	9	4	1	1	6
	2023年度入学 (9月入試実施)	6	1		7	2	0		2	2	0		2
	2023年度入学 (11月入試実施)	11	2		13	6	0		6	3	0		3
	2023年度 計	17	3		20	8	0		8	5	0		5
9月入学	2017年度入学												
	2018年度入学	74		43	117	15		5	20	14		5	19
	2019年度入学	88		40	128	15		8	23	15		6	21
	2020年度入学	78		34	112	16		5	21	14		5	19
	2021年度入学	7		4	11	4		0	4	3		0	3
	2022年度入学	12		0	12	7		0	7	4		0	4
	2023年度入学 (4月入試実施)	18			18	11			11	5			5
年間合計	2017年度入学	26	6	21	53	23	3	16	42	22	3	13	38
	2018年度入学	147	13	80	240	46	7	21	74	44	7	21	72
	2019年度入学	151	11	78	240	31	11	20	62	30	10	18	58
	2020年度入学	133	9	74	216	31	4	13	48	29	4	12	45
	2021年度入学	58	10	25	93	21	6	7	34	20	6	5	31
	2022年度入学	23	2	1	26	13	2	1	16	8	1	1	10
	2023年度入学	35	3		38	19	0		19	10	0		10

※2017年～2021年度4月入学までは東洋トップグローバル奨学金 A を支給していた。

※2022年度入学までは「外国人留学生渡日前入試」として実施。

※2023年度入学入試より情報連携学部はタイプ B 入試を実施。

■タイプ B 入試実施状況

2017～2021年度実績

(人)

	志願者数													受験者数													合格者数																	
	文		社会		国際	国際観光			理工			総合情報	生命科学	計	文		社会		国際	国際観光			理工			総合情報	生命科学	計	文		社会		国際	国際観光			理工			総合情報	生命科学	計		
	日本文学文化	社会文化	国際社会	社会福祉	国際地域	国際観光	機械工	生体医工	電機電子	応用化学	都市環境	建築	総合情報	生命科学	日本文学文化	社会文化	国際社会	社会福祉	国際地域	国際観光	機械工	生体医工	電機電子	応用化学	都市環境	建築	総合情報	生命科学	日本文学文化	社会文化	国際社会	社会福祉	国際地域	国際観光	機械工	生体医工	電機電子	応用化学	都市環境	建築	総合情報	生命科学	計	
2017年度入学	1	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	6	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	5	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
2018年度入学	3	5	4	0	7	9	0	1	0	0	0	0	0	29	3	4	4	0	7	7	0	1	0	0	0	0	0	26	0	1	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	5	
2019年度入学	0	14	7	9	13	27	1	0	1	0	0	1	2	176	0	14	7	9	13	27	1	0	1	0	0	1	2	176	0	1	1	3	1	8	0	0	1	0	0	0	2	0	17	
2020年度入学	0	12	6	9	11	44	1	2	0	0	2	4	2	194	0	12	6	9	11	44	1	2	0	0	2	4	2	194	0	2	1	2	2	6	0	0	0	0	1	2	2	0	18	
2021年度入学	0	8	16	6	15	27	1	1	1	1	1	1	11	291	0	8	16	6	15	27	1	1	1	0	1	1	8	287	0	2	6	3	4	13	0	0	0	0	0	1	5	1	35	

※2020年度以前は社会文化システム学科

※2017年～2021年度入学生までは東洋トップグローバル奨学金 B を支給していた。

2022 年度実績 (人)

学部	経済	経営			社会					国際	国際 観光	理工						総合 情報	生命 科学	食環境科		計
学科等	国際 経済	国際 経済	経営 マーケ ティング	会計 F	社会 社会	社会 福祉	メディア C	社会 心理	国際 地域	国際 観光	国際 観光	機械工	生体 医工	電気 電子	応用 化学	都市 環境	建築	総合 情報	生命 科学	フードサ イエンス	スポーツ 食品機能	
志願者数	29	20	8	1	6	7	0	6	3	10	40	4	0	0	2	1	0	11	0	3	2	153
受験者数	29	20	8	1	6	7	0	6	3	10	40	3	0	0	2	1	0	10	0	3	2	151
合格者数	10	6	3	1	2	4	0	3	1	3	13	1	0	0	1	1	0	6	0	3	1	59

※2022 年度入学までは「外国人留学生渡日前入試」として実施。

2023 年度実績 (人)

学部	文学	経済	経営			社会			国際	国際 観光	情報 連携	福祉 社会	健康スポーツ	理工						総合 情報	生命 科学	食環 境科	計	
学科等	国際 文化 C	国際 経済	経営 マーケ ティン グ	会計 F	国際 社会	メディ ア C	社会 心理	国際 地域	国際 観光	情報 連携	福祉 社会	健康 スポ	栄養	機械 工	生体 医工	電気 電子	応用 化学	都市 環境	建築	総合 情報	生命 科学	フーズ サイエ ンス		
志願者数	3	5	7	6	1	6	4	2	2	9	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	4	0	1	53
受験者数	3	5	7	6	1	2	4	2	1	8	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	4	0	1	47
合格者数	2	3	6	5	1	1	2	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	26

■志願者 国別内訳

タイプ A 2023 年 4 月入学者対象入試 (人)

	イノベ	地域	計
中国	14	3	17
アメリカ	1	0	1
韓国	1	0	1
フランス	1	0	1
4カ国	17	3	20

タイプ A 2023 年 9 月入学者対象入試 (人)

	イノベ	情報連携	計
中国	9	0	9
ベトナム	5	0	5
インドネシア	1	0	1
タイ	1	0	1
タジキスタン	1	0	1
香港	1	0	1
6カ国	18	0	18

タイプ B 2023 年 4 月入学者対象入試 (人)

学部	文学	経済	経営			社会			国際	国際 観光	情報 連携	福祉 社会	健康スポーツ		理工						総合 情報	生命 科学	食環 境科	計
学科等	国際 文化 C	国際 経済	経営	マーケ ティング	会計 F	国際 社会	メディ ア C	社会 心理	国際 地域	国際 観光	情報 連携	社会 福祉	健康 スポ	栄養	機械 工	生体 医工	電気 電子	応用 化学	都市 環境	建築	総合 情報	生命 科学	フードサイ エンス	
韓国	3	3	6	6	1	4	2	0	2	7	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	4	0	0	40
中国	0	2	1	0	0	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10
香港	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
モンゴル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
合計	3	5	7	6	1	6	4	2	2	9	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	4	0	1	53

海外留学フェアおよびリクルーティング実績

	日程	実施形態	対象国・地域	目的	形態	担当者	英語 トラック	日本語 トラック
1	7/11	オンライン	中国	日本留学フェア (GES 主催)	ライブ説明会	魏	○	○
2	7/30	オンライン	全世界	日本留学フェア (JASSO 主催)	ライブ説明会	堀	○	○
3	8/23	オンライン	南アジア	日本留学フェア (東京大学主催)	ライブ説明会	堀	○	
4	8/26	オンライン	南米	高校生向けミニ留学フェア (筑波大学主催)	ライブ説明会	堀	○	
5	8/29	オンライン	ミャンマー	日本留学フェア (岡山大学主催)	ライブ説明会	堀	○	
6	9/2, 3, 4	対面	タイ	日本留学フェア (Jeducation 主催)	現地開催	山本・会田	○	
7	9/3	オンライン	サブサハラアフリカ	日本留学フェア (北海道大学主催)	ライブ相談会	堀	○	
8	9/5	オンライン	中東・北アフリカ	日本留学フェア (九州大学主催)	ライブ相談会	堀	○	
9	9/21	オンライン	バングラデシュ	日本留学フェア (東京大学主催)	ライブ説明会	堀	○	
10	10/17	オンライン	エチオピア	高校での大学説明会	ライブ説明会	ピクター	○	
11	10/21	オンライン	ウズベキスタン	日本留学フェア (名古屋大学主催)	ライブ説明会	堀	○	
12	11/3	オンライン	ケニア	高校での大学説明会	ライブ説明会	堀	○	
13	11/17	オンライン	ルワンダ	高校での大学説明会	ライブ説明会	堀	○	
14	11/19	オンライン	全世界	日本留学フェア (慶応大学主催)	ライブ説明会	堀	○	
15	12/2	オンライン	ケニア	高校での大学説明会	ライブ説明会	堀	○	
16	12/10	オンライン	ベトナム	大学説明会 (ベトナムオフィス主催)	ライブ説明会	堀	○	
17	12/16	オンライン	中国	日本留学フェア (GES 主催)	ライブ説明会	魏	○	○

国際教育センター運営委員会（審議事項）

【第1回】メール会議

2022年4月8日(金)～9日(土) 12:00

1. 海外大学との協定締結について

【第2回】2022年4月18日(月) 16:30

1. 国際教育センター教員資格審査委員会の改選案について
2. 2022年度文部科学省「大学の世界展開力強化事業(インド太平洋地域等)」への申請について
3. 海外大学との協定更新について
4. 2022年度長期留学(秋出発)第Ⅲ期募集 派遣候補者について
5. 国際教育センター主催等 海外派遣プログラムの期間変更・辞退・留学中止について(4月分)
6. 2023年度協定校交換研究員派遣候補者の募集について
7. 外国人研究員の受入について
8. 2022年度第Ⅱ期交換留学生の受入及び受入学部について
9. 2022年度東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」対象プログラムの選定について

【第3回】メール会議

2022年4月28日(木)～29日(金) 17:00

1. 2022年度第Ⅰ期交換留学生(ウクライナ)の受入および受入学部について

【第4回】メール会議

2022年5月12日(木)～13日(金) 13:00

1. 東洋大学におけるウクライナからの研究員受入要領の制定について

【第5回】2022年5月23日(月) 16:30

1. 国際教育センター教員人事について
2. 海外大学との協定更新について
3. 日本学生支援機構(JASSO)2022年度海外留学支援制度 国際教育センター採択プログラムの奨学金受給者選抜基準について

4. 東洋大学海外留学促進奨学金「トップ大学型」および「グローバルリーダー型」の選考基準について
5. 2022年度東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」対象プログラムの選定について
6. 外国人研究員の受入について
7. ウクライナからの研究員受入について
8. ウクライナ学生等支援寄付金取扱要領の制定について

【第6回】メール会議

2022年5月31日(火)～6月1日(水) 10:00

1. ウクライナからの研究員受入について

【第7回】メール会議

2022年6月9日(木)～6月11日(土) 10:00

1. 2022年度国費外国人留学生(スーパーグローバル大学創成支援事業枠)の推薦について(10月開始分)

【第8回】2022年6月20日(月) 16:30

1. 国際教育センター教員人事について
2. 海外大学との協定締結・更新について
3. 国際教育センター紀要の刊行について
4. 2022年度東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」対象プログラムの選定について
5. 東洋大学海外留学促進奨学金「トップ大学型」「グローバルリーダー型」受給者の選抜(案)について
6. 国際教育センター 2022年度夏季海外インターンシップ・ボランティアプログラム実施概要ならびに派遣者の決定について
7. 交換留学生の受入要件および履修要件の設定について
8. 2023年度交換研究員(派遣)の選考について
9. ウクライナからの研究員受入について
10. OEP 富士山フィールドワークの実施について

【第9回】メール会議**2022年6月27日(月)～6月29日(水) 15:00**

1. 国際教育センター教員人事について
2. 国際教育センター紀要規程案について
3. 2022年度自己点検・評価報告書について
4. 特例措置による海外派遣学生について

【第10回】2022年7月18日(月) 16:30

1. 海外大学との協定締結・更新について
2. 2022年度東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」対象プログラムの選定について
3. 2022年度夏季短期プログラム参加者について
4. 2022年度国連ユースボランティア派遣者について
5. 2022年秋季学期・2023年春季学期 休学留学申請者および派遣可否について
6. 国際教育センター主催等 海外派遣プログラムの留学先変更・辞退・期間変更について(7月分)
7. 日本学生支援機構(JASSO)2022年度海外留学支援制度 申請プログラムの追加採択および奨学金受給者選抜基準について
8. 2022年度英語スピーチコンテストの実施について
9. 2022年度日本語プレゼンテーションコンテストの実施について
10. 国際教育センター教員人事について
11. 用途指定型寄付金(ウクライナ学生等受入支援)の使途について
12. 「ウクライナ学生等支援寄付金取扱要領」の改正について

【第11回】臨時会議**2022年8月5日(月) 14:00**

1. 国際教育センター教員人事について
2. 特例措置による海外派遣学生について
3. 2022年秋季学期 休学留学申請者および派遣可否について
4. 交換留学生の履修要件の設定と受入交換留学生教育指導要領の一部改正について
5. 東洋大学国際交流宿舍利用細則の一部改正について

【第12回】メール会議**2022年8月29日(月)～8月30日(火) 14:00**

1. 特例措置による海外派遣学生について
2. 2023年度春出発(第I期募集)長期留学の派遣候補者について(ISEPのみ)

【第13回】メール会議**2022年9月16日(金)～9月20日(火) 14:00**

1. 2023年度国際教育センター予算要求(案)について

【第14回】2022年9月26日(月) 16:30

1. 2022年度秋学期 NEST 科目増コースについて
2. 特例措置による海外派遣学生について
3. 2023年度春出発(第I期募集)長期留学の派遣候補者について(協定校・留学支援団体を通じた留学予定者のみ)
4. 東洋大学海外留学促進奨学金の取り扱いについて
5. 2022年度東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」対象プログラムの選定について
6. 2022年度春季短期留学プログラムの実施計画について
7. ウクライナからの研究員受入について
8. 2022年度ストラスブール大学招聘教員の受入について
9. 「大学の世界展開力強化事業」における学生支援経費執行基準(案)について

【第15回】2022年10月24日(月) 16:30

1. 海外大学との協定更新について
2. 国際教育センター 2023年度教員人事について
3. 2022年度 English Camp 実施計画について
4. 2023年度春学期協定校語学留学の派遣候補者について
5. 2022年度東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」対象プログラムの選定について
6. 2023年度交換研究員の派遣先変更について
7. ウクライナからの研究員受入について
8. 学生団体 Toyo Gem Stone 主催の国際イベントの開催について

【第16回】2022年11月21日(月) 16:30

1. 海外大学との協定締結および更新について
2. 国際教育センター 2023年度教員人事について
3. 2022年度 English Camp 実施計画の変更について
4. 国際教育センター主催等 海外派遣プログラムのコース変更・辞退について(11月分)
5. 2022年度春季短期プログラム参加者について
6. 2022年度春季短期留学プログラム(追加コース)の実施計画について
7. 2022年度東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」対象プログラムの選定について
8. 2023年度第Ⅰ期(春学期)交換留学生の受入及び受入学部について
9. 2023年度第Ⅱ期(秋学期)交換留学(受入)及び留学プログラム(有料)募集要項について
10. 外国人研究員(受入)について
11. 2022-2023年度ストラスブル大学への短期訪問交換研究員派遣者の選考について

【第17回】メール会議**2022年12月6日(火)～12月7日(水) 10:00**

1. 「大学の世界展開力強化事業」海外短期研修(オーストラリア)の実施および東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」の適用について
2. 2022年度春季短期プログラム参加者について
3. 2023年度 長期留学 第Ⅱ期募集(春出発)の派遣候補者について

【第18回】2022年12月19日(月) 16:30

1. 国際教育センター 2023年度教員人事(非常勤講師)について
2. 海外大学との協定更新について
3. 2022年度東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」対象プログラムの選定について
4. 特例措置による海外派遣学生について
5. 「大学の世界展開力強化事業～インド太平洋地域等との大学間交流形成支援～」における学生支援経費執行(受入)について
6. 「東洋大学交換留学生受入に関する規程」の一部改正について
7. 「東洋大学におけるウクライナからの研究員受

入要領」の一部改正について

8. 用途指定型寄付金(ウクライナ学生等支援金)の使途について

【第19回】メール会議**2022年12月23日(金)～12月24日(土)****12:00**

1. 「大学の世界展開力強化事業」短期海外研修(オーストラリア)の参加者選抜について

【第20回】メール会議**2023年1月11日(水)～1月12日(木) 11:00**

1. 2023年度国費外国人留学生(スーパーグローバル大学創成支援事業枠)の推薦について

【第21回】2023年1月23日(月) 16:30

1. 国際教育センター 2023年度教員人事について
2. 海外大学との協定締結について
3. 大学の世界展開力強化事業における PBL 活動に伴う国際教育センター開講科目の履修について
4. 2023年度秋出発(第Ⅱ期募集)長期留学の派遣候補者について
5. 長期留学生(派遣)の留学期間変更について
6. 2022年度秋出発長期留学者の留学中止に伴う奨学金の取扱いについて
7. 2023年度共創体験型海外研修の実施計画について
8. 2023年度国際教育センター運営委員会開催日程について

【第22回】2023年月2月20日(月) 16:30

1. 国際教育センター2023年度教員人事について
2. 海外大学との協定締結・更新について
3. 「大学の世界展開力強化事業～インド太平洋地域等との大学間交流形成支援～」における学生派遣および学生支援経費執行(派遣)について
4. 東洋大学海外留学促進奨学金「トップ大学型」「グローバルリーダー型」の受給者の選抜(案)について
5. 2023年度夏季短期語学セミナーの実施計画

について

6. 外国人研究員の受入について

【第 23 回】メール会議

2023 年 2 月 28 日 (火) 14:00～17:00

1. 2023 年度特任教員【世界展開力強化事業】の採用について

【第 24 回】臨時会議

2023 年 3 月 7 日 (火) 14:00～14:30

1. 2023 年度特別任用教員【世界展開力強化事業】の採用における第2次審査・選考について

【第 25 回】2023 年月 3 月 13 日 (月) 16:30

1. 海外大学との協定締結・更新について
2. 2023 年度秋学期協定校語学留学の派遣候補者について
3. 2023 年度東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型・アクティブ型」募集要項について
4. 日本学生支援機構 (JASSO) 2023 年度海外留学支援制度 国際教育センター採択プログラムの奨学金受給者選抜基準について
5. 2024 年度協定校交換研究員派遣候補者の募集について
6. 2023 年度ストラスブール大学への短期訪問研究員派遣について
7. 2022 年度交換留学生 (ウクライナ) の受入期間延長について

国際教育センターに係る規程一覧

規程	施行日	最終改正日
東洋大学国際交流基金規則	1987(昭和62)年10月28日	2015(平成27)年10月1日
東洋大学学生の留学に関する規程	1990(平成2)年4月1日	2017(平成29)年4月1日
東洋大学交換留学生受入に関する規程	1990(平成2)年4月1日	2023(令和5)年3月31日
協定校との文献の交換要領	1991(平成3)年10月1日	2015(平成27)年10月1日
東洋大学国際交流基金細則	1995(平成7)年4月1日	2015(平成27)年10月1日
東洋大学国際交流基金経費支出基準	1995(平成7)年4月1日	2022(令和4)年4月1日
協定校との共同研究実施要領	1995(平成7)年10月1日	2017(平成29)年4月1日
東洋大学大学院学生の留学に関する規程	1996(平成8)年4月1日	2017(平成29)年4月1日
東洋大学受入交換留学生教育指導要領 (旧:東洋大学交換留学生・学部研究科受入要領)	1998(平成10)年9月26日	2022(令和4)年10月1日
協定校交換研究員派遣要領	1999(平成11)年4月1日	2015(平成27)年10月1日
東洋大学外国人研究員受入れに関する内規	2000(平成12)年4月1日	2017(平成29)年4月1日
東洋大学ISEP交換留学生派遣に伴う費用取扱規程	2005(平成17)年4月1日	2021(令和3)年12月1日
留学支援のための英語特別教育科目専門委員会規程 (旧:留学支援のための英語特別教育科目運営委員会要項)	2006(平成18)年4月1日	2019年(令和元)年7月1日
交換留学生のための初修日本語・日本文化科目専門委員会規定 (旧:協定校並びに国際的な学生交換コンソーシアム加盟大学等からの留学生に対する日本語・日本文化教育科目専門委員会規程)	2006(平成18)年4月1日	2021(令和3年)年4月1日
東洋大学ISEP交換留学生受入れに伴う宿舍提供及び食費支給基準 (旧:ISEP交換留学生受入要領)	2006(平成18)年7月1日	2022(令和4)年3月1日
東洋大学国際交流宿舍利用細則	2007(平成19)年12月25日	2022(令和4)年11月1日
東洋大学国際交流宿舍管理運営規程 (旧:東洋大学国際会館管理運営規程)	2007(平成19)年12月25日	2022(令和4)年3月1日
東洋大学海外留学促進奨学金規程	2014(平成26)年4月1日	2021(令和3)年12月1日
東洋大学国際連携推進委員会細則	2015(平成27)年1月1日	2021(令和3年)年4月1日
東洋大学国費外国人留学生の授業料等に関する規程	2015(平成27)年4月1日	2017(平成29)年4月1日
東洋大学国費外国人留学生の授業料等に関する事務取扱要領	2015(平成27)年4月1日	2019年(令和元)年7月1日
東洋大学国際教育センター規程	2015(平成27)年10月1日	2021(令和3年)年4月1日
東洋大学国際教育センター教員資格審査委員会規程	2015(平成27)年11月1日	2021(令和3年)年4月1日
東洋大学国際交流宿舍レジデント・アシスタント制度に関する要領	2018(平成30)年4月1日	2022(令和4)年3月1日
東洋大学留学生宿舍(学外契約物件)宿舍費取扱要領	2018(平成30)年4月1日	2022(令和4)年3月31日 要領廃止
東洋大学国際会館宿舍費取扱要領	2018(平成30)年4月1日	2022(令和4)年3月1日 要領廃止
東洋大学及び東洋大学大学院学生の休学留学に関する取扱要項	2018(平成30)年4月1日	2018(平成30)年4月1日
東洋大学授業料徴収型留学生受入経費等取扱規程	2019(令和元)年5月1日	2022(令和4)年3月1日
東洋大学におけるストラスブル大学招聘教員受入要領	2020(令和2)年3月24日	2022(令和4)年3月1日
ウクライナ学生等支援寄付金取扱要領	2022(令和4)年5月1日	2022(令和4)年7月23日
東洋大学におけるウクライナからの研究員受入要領	2022(令和4)年5月16日	2023(令和5)年2月1日
『国際教育センター紀要』編集及び執筆規程	2022(令和4)年7月1日	2022(令和4)年7月1日
『国際教育センター紀要』投稿規程	2022(令和4)年7月1日	2022(令和4)年7月1日
『国際教育センター紀要』審査規定ガイドライン	2022(令和4)年7月1日	2022(令和4)年7月1日
東洋大学国際交流宿舍諸経費事務取扱要領	2022(令和4)年11月1日	2022(令和4)年11月1日
東洋大学における交換留学生履修要領	2022(令和4)年12月1日	2022(令和4)年12月1日

2023年3月31日時点

国際教育センター構成員

		年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		センター名称	国際教育センター				
国際教育センター構成員	第1号	センター長	高橋 一男	高橋 一男	高橋 一男	高橋 一男	高橋 一男
	第2号	副センター長	董 晶輝	グリーン・スティープン	グリーン・スティープン	グリーン・スティープン	小早川 裕子
			グリーン・スティープン	王 学郡	王 学郡	王 学郡	グリーン・スティープン
			-	-	小早川 裕子	小早川 裕子	董 晶輝
	第3号	教務部長	高橋 豊美	高橋 豊美	東海林 克彦	東海林 克彦	東海林 克彦
	第4号	文学部	朝比奈 美知子	朝比奈 美知子	朝比奈 美知子	朝比奈 美知子	朝比奈 美知子
		経済学部	ニューフィールズ・ティモン	ニューフィールズ・ティモン	田口 賀也	田口 賀也	熊澤 孝昭(4月) 井上 亜依(5月～3月)
		経営学部	李 振	李 振	角田 奈歩	角田 奈歩	上杉 未央
		法学部	大野 公賀(4月) 山下 りえ子(5～3月)	山下 りえ子	田中 雅敏	田中 雅敏	田中 雅敏
		社会学部	長津 一史	佐藤 亜樹	長津 一史	井上 美雪	長津 一史
		国際地域学部	芦沢 真五	中村 香子	芦沢 真五	花田 真吾	久松 佳彰
		・国際学部	市田 せつ子	グライアム ロブソン	グライアム ロブソン	グライアム ロブソン	グライアム ロブソン
		・国際観光学部					
		理工学部	吉田 宏予	吉田 宏予	吉田 宏予	吉田 宏予	吉田 宏予
		総合情報学部	藤本 貴之(4～8月) 中林 靖(9～3月)	中林 靖(4～8月) 藤本 貴之(9～3月)	藤本 貴之	藤本 貴之	藤本 貴之
		生命科学部	小柴 和子	小柴 和子	小柴 和子	小柴 和子	伊藤 政博
		食環境科学部	福森 文康	福森 文康	吉江 由美子	吉江 由美子	吉江 由美子
		ライフデザイン学部	柏樹 良	大木 裕子	大木 裕子	内田 塔子	内田 塔子
		情報連携学部	棕 計人	棕 計人	棕 計人	棕 計人	棕 計人
	第5号	白山キャンパス 研究科委員	董 晶輝	鳥飼 裕一	安 相景	安 相景	野崎 浩成
		川越キャンパス 研究科委員	吉野 隆(4月) 本橋 健次(5～3月)	本橋 健次	花尻 達郎	花尻 達郎	土田 賢省
		朝霞キャンパス 研究科委員	高橋 直美	平野 智之	大迫 正文	-	-
		板倉キャンパス 研究科委員	佐々木 伸大	佐々木 伸大	長坂 征治	長坂 征治	清水 和哉
		赤羽台キャンパス 研究科委員	棕 計人	棕 計人	棕 計人	是枝 喜代治	棕 計人
	第6号	国際部長	高橋 清隆	高橋 清隆	高橋 清隆	高橋 清隆	根岸 哲也
	第7号	国際教育 センター	関山 健	小早川 裕子	田中 祐輔	牛窪 隆太	小早川 裕子
			田中 祐輔	田中 祐輔	牛窪 隆太	水松 巳奈	牛窪 隆太
			小早川 裕子	牛窪 隆太	水松 巳奈	陳 秀茵	水松 巳奈
						黄 貞淵	陳 秀茵
事務局			国際部国際課				

各種刊行物の発行

■各種刊行物の発刊

名称	言語	対象	刊行時期	内容
TOYO UNIVERSITY (大学概要・英語版)	英語	海外の高等教育機関	6月	大学概要、研究科、学部学科、留学生宿舎等の紹介
東洋大学国際交流・国際教育プログラム 2023	日本語	本学在学生 一般	3月	本学留学・国際交流プログラム全般の紹介
TOYO GLOBAL DIAMONDS NEWS LETTER Vol. 16・Vol. 17	日本語 英語	大学・附属校の教職員	2022年7月 2023年3月	スーパーグローバル大学創成支援事業における「TOYO・GLOBAL DIAMONDS」構想の取組およびSGU の活動成果の進捗
東洋大学国際教育センター紀要	日本語 英語	国際交流分野の教育関係者	2023年3月	論文・研究ノート (査読あり)

■刊行物以外の広報物等

名称	言語	対象	掲載時期等	内容
文部科学省所管SGU基幹サイト	日本語 英語	一般	随時	SGU取組内容
Facebook	英語	一般	随時	本学Webサイト掲載Newsへの誘導、渡日前入試等の告知
Instagram	日本語	一般	随時	語学講座開催告知や英語向上に資する情報の提供



【2022 年度】国際教育センター年報

2023 年 7 月 31 日発行

発行 東洋大学国際教育センター

(Center for Global Education and Exchange)

〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20

TEL 03-3945-7524 FAX 03-3942-2489

E-mail ml-intl@toyo.jp

URL <https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/>